

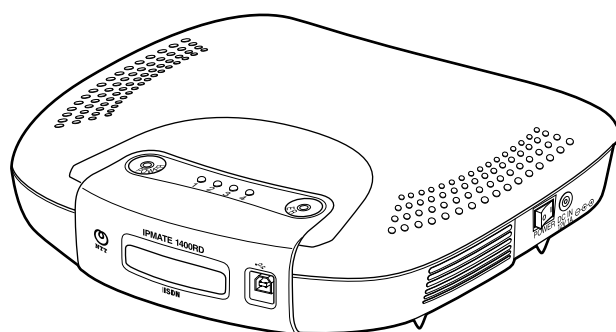
**ナンバー・ディスプレイ 対応**  
 キッチホン・ディスプレイ

# IPMATE 1400RD

## 取扱説明書

このたびは、IPMATE 1400RDをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。  
 お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

1  
お使いになる前に

2  
利用形態

3  
設定方法






4  
アナログ通信機器  
の利用

5  
ご参考

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。  
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。  
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

## 本書中のマーク説明

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 <b>お願い</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 <b>お知らせ</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 <b>ワンポイント</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

## ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本商品のアナログポートは、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。

INSネット64回線側のコンセントの形状がモジュラジャックでない場合、本商品を接続するには工事が必要です。ただし、工事には、工事担任者資格が必要です。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。

本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。

本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。

この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

付属品のCD-ROMは日本語版OS以外の動作保証はしていません。

Windows® 95は、Microsoft® Windows® 95 operating systemの略です。

Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows NT® 4.0は、Microsoft® Windows NT® operating system Version 4.0の略です。

Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

Hayesは米国Hayes Microcomputer Products, Inc.の登録商標です。

AdobeおよびAcrobatはアドビシステムズ社の商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。



本商品には、Hi/fn社製のデータ圧縮ソフトウェアを使用しています。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

## 警告

煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

異常音がしたり、本体が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

本商品のそばに水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品、その他の容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源コードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

## 警告

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本商品を移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜き、電話機コードを差込口から抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

万一、漏電した場合の感電事故防止や、誘雷による感電防止、機器防護のため、必ずアース線を取り付けてください。また、アースをガス管に接続しないでください。爆発の原因となることがあります。

電源アダプタを電源コンセント（AC100 V）に差し込むときは、確実に差し込んでください。電源アダプタの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また半年から1年に1回は、電源アダプタをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

### お使いになる前に（設置環境）

## 注意

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動・衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

## お使いのとき

### ⚠ 注意

近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

本商品の通風孔をふさがないように、前後左右および上部を各10 cm以上あけてください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に、次のような使い方はしないでください。

- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。
- 本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
- あおむけに置く。
- 紙、本などをのせる。
- 重ねて置く。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず乾電池を抜き、電源アダプタをコンセントから抜いてください。

お手入れをするときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。

乾電池は正しくお使いください。使い方を間違えると液もれ、発熱、破裂により、けがや故障の原因となることがあります。特に、次の点にご注意ください。

- 保証期間内の単3アルカリ乾電池をお使いください。  
(アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。)
- 乾電池をショートさせたり、分解したりしないでください。
- 乾電池のプラス(+) マイナス(-)の方向を確認して入れてください。
- 乾電池の液もれによる装置の故障については保証いたしかねます。
- 新しい乾電池と古い乾電池は混用しないでください。
- 使用済みの乾電池を火中に投げないでください。
- 消耗した電池は、すぐに交換してください。

アルカリ乾電池の性質上、液もれによるトラブルが発生するおそれがあります。停電時に確実に動作させるためにも、半年に1回の割合で新しいアルカリ乾電池に交換してください。

乾電池を取りはずした場合は、小さなお子様が乾電池をなめたり、あやまって飲むことがないようにしてください。乾電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。

停電回復後すぐに乾電池を交換する場合は、乾電池が熱くなってやけどをするおそれがありますので、確認してから交換してください。

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。こわれてけがの原因となることがあります。

付属品のCD-ROMをオーディオ用プレイヤーで使用しないでください。大音量によりスピーカの破損や耳の障害の原因となることがあります。

本商品の故障や回線品質の低下によって、データ消失が発生するおそれがあります。あらかじめ、冗長性のあるシステム設計、バックアップなど構成してください。

## 取り扱いについて

### お願い

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

電源を再投入する場合、必ず電源を切った状態で5秒以上おいてから電源を入れてください。

## 置き場所について

### お願い

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

電気製品・A V・O A機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

本商品を積み重ねて使用しないでください。本商品を2台以上使用する場合、積み重ねて設置すると、内部に熱がこもり、本体の表面が熱くなることがあります。

## お使いのとき

### お願い

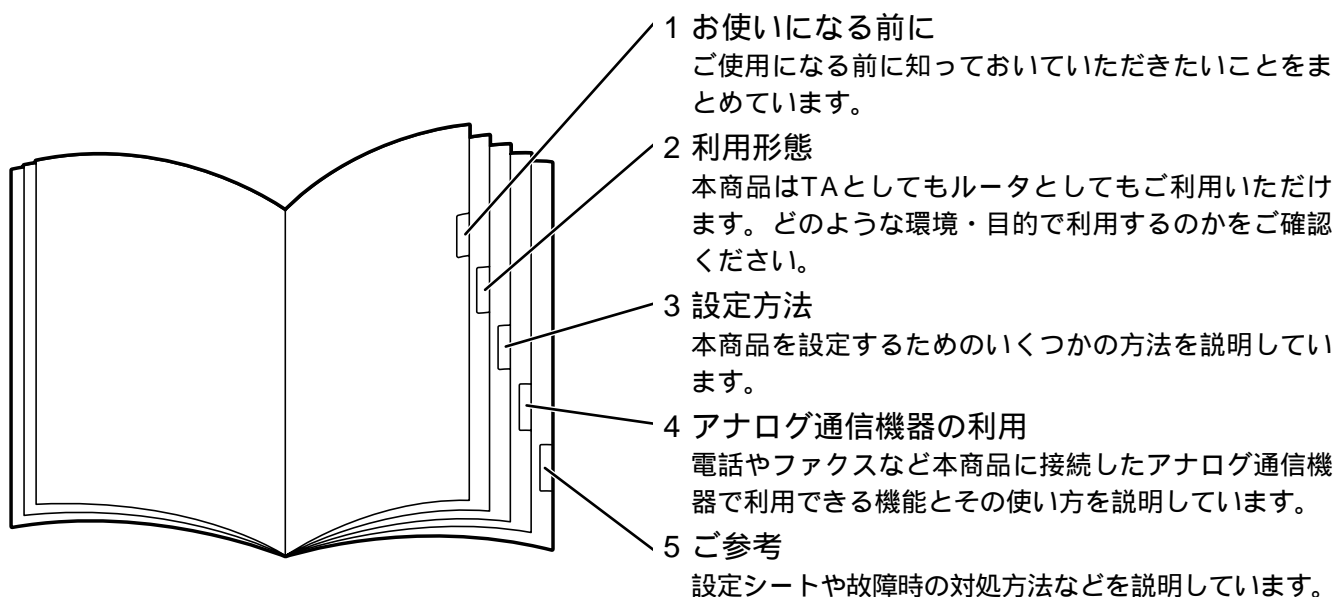
INSナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、郵政省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

ご利用時間に応じて課金される回線サービス、インターネットサービスをご利用になる場合、端末（パソコン）の設定と本商品の設定によっては、意図しない接続・切断を繰り返し、思わぬ課金が発生する可能性があります。ご使用になる端末（パソコン）のOSやアプリケーションの特徴に応じて、本商品のフィルタリング機能等により、適切な設定をしてください。

フィルタリング等の手段でセキュリティがまもれない場合は、ファイアウォールなどの別の手段を用いてください。

# この取扱説明書の見かた

## この取扱説明書の構成



## 操作説明のページの構成

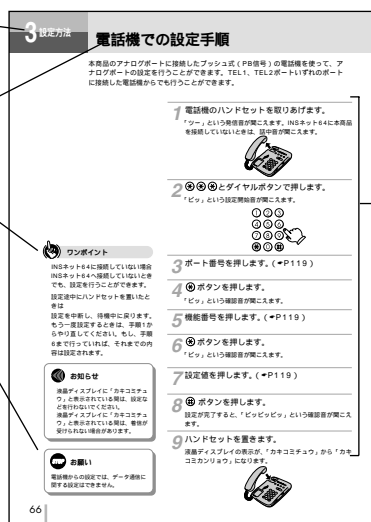
**章タイトル**  
章ごとにタイトルが付けられています。

**タイトル**  
目的ごとにタイトルが付けられています。

**ワンポイント**  
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

**お願いまたはお知らせ**  
**お願い**  
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

**お知らせ**  
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。



操作手順説明  
順番に操作を説明します。



## この取扱説明書を読む順序

ご利用になりたい機能により、以下の順序でお読みください。

### 「1 お使いになる前に」(●P12)

最初にお読みください。各種契約の確認、機器の接続方法などを説明しています。

電話機やファクスを接続して使うとき

### 「4 アナログ通信機器の利用」(●P67)

### 「3 設定方法 電話機での設定手順」(●P66)

本商品に接続した電話機やファクスで利用できる機能や操作について説明しています。

利用するための設定は、「電話機での設定手順」(●P66)を参照してください。

パソコンを接続して、インターネットやイントラネットを利用するとき

### 「2 利用形態」(●P32)

本商品の利用形態と設定例を紹介しています。どんな使い方ができるかをご確認ください。

### 『本商品へ接続する前の準備<パソコンでの操作>』(別冊)

本商品にパソコンを接続して利用する場合の、パソコン側のセットアップ手順について説明しています。

### 「アナログポート(TEL1ポート、TEL2ポート)、RS-232Cポート、USBポート、10BASE-Tポート共通」(●P76)

・ナンバー、ダイヤルインなどに関しては、アナログポートとシリアルポート、10BASE-Tポート共通で利用いただけます。

### CD-ROM『オンラインマニュアル』

「3 設定方法 WWWブラウザでの設定手順」(●P55)シリアルポート、10BASE-Tポートで利用できる機能や設定については、オンラインマニュアルを参照してください。

設定は、WWWブラウザで行います。



## お知らせ

付属のCD-ROMには以下の内容が収録されています。詳しくは『CD-ROM説明書』を参照してください。

1. オンラインマニュアル
2. PDFファイル
3. イージーバージョンアップ
4. モデム定義ファイル
5. Acrobat Reader
6. ファームウェア

## オンラインマニュアルの見かた

『CD-ROM説明書』にしたがってCD-ROMをセットします。メニュー画面を表示し、「オンラインマニュアル」をクリックしてください。

# 目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください ..... 2  
この取扱説明書の見かた ..... 8

## 1 お使いになる前に

サービスガイド.....	12
各種契約の確認.....	15
各種回線加入契約の確認.....	15
プロバイダ加入契約の確認.....	15
セットを確認してください.....	16
各部の名前.....	17
停電になったときのために.....	24
接続します.....	25
接続の手順.....	25
接続上の注意.....	27
電源を入れます.....	31

## 2 利用形態

利用形態を決める.....	32
いろいろな利用形態.....	33
1.INSネット64を使用して、インターネット接続 ( 端末型ダイヤルアップ ) する.....	33
2.利用サービスごとに、接続するインターネット プロバイダを変更する.....	34
3.端末ごとに、接続するインターネットプロバイ ダを変更する.....	35
4.INSネット64を使用して、インターネット接続 ( LAN型ダイヤルアップ ) する ( NAT未使用 ).....	36
5.INSネット64を使用して、インターネット接続 ( LAN型ダイヤルアップ ) する ( NAT使用 ).....	37
6.FLET'S・Isdn ( IP接続サービス ) を利用する.....	38
7.INSネット64を使用して、 2か所のLANを接続する.....	39
8.INSネット64を使用して、 3か所以上のLANを接続する.....	40
9.INSネット64を使用して2か所のLANを 接続し、新規インターネットプロバイダを 共有する.....	41
10.INSネット64を使用して2か所のLANを 接続し、既存インターネットプロバイダを 共有する.....	42
11.シリアルポートから、 インターネットヘダイヤルアップ接続する.....	43
12.シリアルポートから、 簡易LAN接続機能を利用する.....	44

13.遠隔地の端末からLANを利用する.....	45
14.特定ポート番号宛のデータを受信する.....	46
15.特定データのみ透過する.....	47
16.OCNエコノミーを使用して、 インターネット接続する ( NAT未使用 ).....	48
17.OCNエコノミーを使用して、 インターネット接続する ( NAT使用 ).....	49
18.専用線 ( HSD、DA64/128 ) を使用して、 2か所のLANを接続する ( デフォルトルート 使用 ).....	50
19.専用線 ( HSD、DA64/128 ) を使用して、 2か所のLANを接続する ( スタティックルート 使用 ).....	51
20.専用線 ( HSD、DA64/128 ) を使用して、 2か所のLANを接続する ( 回線側IPアドレス 使用 ).....	52
21.専用線 ( HSD、DA64/128 ) を使用して 2か所のLANを接続し、既存インターネット プロバイダを共有する.....	53

## 3 設定方法

さまざまな設定方法.....	54
WWWブラウザでの設定手順.....	55
Quick設定を行うには.....	55
Custom設定を行うには( ISDN回線の場合 ).....	58
Custom設定を行うには( 専用線の場合 ).....	62
電話機での設定手順.....	66

## 4 アナログ通信機器の利用

アナログポート ( TEL1ポート、TEL2ポート ) - 基本機能.....	67
電話をかけるには ( 発信 ).....	67
電話を受けるには ( 着信 ).....	68
通話中にかかってきた電話を受けるには ( 疑似キャッチホン ).....	69
3人でお話するには ( 疑似三者通話：切替モード ).....	71
内線でお話するには ( 内線通話 ).....	73
外からの電話を取りつぐには ( 内線転送 ).....	74
疑似なりわけ.....	75
アナログポート ( TEL1ポート、TEL2ポート ) RS-232Cポート、USBポート、 10BASE-Tポート共通.....	76
i・ナンバー.....	76
ダイヤルイン / グローバル着信.....	79

サブアドレス	81
発信者番号通知	82
各ポートを呼び分けるには	83
電話やファクスを優先させるには	85
アナログポート (TEL1ポート、TEL2ポート) -	
便利な機能	86
INSナンバー・ディスプレイ	86
キャッチホン・ディスプレイ	88
INSボイスワープ/INSボイスワープセレクト	90
INSマジックボックス	90
INSなりわけサービス	91
受話音量調整	92
優先着信	92
着信拒否 (発信専用)	92
発信者番号認証	93
発信規制	93
通信クラス設定	94
フッキング検出時間の設定	96
モデムダイヤルイン機能	96
転送元電話番号通知	100
リバースパルス送出的設定	101
フレックスホンサービスとは	102
お話し中に別の相手の方とお話する	
(INSCATCHホン)	102
3人でお話する	
(三者通話: 切替モード)	104
3人でお話する	
(三者通話: ミキシングモード)	106
通話中の電話を転送する	
(通信中転送)	108
外からの電話を決められた相手の方に	
直接取りつく (着信転送)	110

## 5 ご参考

各ポートのインタフェース	112
RS-232Cポート	112
USBポート	113
10BASE-Tポート	113
アナログポート	
(TEL1ポート、TEL2ポート)	114
回線接続端子	114
S/T端子	115
表示一覧	116
電話設定機能番号一覧	119
TELNET設定一覧	126
設定記入シート	130
故障かな?と思ったら	139
Q&A	141
お買い求め時の設定に戻すには	149

索引	150
仕様	153
保守サービスのご案内	154

## INSネット64ならではの幅広いサービス

INSネット64には、いろいろなご利用形態があります。



INSネット64の  
月額料金が別途必  
要です。



INSネット64の  
基本料金の中に含  
まれるサービスで  
す。



IPMATE 1400RD  
の設定が必要で  
す。



IPMATE 1400RD  
の設定が不要で  
す。



かけてきた方の電話番号を表示  
接続した電話機に、かけてきた方の電話番号を  
表示することができます。

INSナンバー・ディスプレイ( ●P86 )

**P86**



こちらの電話番号を相手の方に通知  
発信者番号を相手の方に通知することができます。  
通知しないようにすることもできます。

発信者番号通知( ●P82 )

**P82**



かけてきた方を音で識別  
登録した相手の方からの電話は、通常と異なる  
着信音が鳴るようにすることができます。

INSなりわけサービス( ●P91 )

**P91**



お出かけ先への転送機能  
無条件転送、無応答転送、話中転送の指定ができます。  
ボイスワープセレクトは、かかってきた相手に  
よって転送先を変えられます。  
INSボイスワープ( ●P90 )  
INSボイスワープセレクト( ●P90 )  
INSマジックボックス( ●P90 )

**P90**



1本の契約回線に複数の電話番号  
1本の契約で、複数の電話番号を使い分けるこ  
とができます。

電話とファクスなどを別々の番号で受けられます。

i・ナンバー( ●P76 )

ダイヤルイン( ●P79 )

**P76**

**P79**



## お話し中にかかってきた電話も キャッチ

お話し中にかかってきた電話に出ることができます。

INSキャッチホン( ●P102 )

INSマジックボックス( ●P90 )

**P90**

**P102**



## インターネットに接続できる サービス

NTTコミュニケーションズが提供するインターネット接続サービスをご利用になれます。

OCNダイヤルアクセス( ●P15 )

OCNエコノミー( ●P15 )

**P15**



## 24時間自由に使える 定額サービス

インターネットの接続料金が定額になり、安心して使えます。

FLET'S・Isdn( IP接続サービス )

## その他ご利用になれる主なサービス

サービス名		料金	設定	参照ページ
フレックスホン	INSキャッチホン 三者通話 通信中転送 着信転送			( ●P102、104、 108、110 )
転送元電話番号通知サービス				( ●P100 )
代表取扱サービス				
INSマジックボックス				( ●P90 )
発着信専用サービス				
Fネット				

## IPMATE 1400RDにできること

IPMATE 1400RDに今までお使いの電話機やファクスを接続して、いろいろ活用できます。また、パソコンを接続すれば、インターネットやイントラネットが利用できます。

### インターネットも イントラネットも快適

RS-232Cポート、USBポート、10BASE-Tポートを搭載。TAとしても、ルータとしても使用できます。

いろいろな利用形態(●P33)

**P33**



### アナログポートの設定は電話機から OK

パソコンを接続していなくても、電話機から、アナログポートの設定をすることができます。パソコンをお使いの方は、WWWブラウザを使って簡単に設定できます。

電話機での設定手順(●P66)

WWWブラウザでの設定手順  
(●P55)

**P66**

**P55**

### かけてきた方を音で識別

登録した相手の方からの電話は、通常と異なる着信音が鳴るようにすることができます。一般の電話網からの着信を識別するには、INSナンバー・ディスプレイの契約が必要です。

疑似なりわけ(●P75)

**P75**

### 2台の電話で内線を使う

接続した電話機どうしてお話ししたり、電話を転送することができます。

内線通話(●P73)

内線転送(●P74)

**P73**

**P74**

### お話し中にかかってきた電話も キャッチ

2本分のBチャンネルを使用して、お話し中にかかってきた電話に出ることができます。

疑似キャッチホン(●P69)

**P69**

### 簡単なLAN構築

アドレス自動割り当て機能(DHCPサーバ)を搭載しているため、LAN構築ができます。RS-232Cポート、USBポートに接続したパソコンをLANに参加させることもできます。

DHCPサーバ(●P33)

**P33**

### 着信音を鳴らさず静かにファクス 受信

音を鳴らさずにファクスを受信することができます。

通信クラス設定(●P94)

**P94**

## 各種回線加入契約の確認

本商品では、次の回線サービスに接続できます。詳しくは以下のサービス取扱所へお問い合わせください。

回線サービス	提供会社
ISDNサービス INSネット64 FLET'S・Isdn (IP接続サービス)	NTT東日本 NTT西日本
インターネットサービス OCNダイヤルアクセス OCNエコノミー	NTTコミュニケーションズ
専用線サービス HSD DA64 / 128	NTT東日本 NTT西日本

## INSネット64をご利用のとき

INSネット64をご契約のときは、以下の事項に従ってください。

- インタフェース形態およびレイヤ1起動種別は、「P-MP呼毎」または「P-MP常時」を指定してください。本商品は、「P-P」接続はサポートしていません。
- 通信中着信通知サービスの利用契約をしてください。  
MP (マルチリンクプロトコル) 通信中の電話優先着信、およびフレックスホンサービスを正常にご利用になるために必要です。

## 専用線サービス、OCNエコノミーをご利用のとき

本商品ではHSD、DA64 / 128、OCNエコノミーをご利用の場合はアナログポートとTA機能は使用できません。



## お知らせ

本商品では、INSネット64の packets 通信モードでの通信は行えません。

## プロバイダ加入契約の確認

インターネットを利用する場合は、インターネットにアクセスするサービスを提供するインターネットプロバイダに加入してください。

## インターネットプロバイダの選択

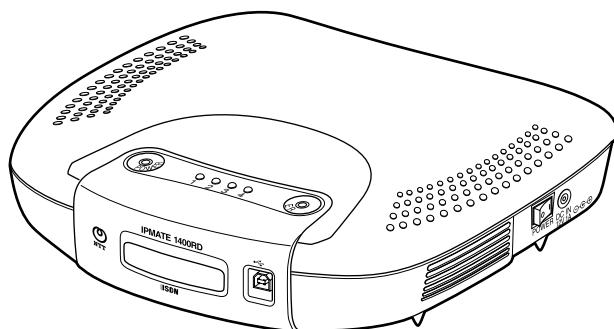
通信速度が同期 (64 kbit/s) またはMP (128 kbit/s) のアクセスポイントを持つインターネットプロバイダに加入してください。非同期V.110のアクセスポイントには接続できません。

## インターネットプロバイダに加入したら

インターネットプロバイダに加入すると、ユーザ認証ID、パスワード、DNSサーバのアドレス、アクセスポイントの電話番号などが通知されます。これらの情報は、インターネットにアクセスするための設定を行うときに必要です。

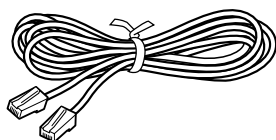
# セットを確認してください

## 本体

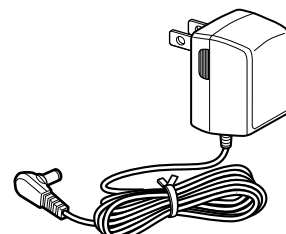
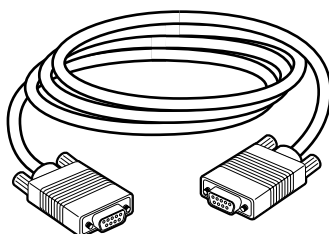


IPMATE 1400RD

## 付属品



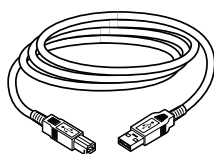
電話機コード (1本: 約3 m) RS-232Cケーブル (1本: 約1.2 m)  
(D-SUB9ピン メス→メス)



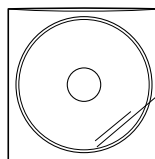
電源アダプタ (1個)



10BASE-Tケーブル  
(1本: 約3 m)



USBケーブル  
(1本: 約1.5 m)



CD-ROM (1枚)



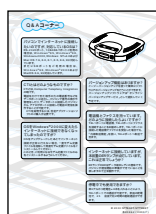
取扱説明書  
(1部)



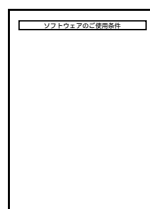
本商品へ接続する  
前の準備 パソコン  
での操作 (1部)



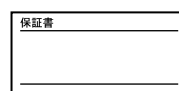
接続早わかり サービス  
ガイド (1部) ガイド (1部)



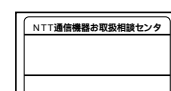
CD-ROM



CD-ROM



保証書 (1枚)

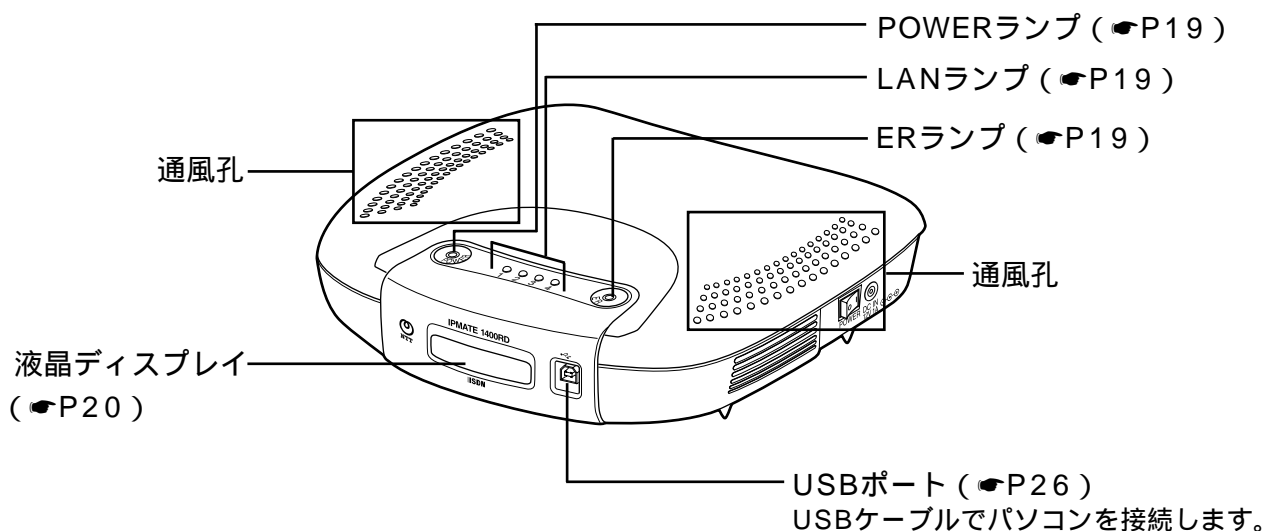


NTT通信機器お取扱  
相談センターシール  
(1枚)

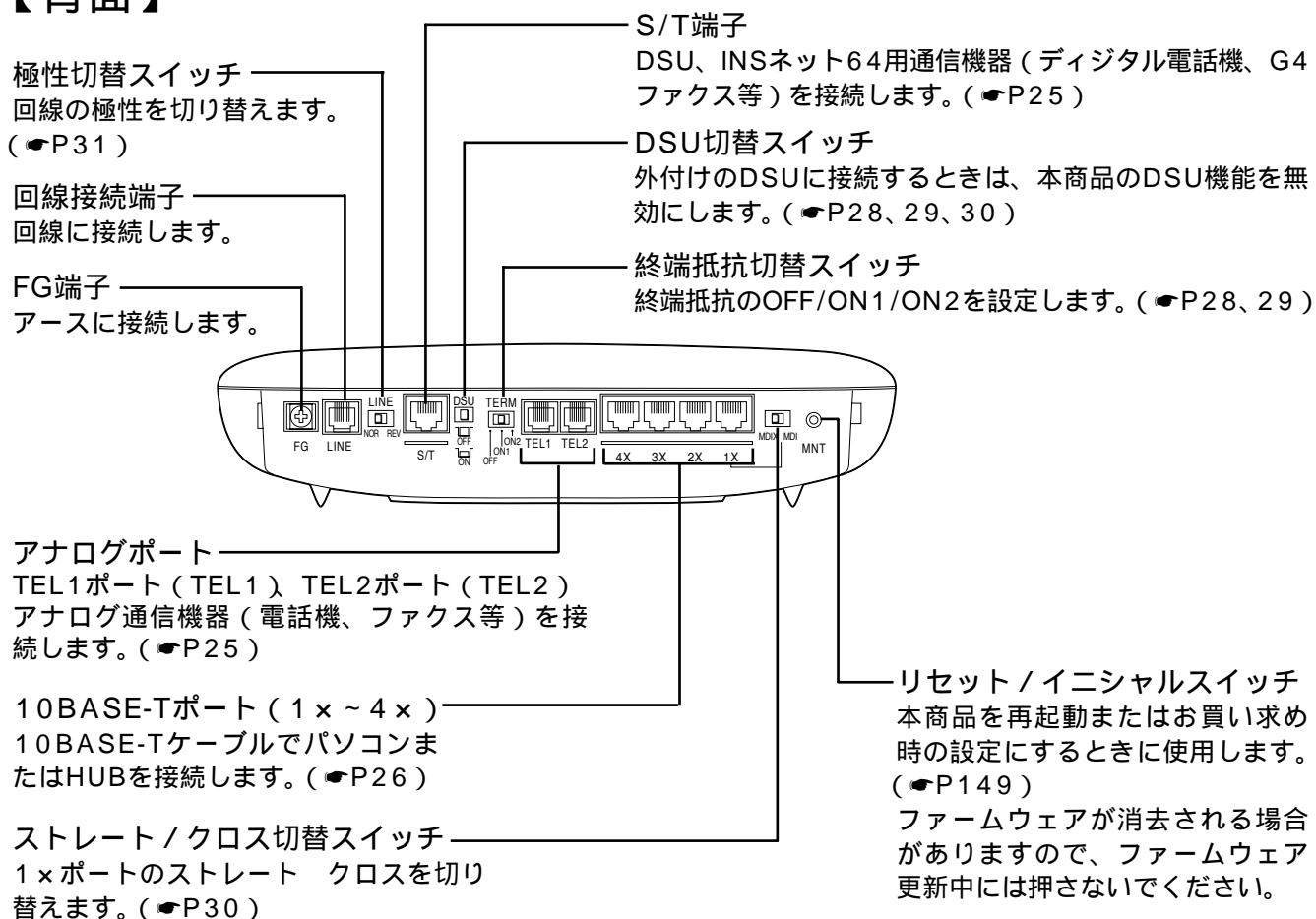
セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。



## 【前面】

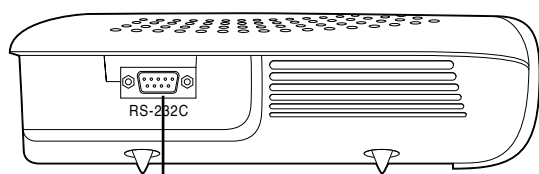


## 【背面】



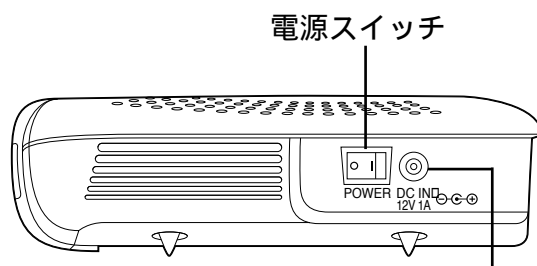
# 各部の名前

## 【左側面】



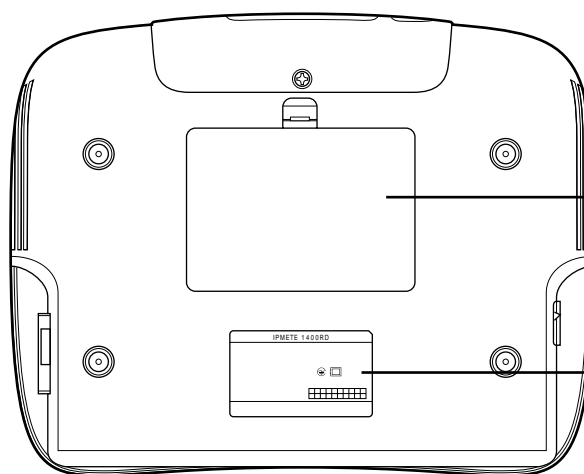
RS-232Cポート  
RS-232Cケーブルでパソコンを接続しま  
す。(●P26)

## 【右側面】



電源アダプタコード差込口  
付属の電源アダプタのコードを差  
し込みます。(●P25)

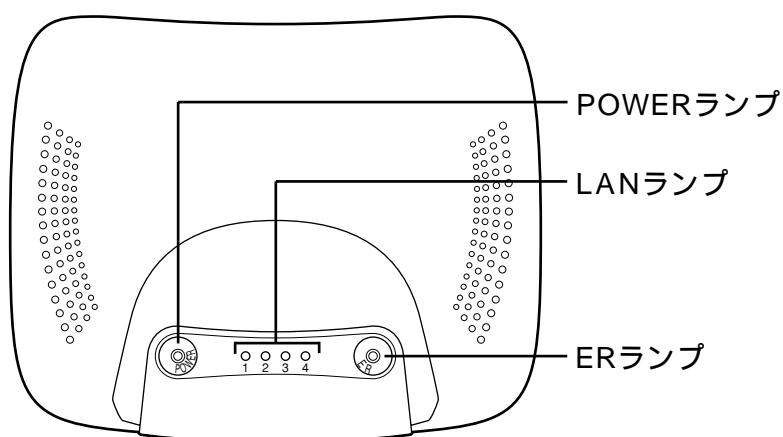
## 【底面】



電池カバー

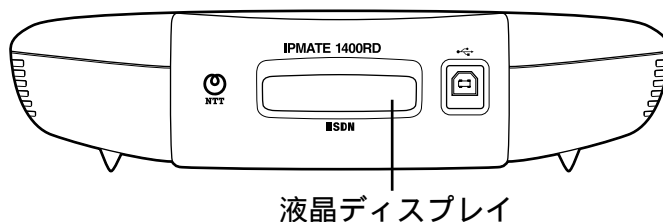
品名紙  
本商品の認証番号、製造  
年月などが記載されてい  
ます。

## 【ランプ表示】



ランプの種類	ランプのつき方	IPMATE 1400RDの状態
POWERランプ	点灯 (緑)	AC電源で動作中です。
	点灯 (橙)	起動時の自己診断中です。
	点灯 (赤)	自己診断でエラーが発生しました。
	消灯	電源が入っていません (乾電池で動作中です)。
LANランプ	点灯 (緑)	10BASE-Tポートにパソコンが接続されています。
	点滅 (緑)	10BASE-Tポートに接続するパソコンで通信中です。
	消灯	10BASE-Tポートにパソコンが接続されていません。
ERランプ	点灯 (緑)	RS-232Cポートに接続されているパソコンのER信号がONです。
	点滅 (緑)	RS-232Cポートに接続するパソコンで通信中です。
	消灯	RS-232Cポートに接続されているパソコンのER信号がOFFです。

## 【液晶ディスプレイの見方】



### 起動中の表示例

液晶ディスプレイ表示	IPMATE 1400RDの状態
IPMATE 1400RD ***	電源投入後の、ファームウェア・ローディング、および、自己診断を実行中です。
IPMATE 1400RD V01.10	ファームウェア・スタート中です。 「VXX.XX」は、内部ファームウェアのバージョンを示します。

### 起動後の表示例

ISDNの場合

液晶ディスプレイ表示	IPMATE 1400RDの状態
8月15日 10:25:40 ISDN READY	ISDNとの接続が正常です。
8月15日 10:25:40 Layer1 Down	回線側が物理的に接続していません。 ケーブル抜けや切断、極性の反転、DSU切替スイッチの間違いなどを確認してください。
8月15日 10:25:40 Layer1 Up	ISDN回線が異常です。本商品を再起動して、再度本表示がされる場合は、本商品が故障していることが考えられます。

## 専用線の場合

液晶ディスプレイ表示	IPMATE 1400RDの状態
8月15日 10:25:40 LINE READY	専用線との接続が正常です。
8月15日 10:25:40 Layer1 Up	認証設定に間違いがないか確認してください。 また、「ISDN回線」モードになっていないか確認してください。

## 停電中の表示例


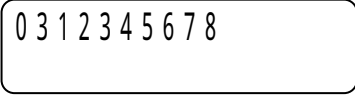

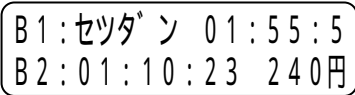
液晶ディスプレイ表示	IPMATE 1400RDの状態
テイデ <sup>®</sup> ント <sup>®</sup> ウサチュウ	停電動作中です。 通話中に停電になった場合、液晶ディスプレイの表示は、通話時の状態表示のままとなります。 通話終了後、本表示をします。

(次ページへ続きます)

# 各部の名前

(前ページの続きです)

## データ通信の表示例

液晶ディスプレイ表示	IPMATE 1400RDの状態
	<p>データ発信時です。 上段に、接続先名または接続先電話番号を表示します。 LANの場合：接続先名を13文字まで表示 TAの場合：接続先電話番号を表示 接続を開始すると、「セツゾクカイシ」と表示します。</p> <p>エラー時は、メッセージを表示します。(P116)</p>
	<p>データ着信時です。 上段に、発信者番号を点滅表示します。 発信者番号が通知されない場合は、メッセージを表示します。(P117)</p>
	<p>データ通信中です。 上段にB1チャンネルの状態を、下段にB2チャンネルの状態を表示します。</p> <p>「■」は、チャンネル上のデータ量を示します。 「■」 送信データ量 「■」 受信データ量 「00:00:00」は、通信時間を示します。 (例)「01:59:59」 1時間59分59秒 通信時間は目安のため、実際の接続時間と合わないことがあります。 連続100時間になると、表示時間は00:00:00となり、以降続けてカウントします。 10秒に1回接続先名または接続ポートを表示します。 LANの場合：接続先名を表示 TAの場合：接続ポート(RS-232CまたはUSB)を表示</p>
	<p>データ通信を切断しました。 上段にB1チャンネルの状態を、下段にB2チャンネルの状態を表示します。 それぞれ、通話時間と通信料金(セツダン以降の文字列)を、右から左へ流れるように表示します。</p> <p>「00:00:00」は、通信時間を示します。 (例)「01:55:50」 1時間55分50秒</p>

## アナログ通信の表示例

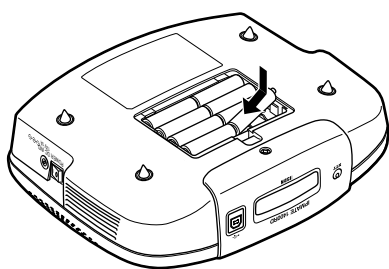
液晶ディスプレイ表示	IPMATE 1400RDの状態
<div>TEL1:0312345678</div> <div>TEL2:04511112222</div>	<p>アナログ発信時です。 上段にTEL1ポート、下段にTEL2ポート、それぞれ発信した宛先電話番号を点滅表示します。</p> <p>エラー時は、メッセージを表示します。(●P118)</p>
<div>TEL1:0398765432</div> <div>TEL2:0433334444</div>	<p>アナログ着信時です。 上段にTEL1ポート、下段にTEL2ポート、それぞれ着信した通信の発信者番号を表示します。</p> <p>発信者番号が通知されない場合は、メッセージを表示します。(●P118)</p>
<div>T2:ツウ 01:45:37</div> <div>T1:0312345678</div> <div>↑ 10秒に1回、 電話番号を表示 ↓</div> <div>T2:04511112222</div> <div>T1:ツウ 00:50:44</div>	<p>アナログ通話中です。 上段にB1チャンネルの状態を、下段にB2チャンネルの状態を表示します。 宛先電話番号（または発信者番号）と、通話時間を交互に表示します。</p> <p>「T1」「T2」は、使用しているポートを示します。 「T1」 TEL1ポート 「T2」 TEL2ポート</p> <p>「00:00:00」は、通信時間を示します。 (例)「01:59:59」 1時間59分59秒 通信時間は目安のため、実際の接続時間と合わないことがあります。 連続100時間になると、表示時間は00:00:00となり、以降続けてカウントします。</p>
<div>TEL1:ダン 01:55:5</div> <div>TEL2:10:23 240円</div>	<p>アナログ通話を切断しました。 上段にB1チャンネルの状態を、下段にB2チャンネルの状態を表示します。 それぞれ、通話時間と通信料金（セツダン以降の文字列）を、右から左へ流れるように表示します。</p> <p>「00:00:00」は、通信時間を示します。 (例)「01:55:50」 1時間55分50秒</p>

# 停電になったときのために

乾電池を入れることにより、不意の停電の際でも、TEL1ポートに接続した電話機およびS/T端子に接続した機器での通信ができます。TEL2ポートおよびRS-232Cポート、USBポート、10BASE-Tポートに接続した機器では通信できません。

## 1 電池カバーを開けて単3アルカリ乾電池を8本入れます。

乾電池を入れるときは、プラス(+)・マイナス(-)の向きを確かめて入れてください。  
乾電池はお客様で、ご準備願います。



### お知らせ

TEL2ポートで通話中に停電があった場合でも、その通話が終了するまでは継続されます。停電時にはTEL2ポートへ着信できません。新品の乾電池で25 前後で約2時間の連続通話ができます。

乾電池動作中は以下の機能は動作しません。

- 内線通話 (●P73)
- 内線転送 (●P74)

パソコンの背面のコンセント等から本商品の電源をとっている場合に、パソコンの電源を切ると、停電時の動作と同じになる場合があります。電池が消耗します。電源は直接、商用電源のコンセントからとることをおすすめします。

停電時に電池の残量が少なくなると、本商品のTEL1ポートおよびS/T端子も動作しなくなることがあります。

単3アルカリ電池はお客様でご準備ください。停電後、本商品の日時が初期設定に戻っている場合があります。正しい日時を設定するようにしてください。(●P57)



### お願い

保証期間外や残量がなくなった電池は使用しないでください。

そのまま使用していると電池が液もれなどをおこし、故障の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

停電回復後すぐに乾電池を交換する場合は、乾電池が熱くなっていることがありますので、注意してください。

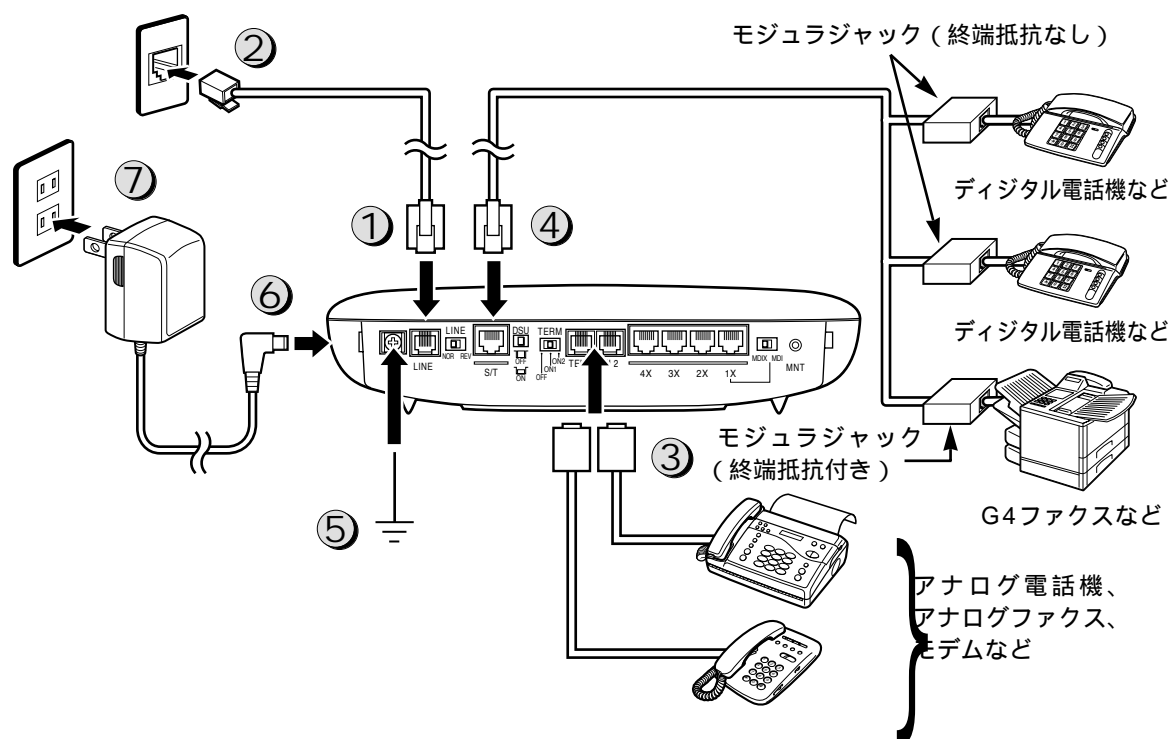


# 接続します

電話回線のコンセントがモジュラジャック式でないときは工事が必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。  
本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は不要となります。

## 接続の手順

### アナログ通信機器を接続するとき



- ① 付属品の電話機コードを回線接続端子（LINE）につなぎます。
- ② 付属品の電話機コードをINSネット64回線用モジュラジャックにつなぎます。
- ③ アナログ通信機器を接続する場合は、電話機コードをアナログポート（TEL1、TEL2）につなぎます。
- ④ デジタル電話機などINSネット64用通信機器を接続する場合は、S/T端子につなぎます。
- ⑤ FG端子にアース線をつなぎます。アース線は付属していません。
- ⑥ 電源アダプタのコードを、電源アダプタコード差込口につなぎます。
- ⑦ 電源アダプタを電源コンセント（AC100V）に差し込みます。



### お知らせ

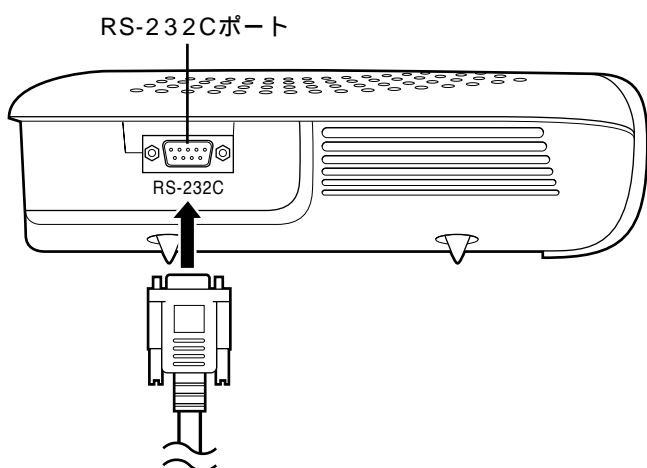
TEL2ポートに電話機を接続しない場合は、WWWブラウザでの設定により「電話番号」(電話番号/追加番号1～7)画面の電話番号ごとのアナログ着信を「TEL1ポートのみ着信」に設定してください。  
本設定は、電話機を使って行うこともできます。(P66)

本図は、アナログ通信機器およびINSネット64用通信機器の接続を概念的に示しています。実際の接続方法は、使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、本図と異なる場合があります。

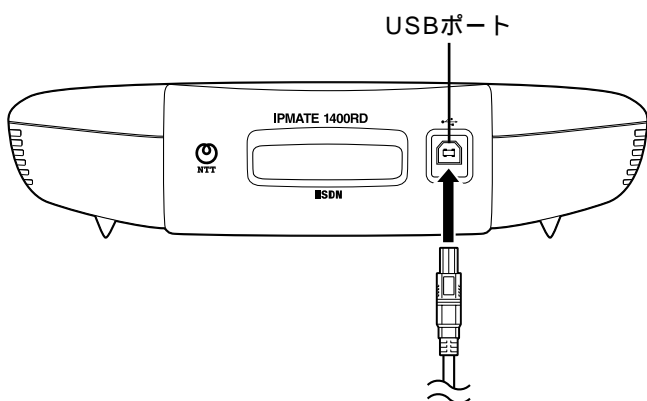
# 接続します

## パソコンを接続するとき

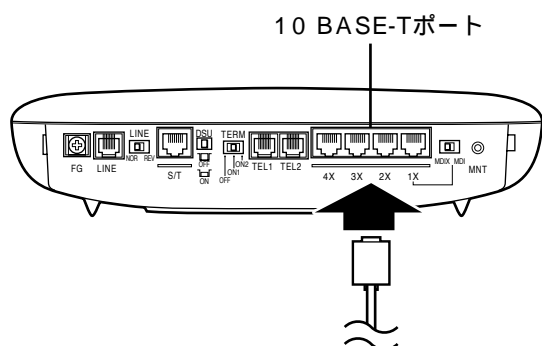
RS-232Cケーブルで接続するときは、左側面のRS-232Cポートにつなぎます。コネクタの向きに注意してください。コネクタを挿入後、両端のネジを回して固定してください。



USBケーブルで接続するときは、正面のUSBポートにつなぎます。コネクタの向きに注意してください。



10BASE-Tケーブルで接続するときは、背面の10BASE-Tポートのいずれかにつなぎます。コネクタの向きに注意してください。



## STOP お願い

パソコンを10BASE-Tケーブルで接続する場合は、本商品とパソコンを接続する前に、パソコンにソフトウェアをインストールし、ネットワークの設定を行う必要があります。(『本商品へ接続する前の準備 パソコンでの操作』)  
パソコンをRS-232CケーブルまたはUSBケーブルで接続する場合は、本商品とパソコンを接続した後、パソコンにソフトウェアをインストールする必要があります。(『本商品へ接続する前の準備 パソコンでの操作』)

USBケーブルを接続してもパソコンが本商品を認識しないときは、USBケーブルを一旦抜いて、接続し直してください。それでも正しく認識しない場合には、本商品やパソコンを再起動してください。

USBポート通信中に、USBケーブルを抜かないでください。パソコンによっては、動作不安定になったり、フリーズしたりすることがあります。

Windows® 98、Windows® 2000のUSBポートを使用する場合、ハードウェアフロー制御(RS-CS,RTS-CTS)でご利用ください。ソフトウェアフロー制御(XON-XOFF)では利用できません。

ご利用のパソコンによっては、Windows® 98(Second Edition)でUSBドライバをインストールすると、RS-232Cの通信COMポートがUSBの仮想COMポートと重複する場合があります。その場合には、RS-232Cの通信ポートを「使わない」に設定して重複しないようにしてください。

内蔵モデム付パソコンを使用する場合、Windows® 98(Second Edition)でUSBドライバをインストールすると、内蔵モデムの通信COMポートがUSBの仮想COMポートと重複する場合があります。その場合には内蔵モデムの通信ポートを「使わない」に設定して重複しないようにしてください。

## 接続上の注意

### INSネット64の接続

接続には付属品の電話機コードを使用してください。



#### お知らせ

ダイヤル式（DP）のアナログ通信機器は使用できません。

ダイヤル式（DP）／プッシュ式（PB）の切替スイッチが付いているアナログ通信機器をお使いになる場合は、「PB」または「トーン」に切り替えてください。（財）電気通信端末機器審査協会の適合認証を取得しているアナログ通信機器を接続してください。

一般のアナログ回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。

料金管理装置などを接続してご使用になると、通信事業者からの通信料金の請求額とは必ずしも一致しない場合がありますので、ご注意ください。

モジュラジャックの配線工事には工事担任者資格が必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。

本商品のローディングモード中は、USBポートは使用できません。

iMac / iBook / PowerMacintosh G3 / PowerMacintosh G4のUSBポートを使用する場合、次の理由により、USBポートが認識されなくなることがあります。その際は、USBケーブルを一度抜き、接続し直してください。それでも正しく認識されない場合には、本商品やパソコンを再起動してください。

- 「簡易LAN接続」機能を使用して本商品を設定し、再起動した場合
- パソコンのスリープ機能動作時
- パソコンのアプリケーション動作中にUSBケーブルを抜く、または、本商品の電源を切った場合

MacintoshのUSBポートを使用する場合、USBを安定して動作させるためには、ご利用のパソコンが正常に動作する状態にあることが必要です。エラーやフリーズが頻繁に起こる環境の場合は、機能拡張の制限、OS更新後のUSBドライバインストールを行い、正常に動作するようにしてください。

Windows® 98、Windows® 2000のUSBポートを使用する場合、USBポート通信中にパソコンのスタンバイ機能が働かない場合があります。スタンバイ機能をご利用の場合には、USBポート通信終了後ご利用ください。

### 電源との接続

電源アダプタはAC100 V（50 Hzまたは60 Hz）の電源コンセントに接続してください。

### パソコンの接続

本商品は、Windows® 95、Windows® 98、Windows® 98(Second Edition)、Windows® 2000、Mac OS7.6.1以降のOSを持つパソコンに対応しています。

ただし、USBポートを使用する接続は、Windows® 98、Windows® 98(Second Edition)、Windows® 2000、Mac OS8.6以降のOSを持つパソコンのみ対応しています。

### アースの接続

落雷等の電撃事故による人身、本商品への損傷を防止するためにFG端子には必ずアース線を接続してください。

### 電話・ファクスの接続

TEL1、TEL2ポートには、一般のアナログ回線に接続するプッシュ式（PB）のアナログ通信機器（電話機、ファクス等）を接続できます。



#### お願い

INSネット64回線の電話機コードを抜き差しする場合は、本商品の電源アダプタおよび乾電池を抜いてから行ってください。

屋外に渡る配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。

機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。

INSネット64用通信機器の接続は、配線が全長で150 m以下となるようにしてください。

1つのアナログポート（TEL1、TEL2ポート）には1台のアナログ通信機器を接続してください。ブランチ接続はできません。1つのアナログポートに複数の通信機器を接続すると、使用できないことがあります。

アナログ通信機器にブランチ接続用の端子がある場合、この端子には何も接続しないでください。

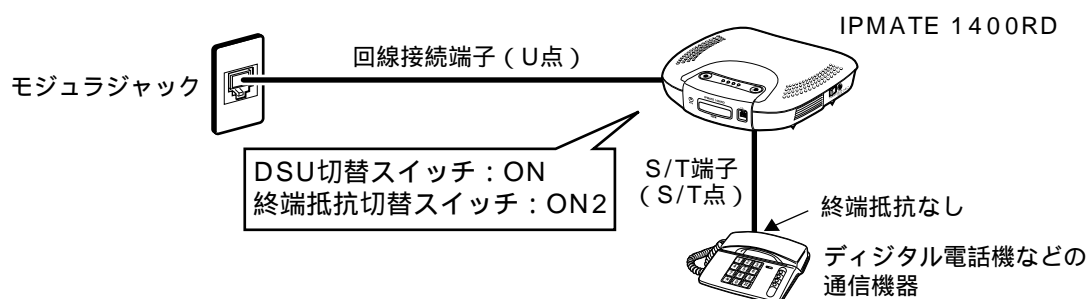
# 接続します

## INSネット64用通信機器の接続および終端抵抗の設定

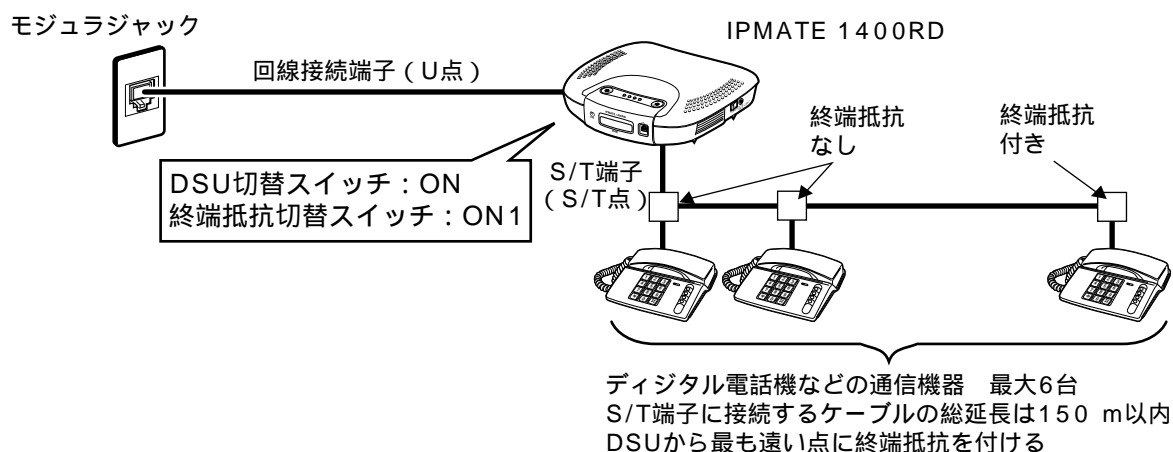
デジタル電話機などの通信機器は、S/T端子に最大6台まで接続して使用できます。接続する台数、および、内蔵DSUを使用する / しないによって、スイッチの設定、配線方法が異なります。

通常、デジタル通信機器は1本の回線に対して最大8台まで接続可能ですが、IPMATE 1400RDの場合、デジタル通信機器2台分として動作します（2つのTEI : Terminal Endpoint Identifierを使用）。このため、IPMATE 1400RDに接続可能なデジタル通信機器は最大で6台となります。

**内蔵DSUを使用する場合で、S/T端子に端末を接続しない、または、10 m以下の接続ケーブルで端末を接続する場合**



**内蔵DSUを使用する場合で、S/T端子への配線総延長が10 mを超える場合**

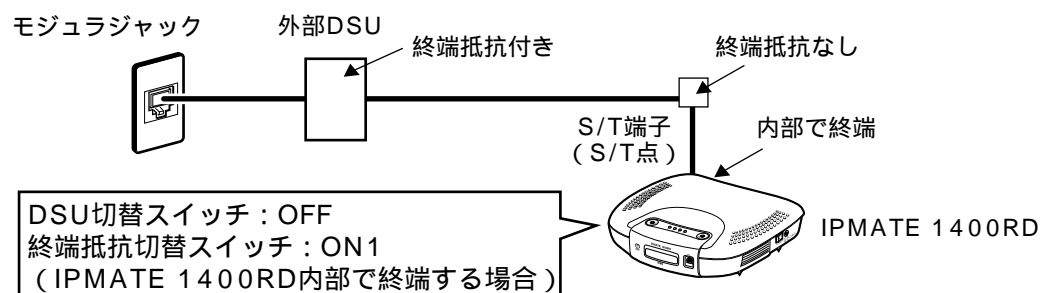


## 外部のDSUを使用し、IPMATE 1400RDを1台だけ接続する場合

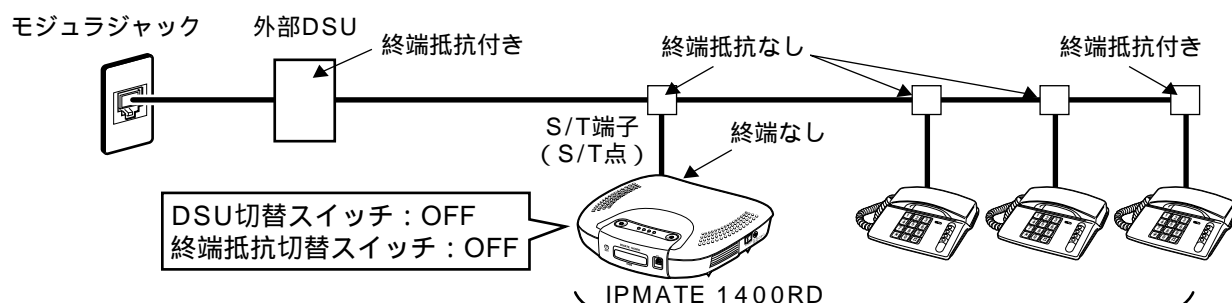
S/T端子で外部DSUと接続します。回線接続端子は使用しません。

IPMATE 1400RD内部でS/T端子を終端する場合は、終端抵抗切替スイッチをON1にします。

外部のローゼットで終端する場合は、終端抵抗切替スイッチをOFFにします。



## 外部のDSUを使用し、バス接続でIPMATE 1400RDを使用する場合



デジタル電話機などの通信機器はIPMATE 1400RDの他に最大6台  
S/T端子に接続するケーブルの総延長は150 m以内  
DSUから最も遠い点に終端抵抗を付ける



### お知らせ

終端抵抗切替スイッチ (OFF / ON1 / ON2) の意味は以下のとおりです。

OFF : 終端抵抗は接続されません。

ON1 : 100オームの終端抵抗が1個接続されます。

ON2 : 100オームの終端抵抗が2個接続されます。

S/T端子でバス接続する場合は、バスの両端、「DSU側」と「端末側」に1個ずつ、終端抵抗をつけて終端する必要があります。

本商品では、内蔵DSUを使用する / しないによって、終端抵抗切替スイッチの設定を、以下のように替える必要があります。

- 内蔵DSUを使用する場合

DSU側に1個、終端抵抗が必要です。

端末側に終端抵抗がある場合は、終端抵抗は合計1個 (終端抵抗切替スイッチ : ON1) が必要です。

端末側に終端抵抗がない場合は、終端抵抗は合計2個 (終端抵抗切替スイッチ : ON2) が必要です。

- 内蔵DSUを使用しない場合

DSU側に、終端抵抗は必要ありません。通常は、外付けするDSUに終端抵抗が付いています。

端末側に終端抵抗がある場合は、終端抵抗は不要 (終端抵抗切替スイッチ : OFF) です。

端末側に終端抵抗がない場合は、終端抵抗は合計1個 (終端抵抗切替スイッチ : ON1) が必要です。

## 接続します

### RS-232Cポートにパソコンを接続する場合に使用するケーブル

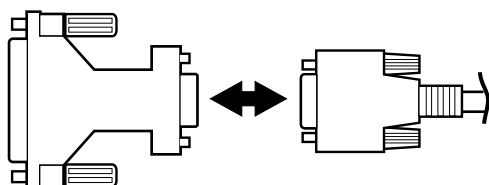
RS-232Cポートに接続するパソコンの種類により、ケーブルを以下のようにつないでください。

#### 9ピンのシリアルポートを持つパソコンに接続する場合

付属品のRS-232Cケーブルで、パソコンのシリアルポート（9ピン）に接続します。

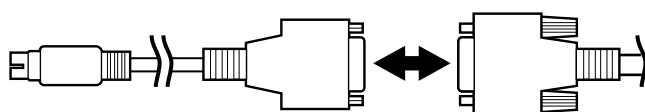
#### 25ピンのシリアルポートを持つパソコンに接続する場合

付属品のRS-232Cケーブルと市販のD-SUB25ピン変換コネクタで、パソコンのシリアルポート（25ピン）に接続します。



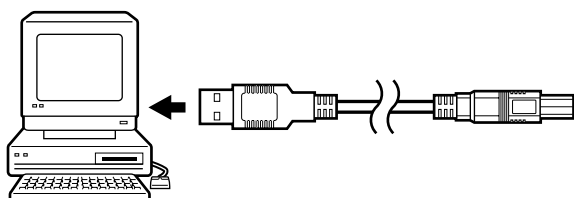
#### Macintoshのモデムポート/プリンタポートに接続する場合

付属品のRS-232Cケーブルを市販のMac変換ケーブルにつないで、パソコンのモデムポートまたはプリンタポートに接続します。



### USBポートにパソコンを接続するケーブル

付属品のUSBケーブルで、パソコンのUSBポートに接続します。



### 10BASE-Tポートにパソコンを接続するケーブル

付属品の10BASE-TケーブルでパソコンのLANボード（カード）の端子に接続します。

10BASE-Tポートが装備されていないパソコンをお使いの場合はあらかじめ、パソコンにLANボード（カード）を装着してください。

なお、パソコンを2台以上接続するときは、市販の10BASE-Tケーブルをご用意ください。

### HUBの接続

パソコンを5台以上接続するときは、10BASE-Tの1×ポートに10BASE-TケーブルでHUBを接続します。HUBのUPLINKポートに接続する場合は、ストレート/クロス切替スイッチを「MDIX」に、HUBの通常ポートに接続する場合は、ストレート/クロス切替スイッチを「MDI」に切り替えてください。

リピータハブの段数は、規格ISO 8802-3で規定されています。

### 外付けのDSUに接続するには

S/T端子に外付けDSUを接続し、DSU切替スイッチを「OFF」にします。

### STOP お願い

ケーブルの接続はパソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。

変換コネクタまたは変換ケーブルを接続するときは、コネクタの方向に注意して挿入し、両端のネジを回して固定してください。

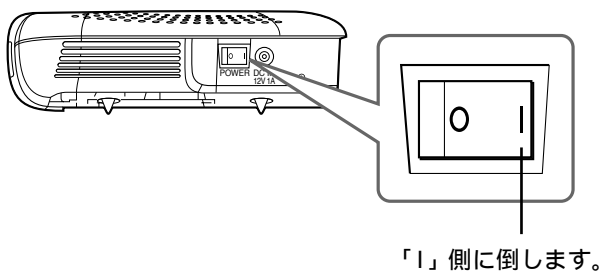
IPMATE 1400RDのUSBポートにパソコンを接続するには、以下のOSが必要です。

- ・ Windows® 98
- ・ Windows® 2000
- ・ MacOS 8.6 ~ 9.0

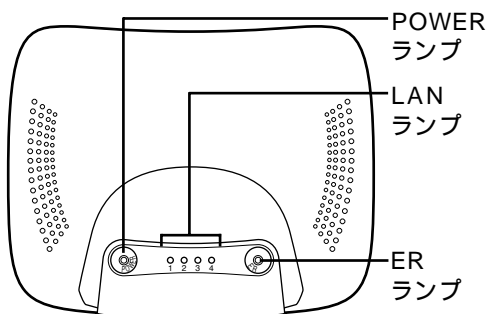
ただし、パソコンの種類やOSによっては使用できなかったり、制限事項がある場合があります。

## 電源を入れます

- ① 右側面の電源スイッチを「ON」にします。  
自動的に自己診断が始まります。



- ② LANランプが4つ同時に点灯します。  
POWERランプ、ERランプが緑色で点灯します。



- ③ 液晶ディスプレイの表示とランプが順番に変わります。

IPMATE 1400RD  
\*\*\*\*\*

ファームウェアのローディング中です。  
POWERランプが橙で点灯します。

IPMATE 1400RD  
\*\*\*\*\*

自己診断中です。  
POWERランプが橙で点灯します。

IPMATE 1400RD  
V01.10

内部ファームウェアがスタートし、バージョンが表示されます。

POWERランプが緑で点灯します。

VXX.XXは内蔵ファームウェアのバージョンを表します。

- ④ 次の表示が出たら通信が可能になります。

4月25日 10:25:40  
ISDN READY

LANランプが緑、POWERランプが緑で点灯します。



### ワンポイント

液晶ディスプレイが正常表示にならないときには、いったん電源スイッチを「OFF」にし、U点の極性切替スイッチを反対側に切り替えたあと、もう一度電源スイッチを「ON」にします。

極性切替スイッチは、「NOR」が通常状態、「REV」が反転した状態です。



### お知らせ

本商品をルータとして利用する場合、10BASE-Tポートに接続されたパソコンからの要求により自動的に回線接続を行います。このためご利用になる環境、アプリケーション等の条件、本商品の設定の誤りなどにより、お客様の意図しない発信が行われる場合がありますのでご注意ください。

日時の設定は、WWWブラウザでの設定により、[日時]画面で行ってください。(●P60、64)

本設定は、電話機を使って行うこともできます。(●P66)

# 利用形態を決める

本商品の利用形態について紹介します。

本商品の利用形態には次のものがあります。

それぞれの設定例は、別途紹介しています。(CD-ROM内の「オンラインマニュアル」を参照してください。)

WWWブラウザの設定手順については「WWWブラウザでの設定手順」(●P55)を参照してください。

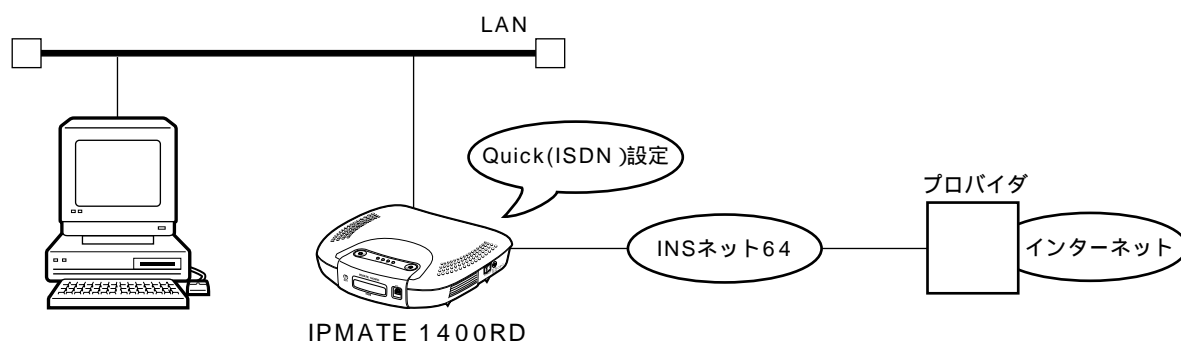
## 利用形態

1. INSネット64を使用して、インターネット接続(端末型ダイヤルアップ)する
2. 利用サービスごとに、接続するインターネットプロバイダを変更する
3. 端末ごとに、接続するインターネットプロバイダを変更する
4. INSネット64を使用して、インターネット接続(LAN型ダイヤルアップ)する(NAT未使用)
5. INSネット64を使用して、インターネット接続(LAN型ダイヤルアップ)する(NAT使用)
6. FLET'S・Isdn(IP接続サービス)を利用する
7. INSネット64を使用して、2か所のLANを接続する
8. INSネット64を使用して、3か所以上のLANを接続する
9. INSネット64を使用して2か所のLANを接続し、新規インターネットプロバイダを共有する
10. INSネット64を使用して2か所のLANを接続し、既存インターネットプロバイダを共有する
11. シリアルポートから、インターネットへダイヤルアップ接続する
12. シリアルポートから、簡易LAN接続機能を利用する
13. 遠隔地の端末からLANを利用する
14. 特定ポート番号宛のデータを受信する
15. 特定データのみ透過する
16. OCNエコノミーを使用して、インターネット接続する(NAT未使用)
17. OCNエコノミーを使用して、インターネット接続する(NAT使用)
18. 専用線(HSD、DA64/128)を使用して、2か所のLANを接続する(デフォルトルート使用)
19. 専用線(HSD、DA64/128)を使用して、2か所のLANを接続する(スタティックルート使用)
20. 専用線(HSD、DA64/128)を使用して、2か所のLANを接続する(回線側IPアドレス使用)
21. 専用線(HSD、DA64/128)を使用して2か所のLANを接続し、既存インターネットプロバイダを共有する



## 1. INSネット64を使用して、インターネット接続（端末型ダイヤルアップ）する

INSネット64を使って、インターネットに端末型ダイヤルアップ接続します。  
本商品の10BASE-Tポートへパソコンを接続して使用します。



### 設定のポイント

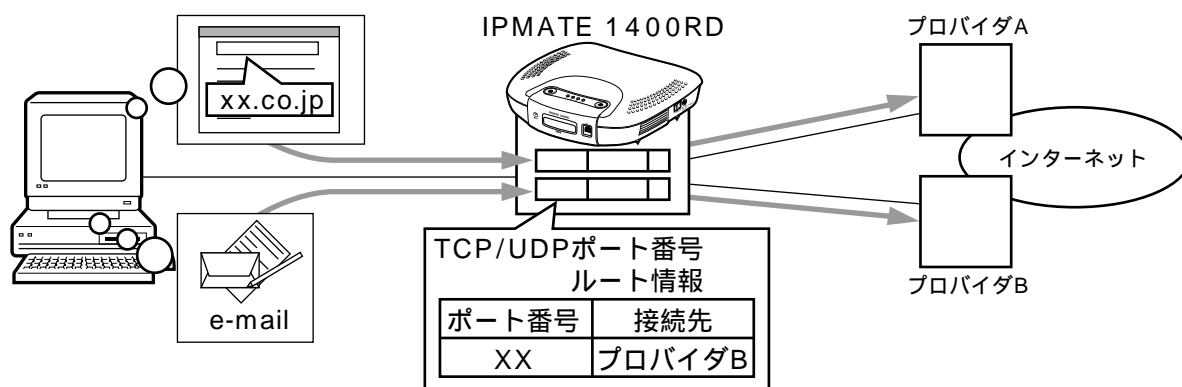
- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- 本商品のIPアドレスは、新規LANを構築する場合は初期設定のままお使いください。  
既存のLANに接続する場合は、既存LANのネットワークに合わせて変更してください。
- インターネットプロバイダから通知された、電話番号、ユーザID、認証パスワード、DNSサーバアドレスを設定します。
- 既存のLANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」に設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 2. 利用サービスごとに、接続するインターネットプロバイダを変更する

利用するサービス(例えばftpや電子メール)ごとに、接続するインターネットプロバイダを切り替えることができます。

本商品は、指定したサービスを受信すると、自動的にインターネットプロバイダを選択し、接続します。このような動作を行うためには、「TCP/UDPポート番号ルート情報」を登録します。



### 設定のポイント

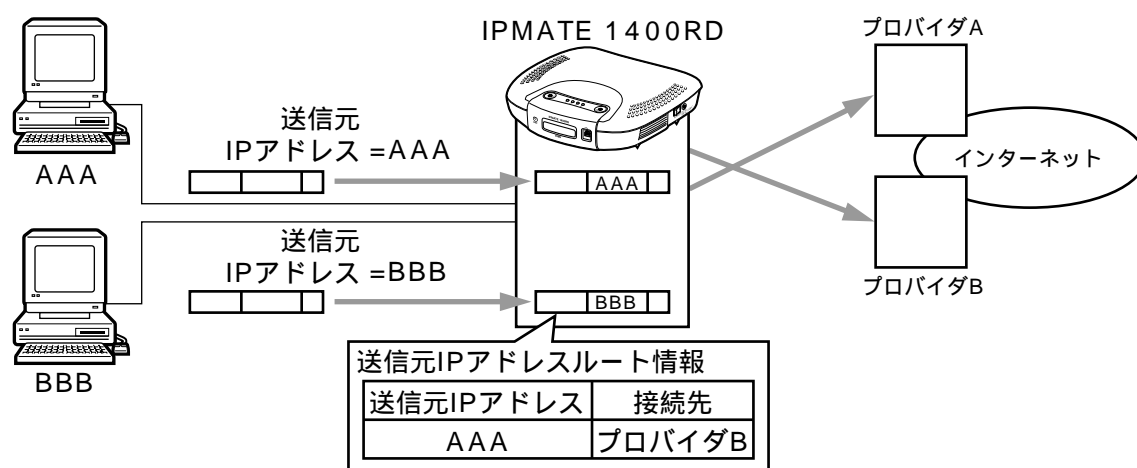
- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- インターネットプロバイダから通知された、電話番号、ユーザID、認証パスワード、DNSサーバアドレスを、それぞれ接続先No1、接続先No2に設定します。
- 既存のLANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」に設定します。
- プロトコルによって接続先を変更するよう、TCP/IPポート番号ルート情報を設定します。特定のプロトコルで接続先を固定する場合、対象としたいプロトコルのポート番号と、接続先のNoを設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

### 3. 端末ごとに、接続するインターネットプロバイダを変更する

利用する端末ごとに、接続するインターネットプロバイダを切り替えることができます。本商品は、指定した端末からデータを受信すると、自動的にインターネットプロバイダを選択し、接続します。

このような動作を行うためには、「送信元IPアドレスルート情報」を登録します。



#### 設定のポイント

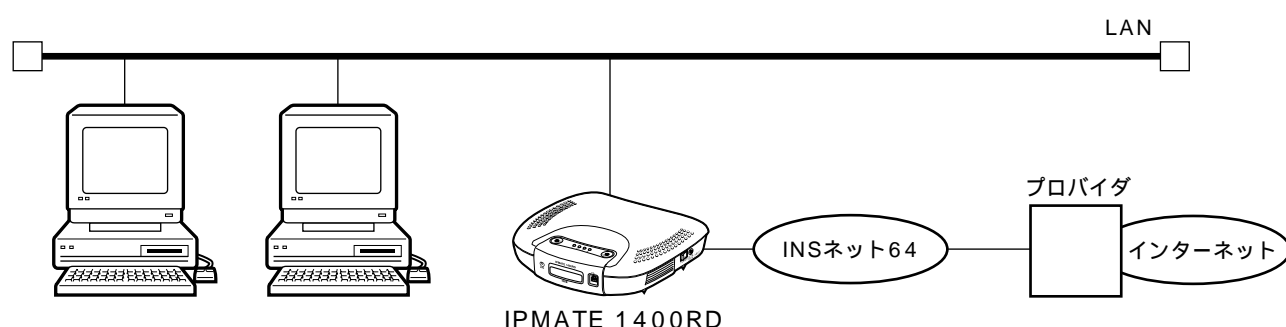
- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- インターネットプロバイダから通知された、電話番号、ユーザID、認証パスワード、DNSサーバアドレスを、それぞれ接続先No1、接続先No2に設定します。
- 既存のLANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」に設定します。
- 端末によって接続先を変更するよう、送信元IPアドレスルート情報を設定します。特定の端末からの送信で接続先を固定する場合、対象としたい装置のIPアドレスと、接続先のNoを設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

#### 4. INSネット64を使用して、インターネット接続（LAN型ダイヤルアップ）する（NAT未使用）

LANを構築し、INSネット64を使って、インターネットにLAN型ダイヤルアップ接続します。ただし、インターネットプロバイダから割り当てられたグローバルアドレスの数より、端末の台数が少ない場合について説明します。

この場合、NATを使用せず、グローバルアドレスを各装置に割り当てます。



##### 設定のポイント

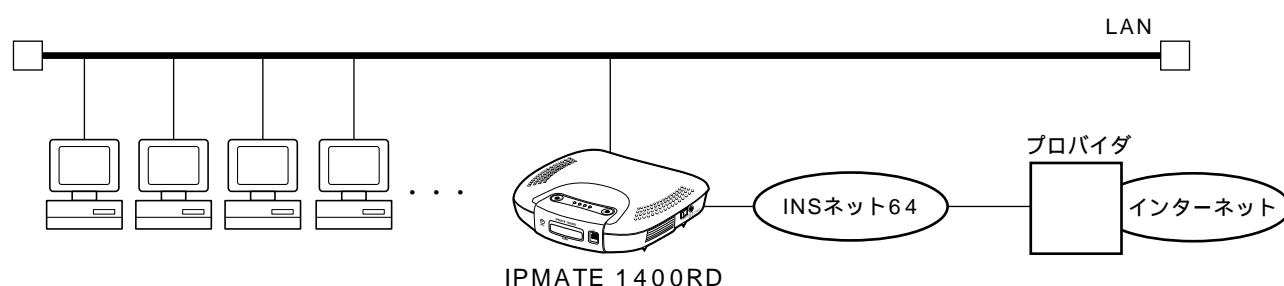
- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- インターネットプロバイダから通知された、電話番号、ユーザID、認証パスワード、DNSサーバアドレスを設定します。
- インターネットプロバイダから通知された、グローバルアドレスをLANに割り当てます。それをもとに、本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを設定します。また、NAT（アドレス変換）を「使用しない」に設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 5. INSネット64を使用して、インターネット接続（LAN型ダイヤルアップ）する（NAT使用）

LANを構築し、INSネット64を使って、インターネットにLAN型ダイヤルアップ接続します。ただし、インターネットプロバイダから割り当てられたグローバルアドレスの数より、端末の台数が多い場合について説明します。

この場合、NATを使用し、プライベートアドレスを各装置に割り当てます。



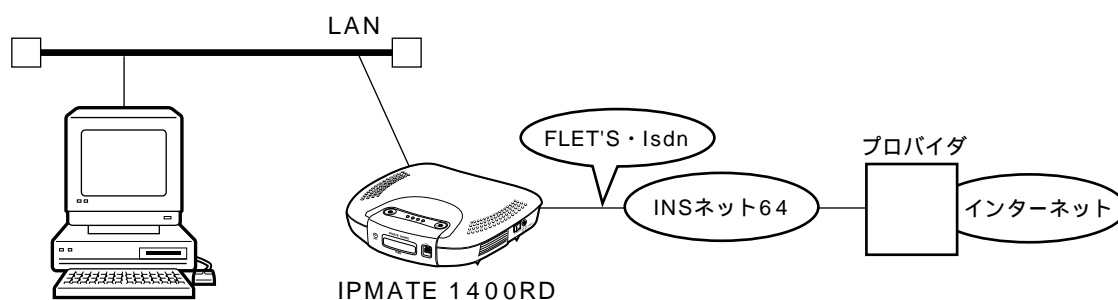
### 設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- インターネットプロバイダから通知された、電話番号、ユーザID、認証パスワード、DNSサーバアドレスを設定します。
- インターネットプロバイダから通知された、グローバルアドレスをLANに割り当てず、プライベートアドレスを割り当てます。同様に、本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクにプライベートアドレスを設定します。また、NAT（アドレス変換）を「使用する」に設定し、グローバルアドレスを設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 6. FLET'S・Isdn (IP接続サービス) を利用する

FLET'S・Isdn (IP接続サービス) を利用して、常時接続します。



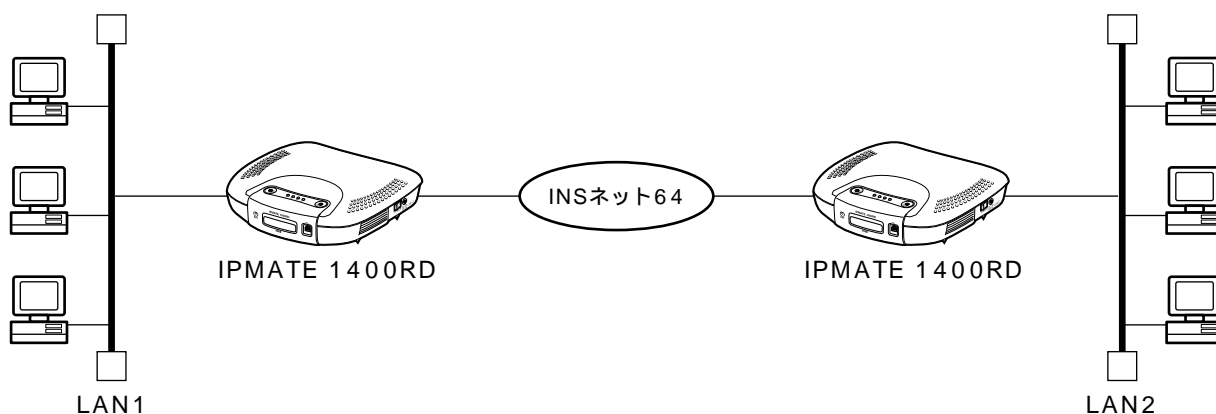
### 設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- インターネットプロバイダから通知された電話番号、ユーザID、認証パスワード、DNSサーバアドレスを設定します。
- FLET'S・Isdn (IP接続サービス) を利用する接続先を決定します。
- 既存のLANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」に設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 7. INSネット64を使用して、2か所のLANを接続する

2か所のLANを、INSネット64を用いて接続します。



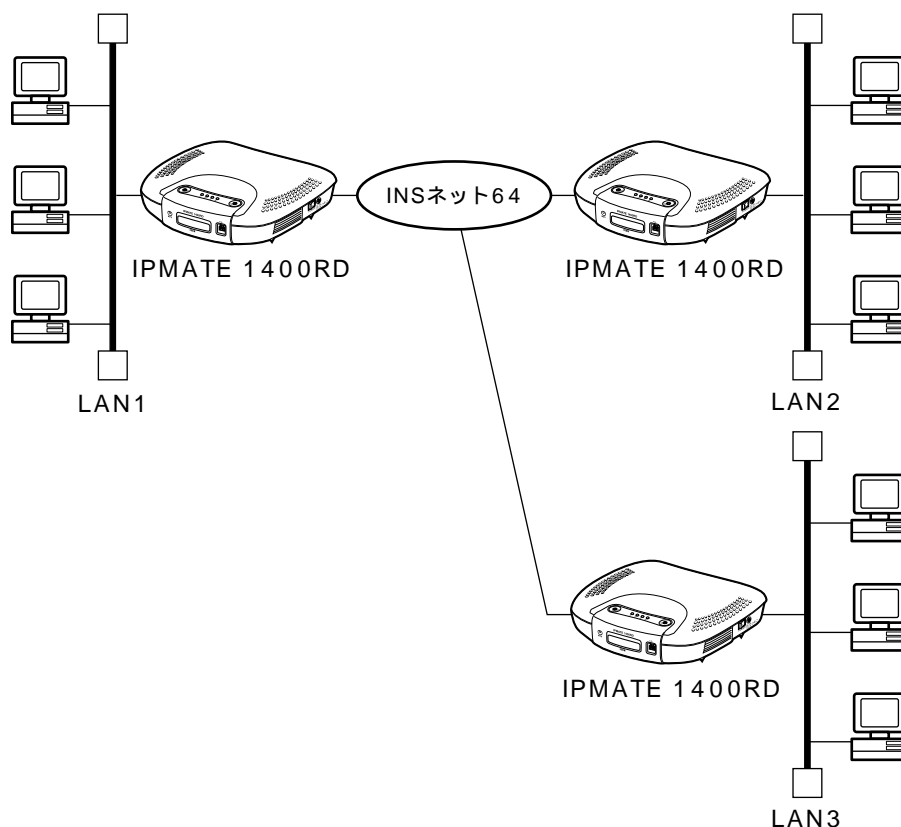
### 設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- 本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを既存LANに合わせて変更します。相手側のLANのネットワークアドレスとは異なる値にします。
- 相手側の電話番号を設定します。また、相手側と合わせて、ユーザID、認証パスワード、相手ユーザID、相手パスワードを設定します。
- デフォルトルートを「使用しない」に設定し、スタティックルート情報として、相手側のLANを指定します。
- 既存LANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」に設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 8. INSネット64を使用して、3か所以上のLANを接続する

3か所のLANを、INSネット64を用いて接続します。



### 設定のポイント

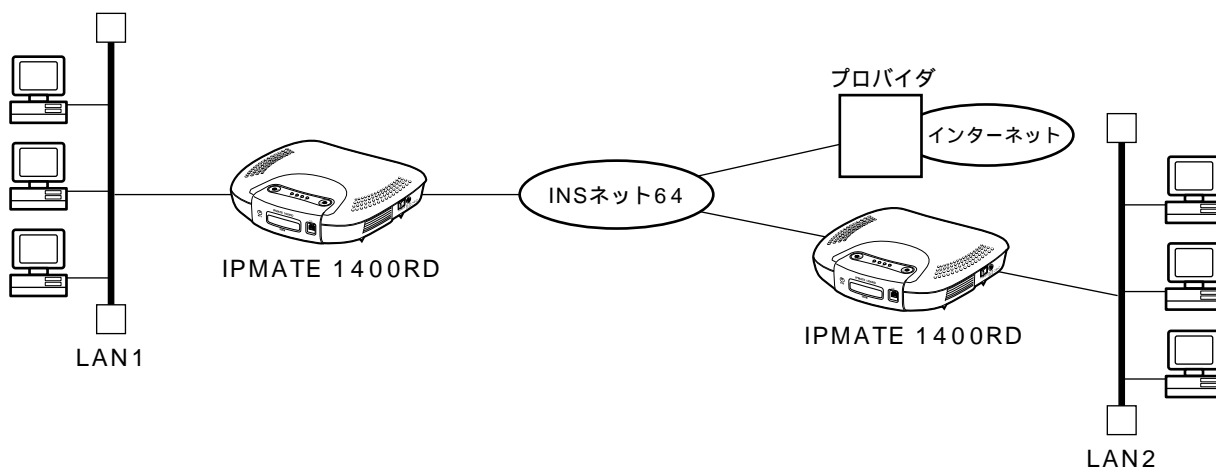
- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- 本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを既存LANに合わせて変更します。相手側のLANのネットワークアドレスとは異なる値にします。
- 相手側の電話番号を設定します。また、相手側と合わせて、ユーザID、認証パスワード、相手ユーザID、相手パスワードを設定します。
- デフォルトルートを「使用しない」に設定し、スタティックルート情報として、相手側のLANを指定します。
- 既存LANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」設定にします。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。



## 9. INSネット64を使用して2か所のLANを接続し、新規インターネットプロバイダを共有する

2か所のLANを、INSネット64を用いて接続し、インターネットへアクセスします。



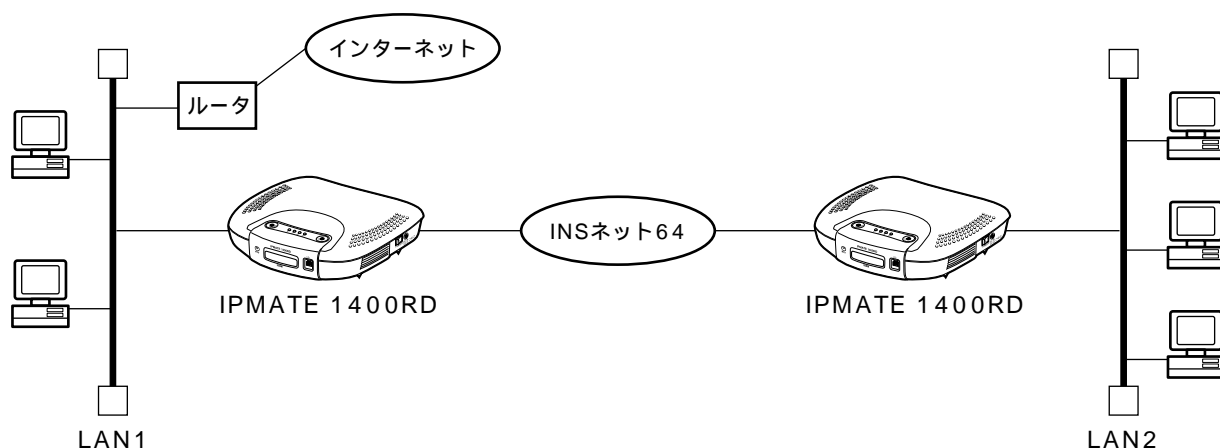
### 設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- 本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを既存LANに合わせて変更します。相手側のLANのネットワークアドレスとは異なる値にします。
- 接続先No1として、インターネットプロバイダから通知された、電話番号、ユーザID、認証パスワード、DNSサーバアドレスを設定します。
- 接続先No2として、相手側の電話番号を設定します。また、相手側と合わせて、ユーザID、認証パスワード、相手ユーザID、相手パスワードを設定します。
- デフォルトルートを「使用しない」に設定し、スタティックルート情報として、相手側のLANを指定します。
- 既存LANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」設定にします。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 10. INSネット64を使用して2か所のLANを接続し、既存インターネットプロバイダを共有する

2か所のLANを、INSネット64を用いて接続します。LAN1側の既存ルータから、インターネットに接続する場合について説明します。



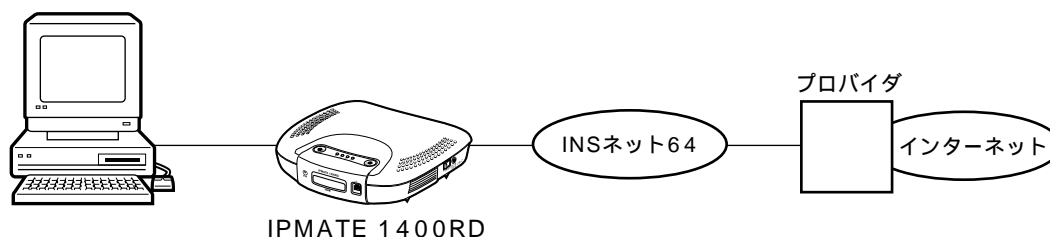
### 設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- 本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを既存LANに合わせて変更します。相手のLANのネットワークアドレスとは異なる値にします。
- 相手側の電話番号を設定します。また、相手側と合わせて、ユーザID、認証パスワード、相手ユーザID、相手パスワードを設定します。
- 既存のLANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」に設定します。
- 既存のルータを接続しているLAN1側は、本商品のデフォルトルートを「使用しない」のままとし、スタティックルートを設定します。
- 既存のルータを接続しないLAN2側は、本商品のデフォルトルートを「使用する」に設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 11. シリアルポートから、インターネットへダイヤルアップ接続する

RS-232CポートまたはUSBポートに接続した端末から、INSネット64を使用して、インターネットへダイヤルアップ接続します。



### 設定のポイント

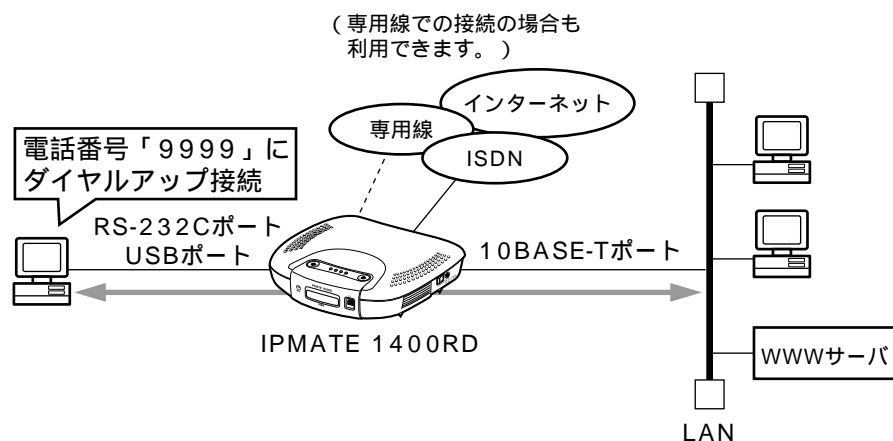
- 付属のCD-ROMを使い、パソコンに使用する通信モードに合ったモデム定義ファイルをインストールします。モデム定義ファイルのインストールについては、「本商品へ接続する前の準備＜パソコンの操作＞」を参照してください。
- パソコンのPPPモジュールに、インターネットプロバイダから通知された、電話番号、ユーザID、認証パスワードを設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 12. シリアルポートから、簡易LAN接続機能を利用する

RS-232CポートまたはUSBポートに接続した端末を、10BASE-Tポートに接続した端末のLANに参加させることができます。

これによって、10BASE-Tポートに接続した場合と同じように、インターネットに接続したり、ネットワーク上の資源を利用できるようになります。



### 設定のポイント

- 10BASE-Tポートに接続したパソコンでLANを構築後、別のパソコンをRS-232CポートまたはUSBポートに接続します。
- 付属のCD-ROMを使い、本商品のRS-232CポートまたはUSBポートに接続したパソコンにモデム定義ファイルをインストールします。モデム定義ファイルのインストールについては、「本商品へ接続する前の準備＜パソコンの操作＞」を参照してください。
- パソコンのダイヤルアップ設定に、電話番号「9999」、IPアドレス「自動取得」、サーバの種類「TCP/IPのみ」を設定します。また、PPPモジュールのユーザID、パスワードは空白のままとします。

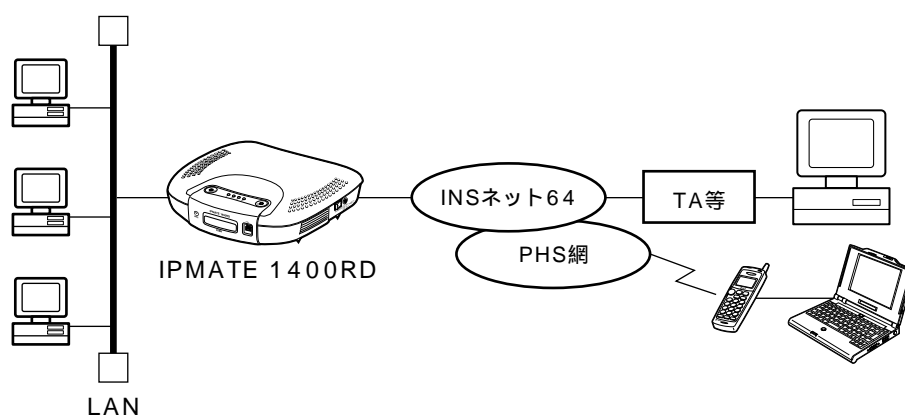
CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

### 13. 遠隔地の端末からLANを利用する

アクセスサーバ機能を利用することで、INSネット64を介した遠隔地の端末から、10BASE-Tポートに接続した端末のLANに参加させることができます。

アクセスサーバ機能を利用すると、LAN側ネットワークのIPアドレスを遠隔地の端末に割り当てることができます。

外出先などから、LAN上のサーバなどにアクセスすることが可能となります



#### 設定のポイント

- 利用形態1 (●P33) を参照して、LANを組みます。
- 本商品のアクセスサーバ機能を「使用する」に設定します。また、割当てIPアドレスや、利用者のユーザ名、パスワードを設定します。
- 外部から不正に接続されるのを防ぐために、PPP認証を設定します。
- 遠隔地からアクセスするパソコンに、本商品へのダイヤルアップ接続を行う設定が必要です。また、PPPモジュールに、本商品へ利用者として登録したユーザ名、パスワードを設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

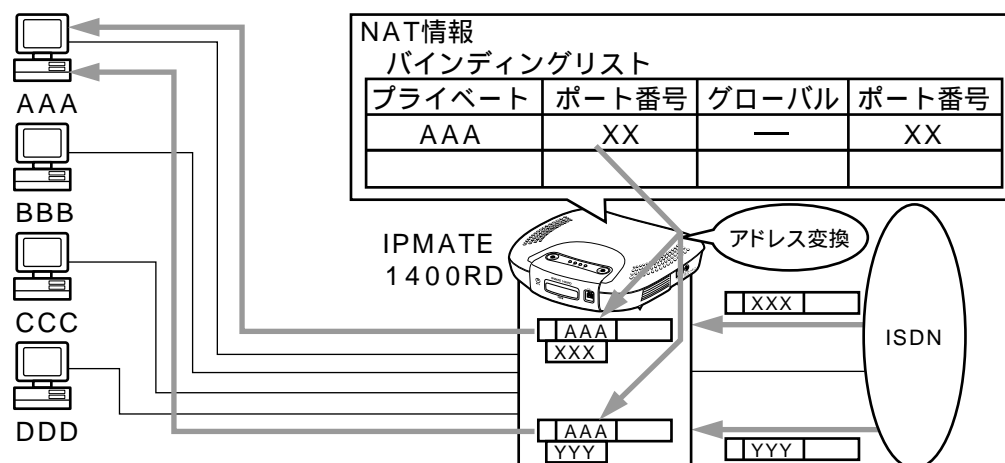
## 14. 特定ポート番号宛のデータを受信する

INSネット64を使って、インターネットに端末型ダイヤルアップ接続します。

NAT使用時に、サーバからのデータを転送できなくなる場合があります。

これは、サーバから、いくつかのアプリケーションで、特定のポート番号に向かってデータ送信されるため、ルータまで届いたデータを端末に転送する段階で、どの端末にデータを転送してよいのか判断できなくなるからです。

そこで、NATバインディング機能を使って、特定ポート番号宛のデータを特定端末に転送するように設定する必要があります。



## 設定のポイント

- 利用形態1 (●P33) を参照して、LANを組みます。
- 本商品のバインディングリストを登録します。対象とするポート番号、受信する端末のIPアドレスを設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

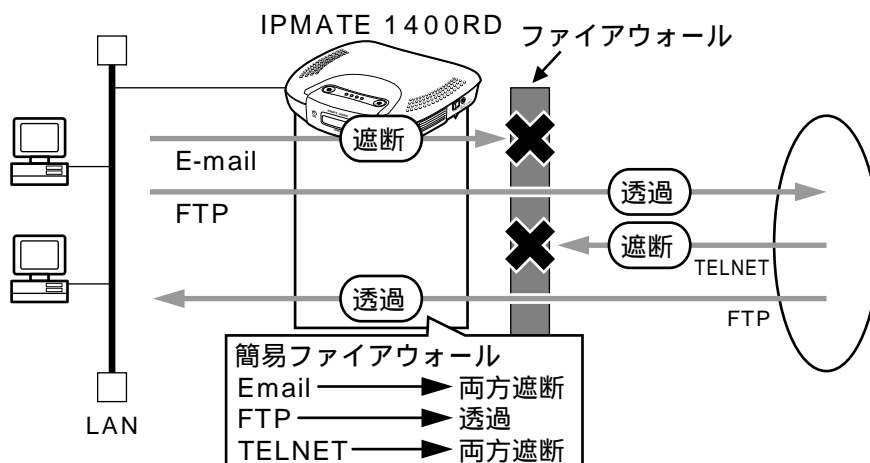
## 15. 特定データのみ透過する

INSネット64を使って、インターネットに端末型ダイヤルアップ接続します。

特定のプロトコルのみ透過させます。

これは、簡易ファイアウォール機能によって実現できます。

簡易ファイアウォール機能は、1つのプロトコルに対して回線側へのアクセス時と回線側からのアクセス時で別々の設定ができるため、外部からのセキュリティを確保しつつ、内部から外部サービスを利用することも可能となります。



### 設定のポイント

- 利用形態1 (●P33) を参照して、LANを組みます。
- 本商品の簡易ファイアウォールを登録します。接続先のNoと、各プロトコルの動作を選択し、設定します。

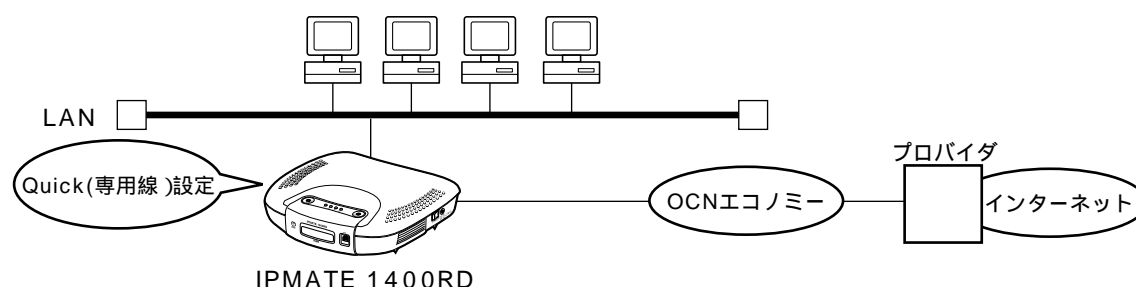
CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 16. OCNエコノミーを使用して、インターネット接続する (NAT未使用)

LANを構築し、OCNエコノミーを使って、インターネットに接続します。

ただし、インターネットプロバイダから割り当てられたグローバルアドレスの数より、端末の台数が少ない場合について説明します。

この場合、NATを使用せず、グローバルアドレスを各装置に割り当てます。



### 設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- インターネットプロバイダから通知された、グローバルアドレスをLANに割り当てます。それをもとに、本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを設定します。また、NAT(アドレス変換)を使用しない設定にします。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

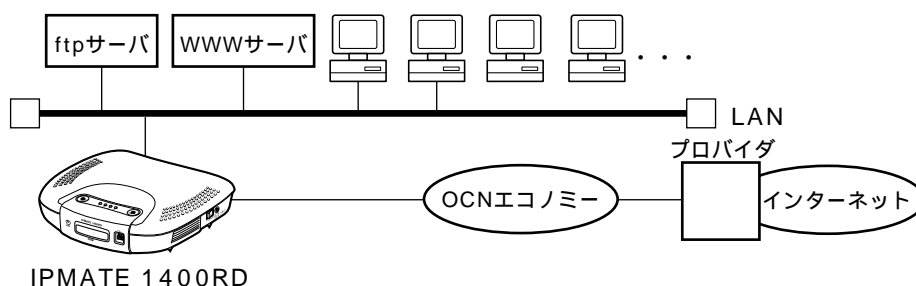


## 17. OCNエコノミーを使用して、インターネット接続する (NAT使用)

LANを構築し、OCNエコノミーを使って、インターネットに接続します。

ただし、インターネットプロバイダから割り当てられたグローバルアドレスの数より、端末の台数が多い場合について説明します。

この場合、NATを使用し、プライベートアドレスを各装置に割り当てます。



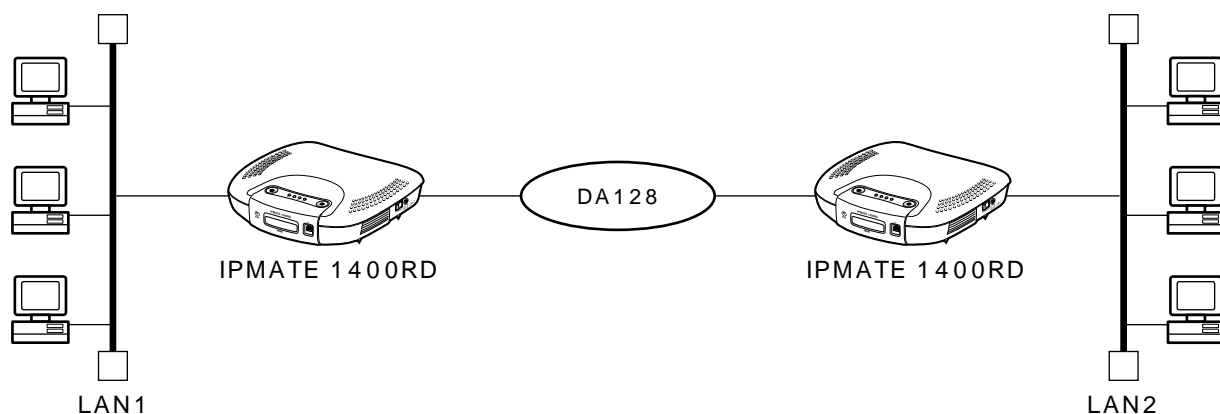
### 設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- インターネットプロバイダから通知された、グローバルアドレスをLANに割り当てず、プライベートアドレスを割り当てます。同様に、本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクにプライベートアドレスを設定します。また、NAT（アドレス変換）を「使用する」に設定し、グローバルアドレスを設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

### 18. 専用線（HSD、DA64/128）を使用して、2か所のLANを接続する（デフォルトルート使用）

2か所のLANを、専用線（HSD、DA64/128）を用いて接続します。  
回線側にIPアドレスを設定せず、デフォルトルートを使用する場合について説明します。



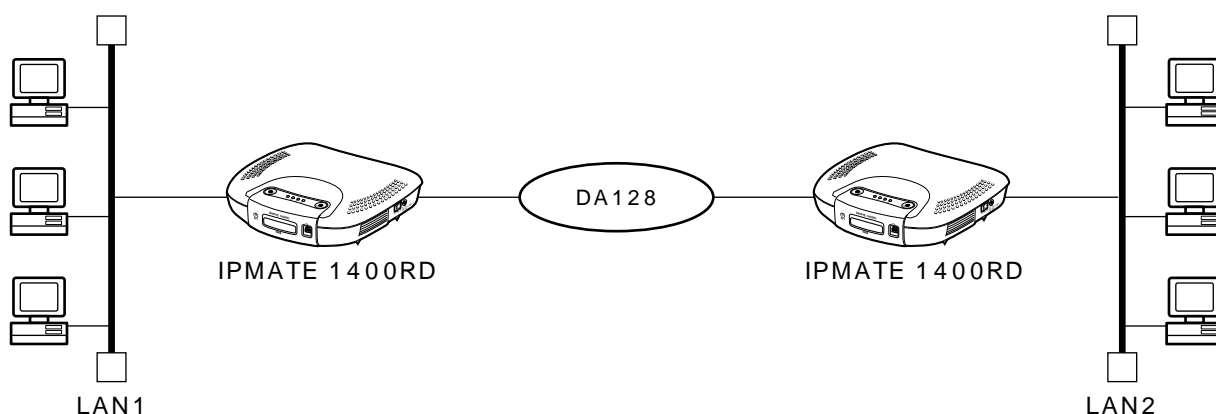
#### 設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- 本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを既存LANに合わせて変更します。相手側のLANのネットワークアドレスとは異なる値にします。
- 相手側と合わせて、PPP認証動作、ユーザID、認証パスワード、相手ユーザID、相手パスワードを設定します。
- 既存LANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」に設定します。
- 接続相手へのデフォルトルートを「使用する」に設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 19. 専用線（HSD、DA64/128）を使用して、2か所のLANを接続する（スタティックルート使用）

2か所のLANを、専用線（HSD、DA64/128）を用いて接続します。  
回線側にIPアドレス設定せず、スタティックルートを指定する場合について説明します。



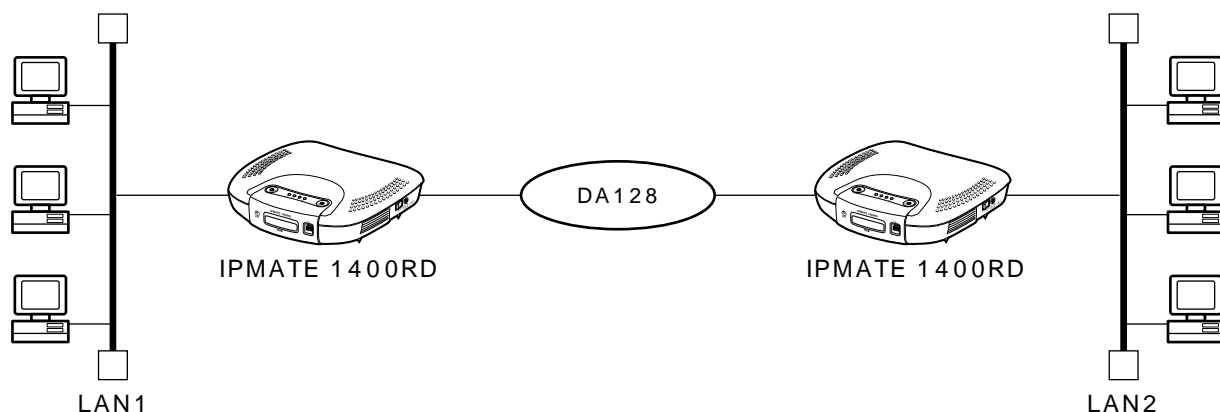
### 設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- 本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを既存LANに合わせて変更します。相手のLANのネットワークアドレスとは異なる値にします。
- 相手側と合わせて、PPP認証動作、ユーザID、認証パスワード、相手ユーザID、相手パスワードを設定します。
- 既存のLANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」に設定します。
- スタティックルートを設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 20. 専用線（HSD、DA64/128）を使用して、2か所のLANを接続する（回線側IPアドレス使用）

2か所のLANを、専用線（HSD、DA64/128）を用いて接続します。  
回線側にIPアドレスを設定する場合について説明します。



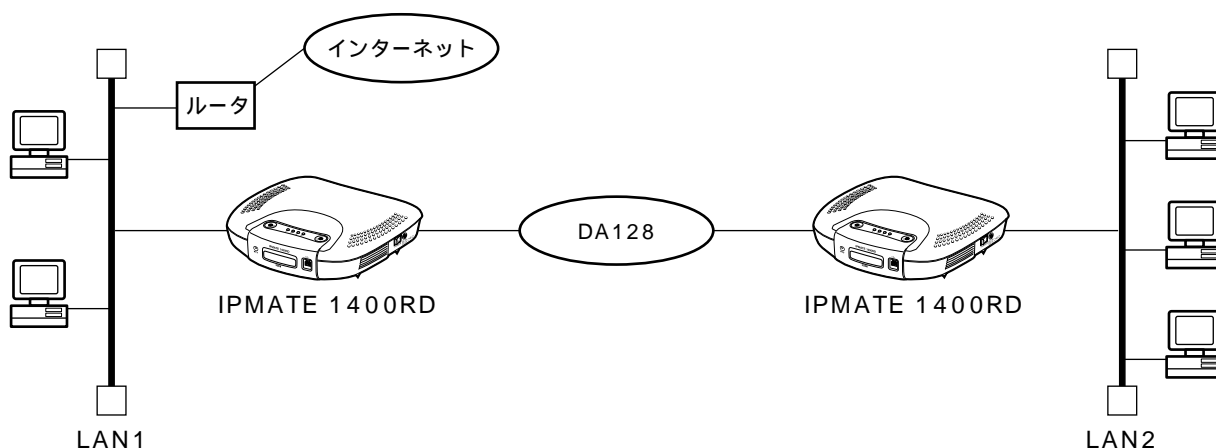
### 設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- 本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを既存LANに合わせて変更します。相手のLANのネットワークアドレスとは異なる値にします。
- 相手側と合わせて、PPP認証動作、ユーザID、認証パスワード、相手ユーザID、相手パスワードを設定します。
- 既存のLANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」に設定します。
- 回線側のIPアドレスを、相手と同一ネットワークになるように設定します。また、デフォルトルートは「使用しない」とし、スタティックルートを設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## 21. 専用線（HSD、DA64/128）を使用して2か所のLANを接続し、既存インターネットプロバイダを共有する

2か所のLANを、専用線（HSD、DA64/128）を用いて接続します。LAN1側の既存ルータから、インターネットに接続する場合について説明します



### 設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- 本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを既存LANに合わせて変更します。相手のLANのネットワークアドレスとは異なる値にします。
- 相手側と合わせて、PPP認証動作、ユーザID、認証パスワード、相手ユーザID、相手パスワードを設定します。
- 既存のLANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」に設定します。
- 既存のルータを接続しているLAN1側は、本商品のデフォルトルートを「使用しない」のままとし、スタティックルートを設定します。
- 既存のルータを接続しないLAN2側は、本商品のデフォルトルートを「使用する」に設定します。

CD-ROM内「オンラインマニュアル」の利用形態に、設定例があります。参照してください。

## さまざまな設定方法

本商品は、お買い求め時の設定のままで、アナログ通信機器を接続してご利用になることができます。しかし、本商品のいろいろな機能を利用したり、パソコンを接続してデータ通信を行う場合は、利用する機能に合わせて本商品の設定を行う必要があります。設定方法は次のようにいくつかあります。お使いの環境に合った方法を選択してください。

### WWWブラウザによる方法（●P55）

本商品に接続したパソコンから、WWWブラウザを使って本商品の設定ページにアクセスし、そこで各種の値を入力する方法です。アナログポートに関する設定を含め、本商品のすべての機能を設定することができます。

### ATコマンドを利用する方法

ATコマンドを使うと、本商品を制御することができます。本商品のRS-232CポートまたはUSBポートに接続したパソコンからターミナルモードで動作する通信ソフトウェアを使って、ATコマンドを入力する方法です。（●CD-ROM『オンラインマニュアル』）

### TELNETコマンドを利用する方法（●P126）

本商品の10BASE-Tポートに接続したパソコンから、TELNETを使って、コマンドを入力する方法です。一部の機能を設定することができます。

### 電話機を利用する方法（●P66）

本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB信号）の電話機のダイヤルボタンを使って設定する方法です。アナログポートに関する（アナログ通信機器利用のための）設定を行うことができます。本商品にパソコンを接続しない場合は、この方法を使います。

### イーザーバージョンアップ

本商品に接続したパソコンから、バージョンアップや設定値のバックアップなどを、ユーティリティを使って簡単に行う方法です。

（●CD-ROM『オンラインマニュアル』）



### お知らせ

付属のCD-ROMには以下の内容が収録されています。詳しくは『CD-ROM説明書』を参照してください。

1. オンラインマニュアル
2. PDFファイル
3. イーザーバージョンアップ
4. モデム定義ファイル
5. Acrobat Reader
6. ファームウェア

各設定方法は、同時に使うことはできません。

# WWWブラウザでの設定手順

本商品の10BASE-Tポート、RS-232Cポート、USBポートに接続したパソコンからは、WWWブラウザを使って本商品の設定を行うことができます。

設定には、Quick設定とCustom設定があります。

Quick設定では、ISDN回線または専用線の必要最小限の項目を簡単に設定できます。

Custom設定では、ISDN回線または専用線の詳細な項目について設定できます。

## Quick設定を行うには

- 1 本商品にパソコンを接続し、パソコンの設定を行います。

接続するポートによって、パソコンの設定が異なります。  
詳細は「本商品へ接続する前の準備 パソコンでの操作」を参照してお使いのパソコンに合った設定を行ってください。

- 2 WWWブラウザを起動して、URL欄に「http://192.168.1.1/」を入力します。

IPMATE 1400RDのログイン画面が表示されます。

- 3 ユーザ名の欄に「admin」を入力します。パスワードの欄は入力せずに、[ OK ] をクリックします。

ログインパスワードの入力画面が表示されます。

- 4 パスワードを設定します。確認のため、再確認の欄にもう一度同じパスワードを入力します。



### ワンポイント

Internet Explorerは最新のバージョンのものをおすすめします。

### STOP お願い

本商品の設定を行う場合、WWWブラウザは、プロキシサーバを使用しない設定としてください。

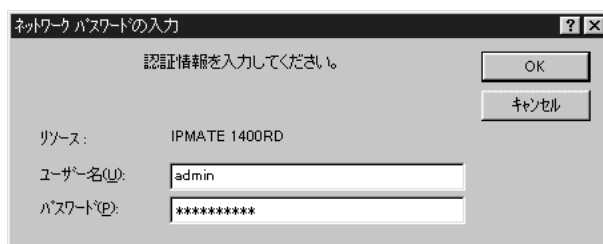
例：Internet Explorer 5.0の場合  
[ ツール ] - [ インターネットオプション ] を選択する  
[ 接続 ] タブを表示する  
[ LANの設定 ] ボタンをクリックする  
[ プロキシサーバーを使用する ] のチェックを外す  
パスワードには「ipmate」「1234」などの簡単なパスワードは使用しないでください。  
本商品のIPアドレスを変更した場合、手順2のURLは変更したIPアドレスを入力してください。

(前ページの続きです)

## 5 [設定] をクリックします。

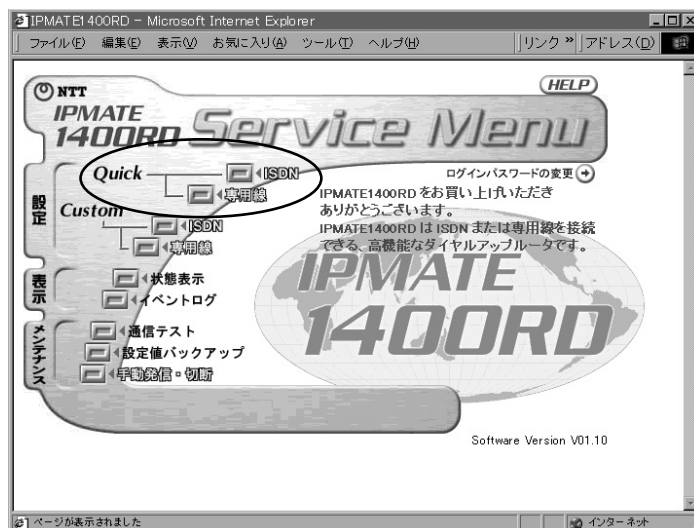
IPMATE 1400RDのログイン画面が表示されます。

## 6 ユーザ名の欄に「admin」、パスワードの欄に設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



## 7 接続する回線に合わせて [Quick (ISDN)] または [Quick (専用線)] をクリックします。

ここでは、Quick (ISDN) の設定手順を例に説明します。



### お知らせ

手順3から5は、お買い求め時の設定の時のみ必要な手順です。

ユーザ名は「admin」固定です。変更はできません。

パスワードは忘れないようにしてください。お忘れになった場合はお買い求め時の設定に戻し、再度パスワードを含め、設定をやり直してください。

(P 149)

手順6でパスワード入力画面になったときは、手順4で入力したパスワードを再度入力してください。

## 8 [OK] をクリックします。

Quick設定画面が表示されます。



(ISDNをクリックした場合)





## お知らせ

日時は、2050年12月31日23:59まで設定可能です。

この日時は、回線接続保持時間(テレホーダイ対応)などに利用されますので、正しい値を設定してください。誤った値の場合、正常に動作しないことがありますので、ご注意ください。

Quick設定では、日時はパソコン上の値となります。誤っている場合は次の方法で変更してください。

- パソコン上で正しい値に変更する
- WWWブラウザのCustom設定の[日時]画面で設定する(●P60、64)
- 電話機での設定で変更する(●P66)

設定した情報やイベントログ、接続ログ、本商品の液晶ディスプレイに表示される電話の着信履歴などの情報は、手順10の操作により消去されます。

本商品をルータとして利用する場合、10BASE-Tポートに接続されたパソコンからの要求により自動的に回線接続を行います。このためご利用になる環境、アプリケーション等の条件、本商品の設定の誤りなどにより、お客様の意図しない発信が行われる場合がありますのでご注意ください。

なお、自動的に発信しないためには、Custom設定により[回線接続先情報](発信)自動発信を許可するのチェックをはずしてください。

## 9

各項目を入力し、「次へ」をクリックします。

各項目の内容や設定方法についてはCD-ROM『オンラインマニュアル』を参照してください。

例 利用形態の「1」の場合

インターネットプロバイダから通知された内容を設定

任意の名前を設定

(ISDNの場合)

ここでは、接続先電話番号、ユーザID、認証パスワードを必ず入力してください。

## 10

設定内容を確認し[再起動]をクリックします。

IPMATE 1400RDが再起動します。

Quick設定での設定内容は、Custom設定の[LAN]および[回線接続先情報] No.1に反映されます。

LAN設定	
IPアドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	24
DHCP機能	
DHCPサーバ機能	使用する
提供IPアドレス範囲(中心)	192.168.1.2
提供IPアドレス範囲(まで)	192.168.1.250
ISDN設定	
回線接続先名	NTT-EAST
接続先電話番号	03-1234-5678
ユーザID	abcdef
DNSサーバIPアドレス	設定なし
NAT	
IPアドレス変換	使用する
IPアドレス	設定なし
アドレス幅数	設定なし
アドレス割当て時間	180

(ISDNの場合)

## 11

WWWブラウザを終了させ、パソコンを再起動します。

## Custom設定を行うには（ISDN回線の場合）

## 1 本商品にパソコンを接続し、パソコンの設定を行います。

接続するポートによって、パソコンの設定が異なります。  
詳細は「本商品へ接続する前の準備 パソコンでの操作」を  
参照してお使いのパソコンに合った設定を行ってください。

## 2 WWWブラウザを起動して、URL欄に「http://192.168.1.1/」を入力します。

IPMATE 1400RDのログイン画面が表示されます。

## 3 ユーザ名の欄に「admin」を入力します。パスワードの欄は入力せずに、[OK]をクリックします。

ログインパスワードの入力画面が表示されます。



## ワンポイント

Internet Explorerは最新のバージョンのものをおすすめします。

## STOP お願い

本商品の設定を行う場合、WWWブラウザは、プロキシサーバを使用しない設定としてください。

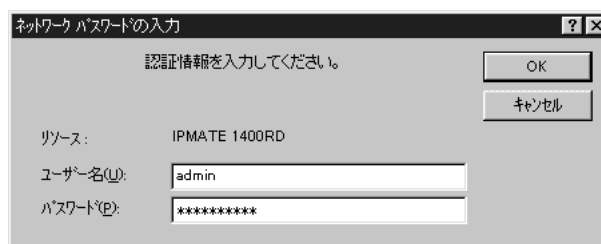
例：Internet Explorer 5.0の場合  
[ツール] - [インターネットオプション]を選択する  
[接続]タブを表示する  
[LANの設定] ボタンをクリックする  
[プロキシサーバを使用する]のチェックを外す  
パスワードには「ipmate」「1234」などの簡単なパスワードは使用しないでください。  
本商品のIPアドレスを変更した場合、手順2のURLは変更したIPアドレスを入力してください。

## 4 パスワードを設定します。確認のため、再確認の欄にもう一度同じパスワードを入力します。

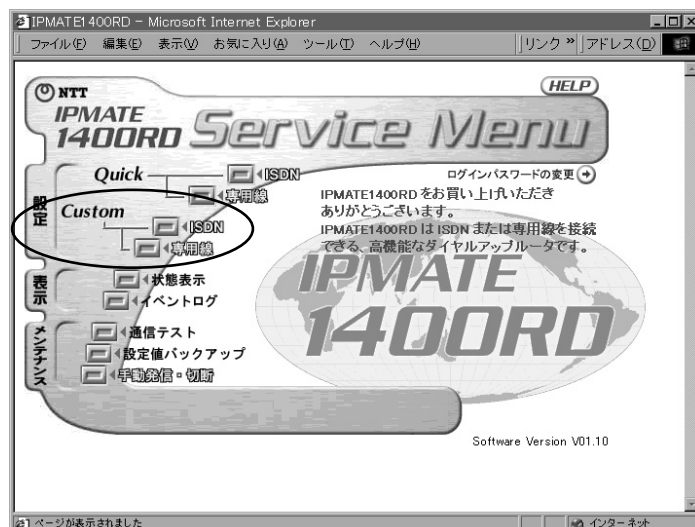
## 5 [ 設定 ] をクリックします。

IPMATE 1400RDのログイン画面が表示されます。

## 6 ユーザ名の欄に「admin」、パスワードの欄に設定したパスワードを入力し、[ OK ] をクリックします。



## 7 [ Custom (ISDN) ] をクリックします。



### お知らせ

手順3から5は、お買い求め時の設定の時のみ必要な手順です。

ユーザ名は「admin」固定です。変更はできません。

パスワードは忘れないようにしてください。お忘れになった場合はお買い求め時の設定に戻し、再度パスワードを設定してください。(P149)

手順6でパスワード入力画面になったときは、手順4で入力したパスワードを再度入力してください。

## 8 [ OK ] をクリックします。

Custom (ISDN) 設定画面が表示されます。

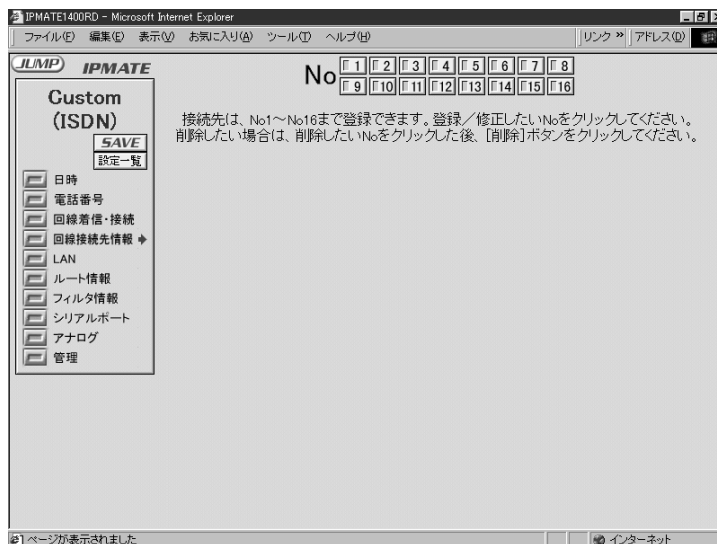


(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

## 9 各設定項目を入力し、[ SAVE ] をクリックします。

左に表示されたメニューで各項目をクリックすると、右に設定項目が表示されます。



### Custom(ISDN)各項目の説明

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| SAVE    | : 現在の設定値を保存します。          |
| 設定一覧    | : 現在設定されている設定値の一覧を表示します。 |
| 日時      | : 本商品の内部時計を設定します。        |
| 電話番号    | : 自分の電話番号に関する情報を設定します。   |
| 回線着信・接続 | : 回線に関する情報を設定します。        |
| 回線接続先情報 | : 回線接続先に関する情報を設定します。     |
| LAN     | : LANに関する情報を設定します。       |
| ルート情報   | : ルート情報を設定します。           |
| フィルタ情報  | : フィルタ情報を設定します。          |
| シリアルポート | : シリアルポートに関する情報を設定します。   |
| アナログ    | : アナログ機器に関する情報を設定します。    |
| 管理      | : 本商品を管理するための情報を設定します。   |

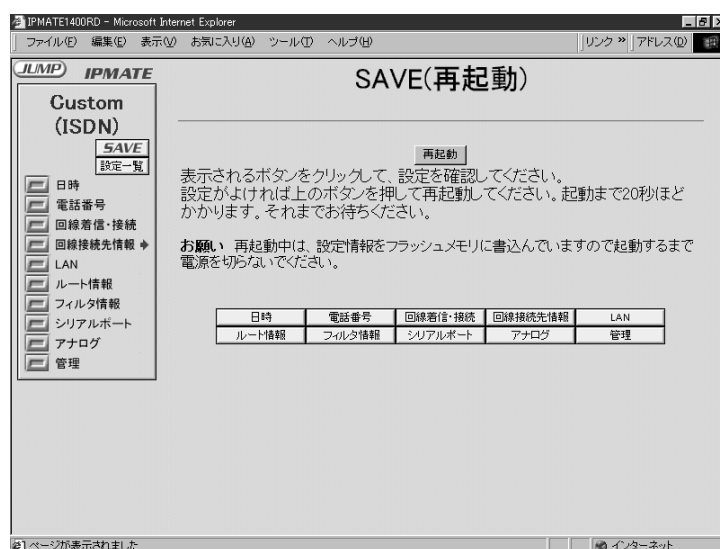
各設定項目や機能については、CD-ROM内「オンラインマニュアル」を参照してください。



### お知らせ

- 日時は、2050年12月31日23:59まで設定可能です。
- この日時は、回線接続保持時間(テレホーダイ対応)などに利用されますので、正しい値を設定してください。誤った値の場合、正常に動作しないことがありますので、ご注意ください。
- Quick設定では、日時はパソコン上の値となります。誤っている場合は次の方法で変更してください。
- パソコン上で正しい値に変更する
  - WWWブラウザのCustom設定の[ 日時 ]画面で設定する  
(☛ P 60、64)
  - 電話機での設定で変更する  
(☛ P 66)

## 10 設定内容を確認し [再起動] をクリックします。 IPMATE 1400RDが再起動します。



## 11 WWWブラウザを終了させ、パソコンを再起動します。



### お知らせ

本商品をルータとして利用する場合、10BASE-Tポートに接続されたパソコンからの要求により自動的に回線接続を行います。このためご利用になる環境、アプリケーション等の条件、本商品の設定の誤りなどにより、お客様の意図しない発信が行われる場合がありますのでご注意ください。

なお、自動的に発信しないためには、Custom設定により [回線接続先情報] (発着信) 自動発信を許可するのチェックをはずしてください。

## Custom設定を行うには（専用線の場合）

## 1 本商品にパソコンを接続し、パソコンの設定を行います。

接続するポートによって、パソコンの設定が異なります。詳細は「本商品へ接続する前の準備 パソコンでの操作」を参照してお使いのパソコンに合った設定を行ってください。

## 2 WWWブラウザを起動して、URL欄に「http://192.168.1.1/」を入力します。

IPMATE 1400RDのログイン画面が表示されます。

## 3 ユーザ名の欄に「admin」を入力します。パスワードの欄は入力せずに、[OK]をクリックします。

ネットワークパスワードの入力

認証情報を入力してください。

リソース: IPMATE 1400RD

ユーザー名(U): admin

パスワード(P):

OK

キャンセル

ログインパスワードの入力画面が表示されます。

## 4 パスワードを設定します。確認のため、再確認の欄にもう一度同じパスワードを入力します。

IPMATE1400RD - Microsoft Internet Explorer

ログインパスワードの入力

6文字以上の、容易に推測できないパスワードを設定してください。  
また、パスワードは忘れないようご注意ください。  
パスワードをお忘れになった場合は、設定を初期化してください。  
新しいログインパスワードを入力してください。

パスワード

確認のため同じパスワードをもう一度入力してください。

再確認

何度もこの画面が表示される場合は、WWWブラウザで「再読み込み」更新してください。

設定

ページが表示されました

インターネット



## ワンポイント

Internet Explorerは最新のバージョンのものをおすすめします。

## STOP お願い

本商品の設定を行う場合、WWWブラウザは、プロキシサーバを使用しない設定としてください。

例：Internet Explorer 5.0の場合  
[ツール] - [インターネットオプション] を選択する  
[接続] タブを表示する  
[LANの設定] ボタンをクリックする  
[プロキシサーバーを使用する] のチェックを外す  
パスワードには「ipmate」「1234」などの簡単なパスワードは使用しないでください。  
本商品のIPアドレスを変更した場合、手順2のURLは変更したIPアドレスを入力してください。

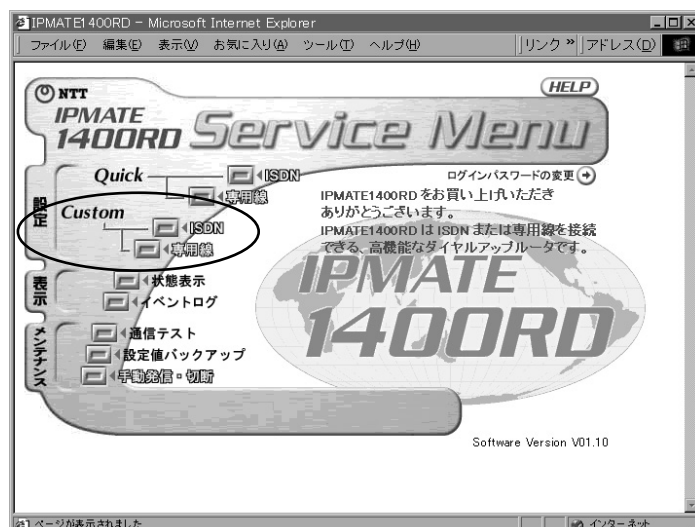
## 5 [ 設定 ] をクリックします。

IPMATE 1400RDのログイン画面が表示されます。

## 6 ユーザ名の欄に「admin」、パスワードの欄に設定したパスワードを入力し、[ OK ] をクリックします。



## 7 [ Custom (専用線) ] をクリックします。



### お知らせ

手順3から5は、お買い求め時の設定の時のみ必要な手順です。

ユーザ名は「admin」固定です。変更はできません。

パスワードは忘れないようにしてください。お忘れになった場合はお買い求め時の設定に戻し、再度パスワードを設定してください。(P149)

手順6でパスワード入力画面になったときは、手順4で入力したパスワードを再度入力してください。

## 8 [ OK ] をクリックします。

Custom (専用線) 設定画面が表示されます。

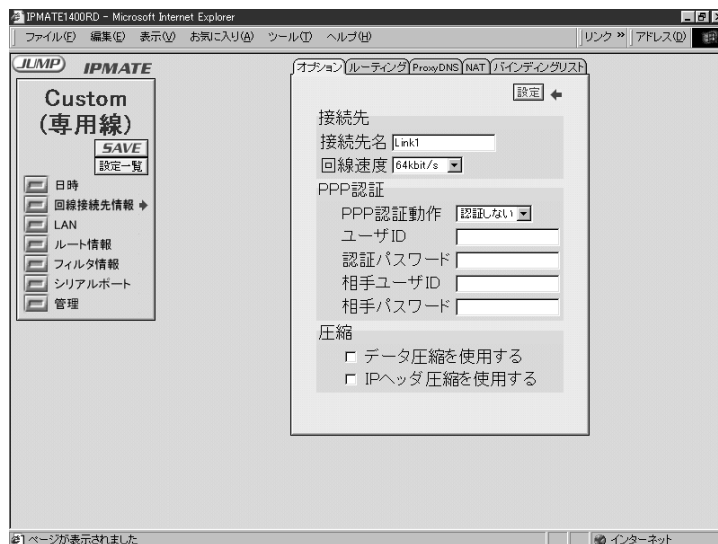


(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

## 9 各設定項目を入力し、[ SAVE ] をクリックします。

左に表示されたメニューで各項目をクリックすると、右に設定項目が表示されます。



### Custom (専用線)各項目の説明

- SAVE : 現在の設定値を保存します。
- 設定一覧 : 現在設定されている設定値の一覧を表示します。
- 日時 : 本商品の内部時計を設定します。
- 回線接続先情報 : 回線接続先に関する情報を設定します。
- LAN : LANに関する情報を設定します。
- ルート情報 : ルート情報を設定します。
- フィルタ情報 : フィルタ情報を設定します。
- シリアルポート : シリアルポートに関する情報を設定します。
- 管理 : 本商品を管理するための情報を設定します。

各設定項目や機能については、CD-ROM内「オンラインマニュアル」を参照してください。



### お知らせ

日時は、2050年12月31日23:59まで設定可能です。

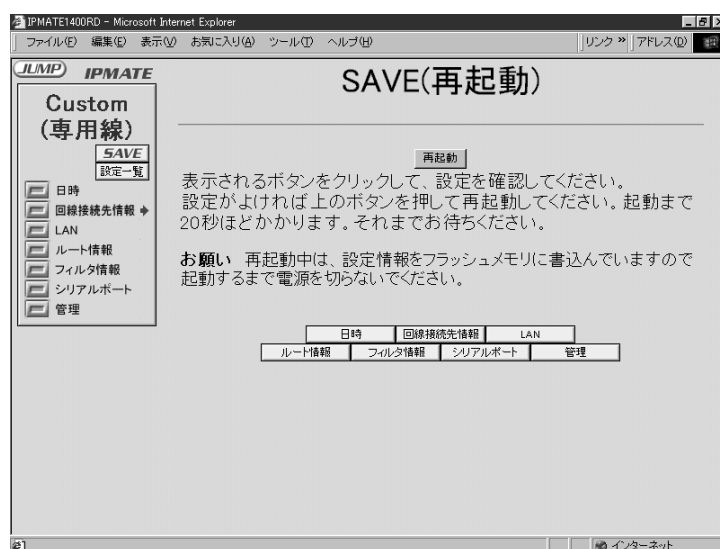
この日時は、回線接続保持時間(テレホーダイ対応)などに利用されますので、正しい値を設定してください。誤った値の場合、正常に動作しないことがありますので、ご注意ください。

Quick設定では、日時はパソコン上の値となります。誤っている場合は次の方法で変更してください。

- パソコン上で正しい値に変更する
- WWWブラウザのCustom設定の[日時]画面で設定する  
(☛ P 60、64)
- 電話機での設定で変更する  
(☛ P 66)



- 10 設定内容を確認し [再起動] をクリックします。  
IPMATE 1400RDが再起動します。



- 11 WWWブラウザを終了させ、パソコンを再起動します。

## 電話機での設定手順

本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB信号）の電話機を使って、アナログポートの設定を行うことができます。TEL1、TEL2ポートいずれのポートに接続した電話機からでも行うことができます。

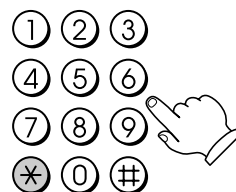
### 1 電話機のハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。INSネット64に本商品を接続していないときは、話中音が聞こえます。



### 2 ※※※とダイヤルボタンで押します。

「ピッ」という設定開始音が聞こえます。



### 3 ポート番号を押します。（☛P119）

### 4 ※ ボタンを押します。

「ピッ」という確認音が聞こえます。

### 5 機能番号を押します。（☛P119）

### 6 ※ ボタンを押します。

「ピッ」という確認音が聞こえます。

### 7 設定値を押します。（☛P119）

### 8 # ボタンを押します。

設定が完了すると、「ピッピッピッ」という確認音が聞こえます。

### 9 ハンドセットを置きます。

液晶ディスプレイの表示が、「カキコミチュウ」から「カキコミシュウリョウ」になります。



#### ワンポイント

INSネット64に接続していない場合  
INSネット64へ接続していないとき  
でも、設定を行うことができます。

設定途中にハンドセットを置いたときは

設定を中断し、待機中に戻ります。  
もう一度設定するときは、手順1からやり直してください。もし、手順6まで行っていれば、それまでの内容は設定されます。



#### お知らせ

液晶ディスプレイに「カキコミチュウ」と表示されている間は、設定などを行わないでください。

液晶ディスプレイに「カキコミチュウ」と表示されている間は、着信が受けられない場合があります。



#### お願い

電話機からの設定では、データ通信に関する設定はできません。

# アナログポート（TEL1ポート、TEL2ポート） - 基本機能

一般のアナログ回線で使用している電話機やファクス、モデムなどを使用できます。  
ダイヤル式（DP）の電話機は使用できません。

## 電話をかけるには（発信）



### ワンポイント

Ⓜ ボタンをダイヤルとして使用する  
には  
ダイヤル終了識別ボタンを「識別しない」（Ⓜ ボタンを押しても発信しない）に設定するか、「##で識別する」（Ⓜ ボタンを2回押すと発信する）に設定してください。  
サブアドレスを追加して発信するには相手の方の電話番号（アドレス）を押したあとに（\*）ボタンを押し、サブアドレスの番号を押します。  
<例>0312345678 \* 12345

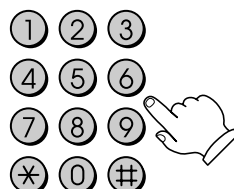
電話番号 サブアドレス  
電話番号・サブアドレスについて  
電話番号の最大桁数は32桁（①～⑨、Ⓜ）、サブアドレスの最大桁数は19桁（①～⑨）です。  
ファクス・モデムの発信  
接続しているファクス・モデムの操作方法に従って操作してください。  
発信者番号を通知するには  
INSネット64には発信者番号通知サービスがあります。このサービスを利用すると、発信したときポートごとに設定した発信者番号を相手の方へ通知することができます。  
（●P82、86）  
受話音量を調整するには  
受話音量を調整（小・中・大）できます。（●P92）  
停電のとき  
TEL1ポートに接続した電話機を使うことができます。（●P24）  
発信専用の電話機としてご利用になるには  
外からの電話を受けず発信専用にする場合は、WWWブラウザでの設定により「電話番号」画面の各電話番号のアナログ着信を「着信しない」に設定してください。

### 1 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。



### 2 電話番号をダイヤルボタンで押します。



### 3 ダイヤルが終わったら Ⓜ ボタンを押します。

「ブルブル、ブルブル、…」という呼出音が聞こえます。

### 4 相手の方が出たら、お話しください。

### 5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。



### お知らせ

ダイヤル中にダイヤル桁間タイマに設定（お買い求め時：4秒）した間隔をあけるとダイヤルの途中でも発信します。同様に、ダイヤル終了後、ダイヤル桁間タイマで設定した時間が経過すると、Ⓜ ボタンを押さなくても発信します。ダイヤル終了識別ボタン、ダイヤル桁間タイマの設定は変更できます。

続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを2秒以上置いてからダイヤルしてください。

次の場合は話中音が聞こえます。

- 2つのBチャンネルをすでに使用している場合  
ただし、電話やファクスを優先する設定になっている場合は、話中音とならず電話をかけることができます。（●P85）
- サブアドレスとして数字（①～⑨）以外をダイヤルしたとき
- アドレスを33桁以上または、サブアドレスを20桁以上ダイヤルしたとき

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（●P66）

# アナログポート（TEL1ポート、TEL2ポート） - 基本機能

外から電話がかかってくると、アナログポート（TEL1、TEL2）に接続された両方の電話機の着信音が鳴ります。優先着信ポートを指定することもできます。

## 電話を受けるには（着信）

### 1 着信音が鳴ります。



### 2 ハンドセットを取り上げて、相手の方とお話してください。



### 3 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。



#### お知らせ

ダイヤルインやi・ナンバーで複数の電話番号を利用する場合、TEL1、TEL2ポートごとに電話番号を割り当て、別々の番号で着信させることができます。  
(●P76、79)

TEL2ポートに電話機を接続しない場合は、WWWブラウザの設定により「電話番号」画面の電話番号ごとのアナログ着信を「TEL1ポートのみ着信」に設定してください。

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（●P66）



#### ワンポイント

優先着信ポート指定とは（●P92）

- WWWブラウザでの設定により「電話番号」画面の電話番号ごとのアナログ着信を「TEL1ポートのみ着信」に設定すると、外から電話がかかってきた場合に必ずTEL1ポートに着信します。  
「TEL1ポート優先着信」に設定すると、TEL1ポートが使用中の場合は、TEL2ポートに着信します。  
ただし、TEL1ポートで、キャッチホン（●P102）を利用している場合は、TEL2ポートに着信しません。
- 同様に「TEL2ポートのみ着信」に設定すると、外から電話がかかってきた場合に必ずTEL2ポートに着信します。  
「TEL2ポート優先着信」に設定すると、TEL2ポートが使用中の場合は、TEL1ポートに着信します。  
ただし、TEL2ポートで、キャッチホンを利用している場合は、TEL1ポートに着信しません。

着信専用の電話機としてご利用になるには

電話をかけられないようにする場合は、発信規制を設定してください。（●P93）ただし、この場合でも内線通話や内線転送は可能です。

お話し中に別の相手からの電話を受けるには

相手の方とお話し中に、別の方からの電話を受けることができます。

INSキャッチホン（●P102）

疑似キャッチホン（●P69）

INSマジックボックス（●P90）

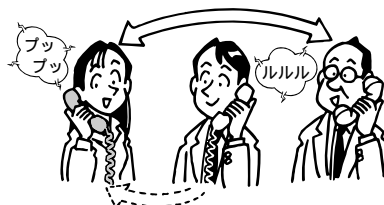
停電のとき

TEL1ポートに接続した電話機を使うことができます。（●P24）

疑似キャッチホンを設定すると、フレックスホンサービス（キャッチホン）を契約していなくても、外の相手の方とお話中に別の相手の方から電話がかかってきたとき、お話し中の方を保留にして、かけてきた方とお話しすることができます。

## 通話中にかかってきた電話を受けるには（疑似キャッチホン）

- 1 外の相手の方とお話中に「プップッ、プップッ...」という着信音が聞こえます。



- 2 外の相手の方に待っていただくように伝え、1回フッキングします。

かけてきた相手の方に切り替わります。



- 3 かけてきた相手の方とお話してください。



保留にした相手の方には、「プップッ、プップッ...」という保留音が流れます。

- 4 もう一度フッキングを行うと、前の相手の方とお話しできます。



### ワンポイント

疑似キャッチホンを設定するにはWWWブラウザでの設定により[アナログ](TEL1ポート/TEL2ポート)画面でキャッチホンの設定を「疑似キャッチホン」にします。

お話し中に電話をかけてきた方の電話番号を確認するにはINSナンバー・ディスプレイ(●P86)をご契約になり、本商品で疑似キャッチホンを設定すると、お話し中に電話をかけてきた相手の方の電話番号を、キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に表示することができます。(●P88)

2本のBチャネル使用中にキャッチホンを行うには(INSキャッチホン)INSネット64のフレックスホンサービス(有料)のキャッチホンを契約すると、2本のBチャネルの使用中でも、キャッチホンを利用できます。(●P102)

(次ページへ続きます)

（前ページの続きです）



## お知らせ

疑似キャッチホンのご利用には、INSネット64の付加サービス契約は必要ありません。

疑似キャッチホンはBチャンネル2本を使用するため、以下の制限があります。

- 2つのアナログポートで同時に利用できません。
- Bチャンネル2本を同時に使用しているときは利用できません。
- お話し中は、本商品に接続した他の機器では通信できません。
- 新たな着信は受けられません。

疑似キャッチホン中に相手の方とお話しが終わり、ハンドセットを置くと、着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方と、またお話しができます。

フッキングとは、電話機のフックスイッチ（またはキャッチボタン）を押すことです。1秒以上押し続けると電話が切れてしまうことがあります。



フックスイッチ

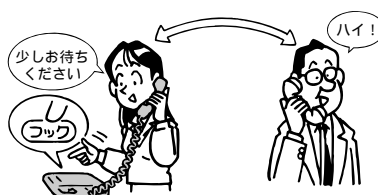
本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（P66）

外の相手の方とお話し中に、お話し中の相手の方を保留にして、別の相手の方に電話をかけ、お話し中の相手の方と呼び出した相手の方を切り替えながらお話しすることができます。

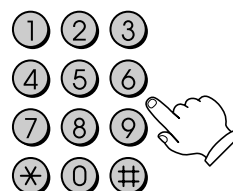
## 3人でお話しするには（疑似三者通話：切替モード）

### 1 お話し中に、外の相手の方に待っていただくように伝え、1回フッキングします。

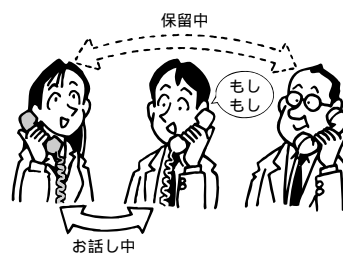
「プッププッ...」という発信音が聞こえます。



### 2 別の相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押し、**Ⓜ**ボタンを押します。



### 3 相手の方が出たらお話しください。



#### ワンポイント

**Ⓜ** ボタンをダイヤルとして使用するには

WWWブラウザでの設定により [ アナログ ] (共通) 画面のダイヤル識別ボタンを「識別しない」( **Ⓜ** ボタンを押しても発信しない) に設定するか、「##で識別する」( **Ⓜ** ボタンを2回押すと発信する) に設定してください。

フッキングとは (●P96)

切替モードとは

お話し中の相手の方と保留中の相手の方を切り替えながらお話しすることです。

3人で同時に通話するには

INSネット64のフレックスホンサービス (有料) の三者通話を契約すると、1本のBチャンネルを使い3人で同時に通話できます。

(次ページへ続きます)

（前ページの続きです）

## 4 前の方とお話しするには、もう一度フッキングを行います。

前の相手の方に切り替わります。

## 5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。



### お知らせ

疑似三者通話のご利用には、INSネット64の付加サービス契約は必要ありません。

疑似三者通話はBチャンネル2本を使用するため、以下の制限があります。

- 2つのアナログポートで同時に利用できません。
- Bチャンネル2本を同時に使用しているときは利用できません。
- お話し中は、本商品に接続した他の機器では通信できません。
- 新たな着信は受けられません。

疑似三者通話の料金は、それぞれ発信を行った方の通話料金となります。

疑似三者通話（切替モード）中にハンドセットを置くと着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方とまたお話しができます。

手順2で、別の相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押している途中にダイヤル桁間タイマ設定値（お買い求め時：4秒）の間隔をあけると、操作の途中でも発信してしまいます。また、ダイヤル終了後、ダイヤル桁間タイマで設定した時間が経過すると、**Ⓜ** ボタンを押さなくてもダイヤルは発信されます。

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（●P66）



もう一方のアナログポートに接続された電話機を呼び出して、お話しすることができます。

## 内線でお話しするには（内線通話）



### ワンポイント

内線通話中に外から電話がかかってきたときは

疑似キャッチホン(●P69)およびINSキャッチホン(●P102)の設定により以下ようになります。

- キャッチホンを「使用しない」に設定してある場合は、内線通話中の電話機では電話を受けられません。
- TEL1ポートに疑似キャッチホンまたはINSキャッチホンを設定しておく、外から電話がかかってきたとき、TEL1ポートに接続した電話機で「プップ、プップ…」という着信音が聞こえます。
- TEL2ポートに疑似キャッチホンまたはINSキャッチホンを設定しておく、外から電話がかかってきたとき、TEL2ポートに接続した電話機で「プップ、プップ…」という着信音が聞こえます。

内線通話中に外からの電話を受けるには

「プップ、プップ…」という着信音が聞こえた電話機でフッキングすると、電話をかけてきた相手の方とお話しができます。このとき、内線通話をしていた相手の方には保留音が聞こえます。

または、「プップ、プップ…」という着信音が聞こえた電話機のハンドセットを置くと、着信音が鳴りますのでハンドセットを取りあげると電話をかけてきた相手の方とお話しができます。

このとき、内線通話をしていた相手の方とは切断されます。

お話し中に電話をかけてきた方の電話番号を確認するには

- 疑似キャッチホンをご利用の場合(●P69、88)
- INSキャッチホンをご利用の場合(●P88、102)

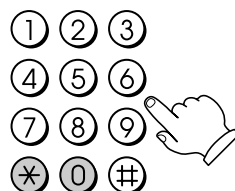
### 1 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。



### 2 (＊)(＊)①をダイヤルボタンで押します。

「ブルブル、ブルブル…」という呼出音が聞こえます。



### 3 呼び出された方が応答したら、お話しください。

### 4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。



### お知らせ

INSネット64に本商品を接続していない場合でも、内線通話は利用できます。

相手の方がお話し中のときは、話中音が聞こえます。

# アナログポート（TEL1ポート、TEL2ポート） - 基本機能

外の相手の方との電話を他の内線電話機に取りつぎます。TEL1、TEL2ポートのどちらのポートに接続した電話機からも同じ操作で取りつぐことができます。

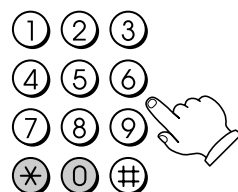
外からの電話を取りつぐには（内線転送）

- 1 お話し中に、外の相手の方に待っていただくよう伝え、フッキングします。

保留にした外の相手の方には、「プップッ、プップッ…」という保留音が流れます。

- ② ⑥ ⑦ をダイヤルボタンで押します。

「プルプル、プルプル…」という呼出音が聞こえます。



## ワンポイント

フッキングとは (👉P96)

相手が応答する前に転送するには  
手順2の呼び出し中にハンドセット  
を置くと相手が応答する前に転送す  
ることができます。



## お知らせ

手順1のフッキングをしたあとにハンドセットを置くと、着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方と、またお話しができます。相手の方が応答しなかった場合は、フッキングすると外の相手の方とのお話しに戻ることができます。

内線通話後に転送先がハンドセットを置くと、話中音が聞こえますので、ハンドセットを置いてください。すぐに、着信音が鳴り、ハンドセットを取りあげると、外の相手の方との通話に戻ります。

- 3** 呼び出された方が応答したら、転送することを伝えます。



- #### 4 ハンドセットを置きます。



## 疑似なりわけ

疑似なりわけは、あらかじめ登録した電話番号からの着信があった場合、通常とは異なる着信音を鳴らす機能です。この機能は相手が通知する発信者番号をもとに、登録済みの電話番号と照合して鳴り分けを行います。発信者番号が通知されるのは、発信者番号通知機能のあるINSネット64、デジタル携帯電話機、PHS対応電話機からの着信です。一般の電話網からの着信を識別するには、当社とのINSナンバー・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。

疑似なりわけを利用するには、WWWブラウザでの設定により[アナログ](発信者番号識別)画面に相手の電話番号を登録し、着信許可設定を「許可」に、呼出音の種類を「呼出音1」または「呼出音2」に設定します。



### ワンポイント

INSネット64のINSなりわけサービス（有料）を契約すると、相手の着信音を変えるだけでなく、登録した相手のみ着信させたり、登録した相手のみ通信中に着信を知らせるなどの利用ができます。また、この場合、INSナンバー・ディスプレイ（有料）の契約をしていなくても、電話網からの着信を鳴り分けの対象とできます。



### お知らせ

相手が発信者番号を通知しないで電話をかけてきた場合、疑似なりわけは動作せず、通常の着信音が鳴ります。

疑似なりわけの電話番号にサブアドレスを含めて登録した場合、サブアドレスが通知されないと、通常の着信音が鳴ります。

疑似なりわけの電話番号は、必ず市外局番から登録してください。

アナログ通信機器によっては、通常の着信音と呼出音1、または呼出音2の着信音が同じに聞こえることがあります。

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（P66）

呼出音は、「鳴らさない」を指定することもできます。

この場合、呼出音は鳴りませんが、電話を受けることはできます。

## i・ナンバー

i・ナンバー（有料）をご契約になると、最大3つの電話番号を持つことができます。相手の方が電話をかけてきたときに通知される i・ナンバー情報ごとに、着信するポートを特定することができます。なお、i・ナンバーはTELポートのみではなく、USBポート、RS-232Cポート、10BASE-Tポートに対しても設定できます。

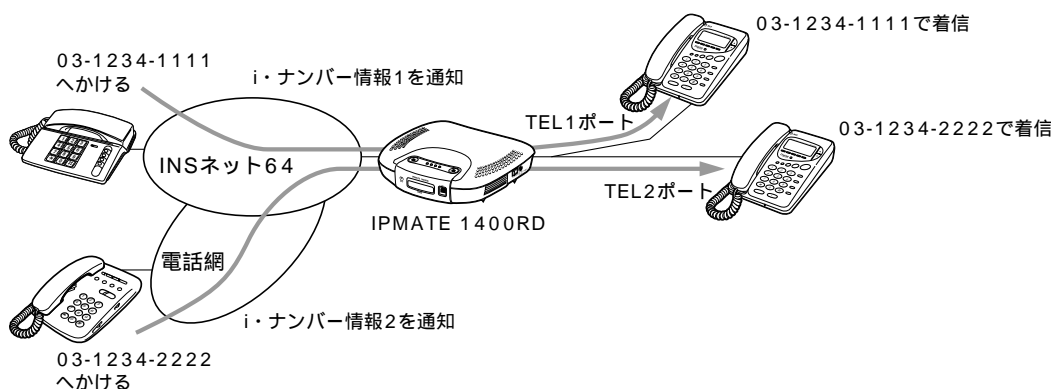
### 必要なINSネット64の契約

#### i・ナンバー（有料）

本サービスをご利用になるには当社との契約が必要になります。

1つめの電話番号（契約者回線番号）が i・ナンバー情報1、2つめの電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報2、3つめの電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報3となります。

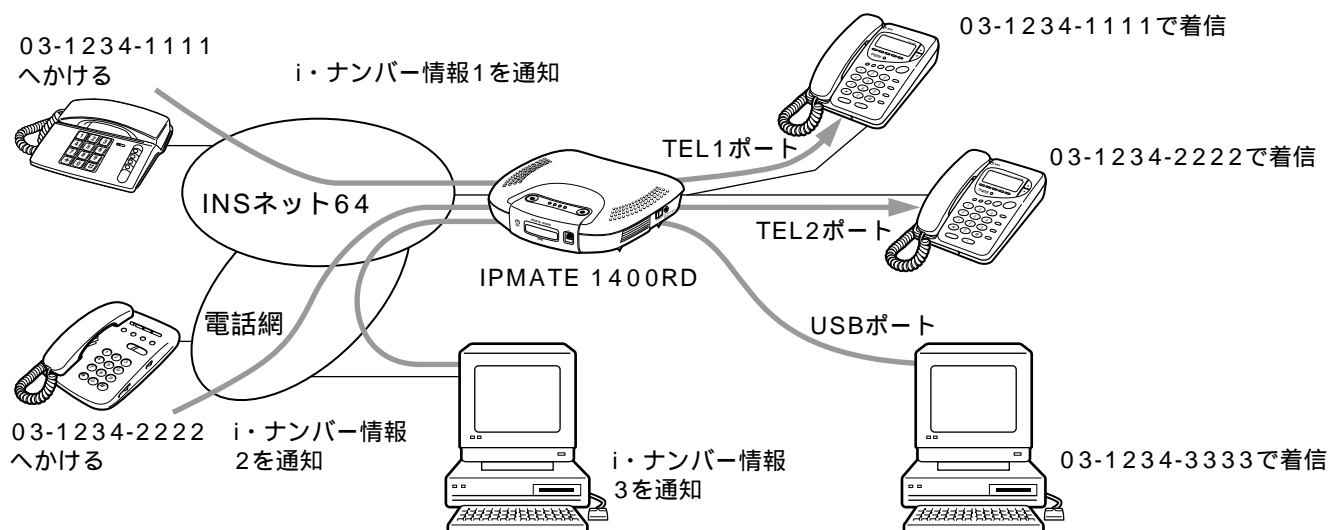
例1：03-1234-1111（契約者回線番号）での着信はTEL1ポートに、03-1234-2222（追加番号）での着信はTEL2ポートにする場合



### 回線契約と設定

		i・ナンバー情報1	i・ナンバー情報2
回線契約		i・ナンバーを契約する	
		契約者回線番号（03-1234-1111）と追加番号（03-1234-2222）が割り当てられる	
設定	[電話番号] i・ナンバーを使用する	使用する	
	[電話番号] 契約者回線番号または i・ナンバー情報1 / ダイヤルイン追加番号1または i・ナンバー情報2	03-1234-1111	03-1234-2222
	[電話番号] アナログ着信	TEL1ポートのみ着信	TEL2ポートのみ着信
	[アナログ] (TEL1ポート) 画面発信者番号通知	契約者回線番号または i・ナンバー情報1	
	[アナログ] (TEL2ポート) 画面発信者番号通知	追加番号1または i・ナンバー情報2	

例2：03-1234-1111（契約者回線番号）での着信はTEL1ポートに、03-1234-2222（追加番号）での着信はTEL2ポートに、03-1234-3333（追加番号）での着信はUSBポートにする場合。



### 回線契約と設定

		i・ナンバー情報1	i・ナンバー情報2	i・ナンバー情報3
回線契約		i・ナンバーを契約する		
		契約者回線番号 (03-1234-1111) と、追加番号 (03-1234-2222) 追加番号 (03-1234-3333) が割り当てられる		
設定	[電話番号] 画面 i・ナンバーを使用する	使用する		
	[電話番号] 画面 契約者回線番号または i・ナンバー 情報1 / 追加番号1または i・ナンバ ー情報2 / 追加番号2または i・ナン バー情報3	03-1234-1111	03-1234-2222	03-1234-3333
	[電話番号] 画面 アナログ着信	TEL1ポートのみ着信	TEL2ポートのみ着信	着信しない
	[電話番号] 画面 LAN着信	着信しない	着信しない	着信しない
	[電話番号] 画面 TA着信 USB	着信しない	着信しない	着信する
	[電話番号] 画面 TA着信 RS-232C	着信しない	着信しない	着信しない
	[アナログ] (TEL1ポート) 画面 発信者番号通知	契約者回線番号または i・ナンバー情報1		
	[アナログ] (TEL2ポート) 画面 発信者番号通知	追加番号1または i・ナンバー情報2		
	[シリアルポート] (RS-232C) 画面 発信者番号通知	通知しない		
	[シリアルポート] (USB) 画面 発信者番号通知	追加番号2または i・ナンバー情報3		



### お知らせ

「i・ナンバーを使用する」とし、契約者回線番号および追加番号を設定した場合は、初期値として、契約者回線番号に電話がかかってくるとTEL1ポートに着信し、追加番号に電話がかかってくるとTEL2ポートに着信するようになっています。

初期値以外の着信方法を希望される場合は設定が必要になります。詳細はCD-ROMの『オンラインマニュアル』をご覧ください。

発信者番号の設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知 (P82) で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネットサービスが利用できない場合がありますので、電話番号を正しく設定してください。

i・ナンバーについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

アナログポートの各設定は本商品のTELポートに接続したプッシュ式 (PB) 電話機を使って行うこともできます。(P66)

## ダイヤルイン/グローバル着信

ダイヤルイン（有料）をご契約になると、契約者回線番号とは別に複数の追加番号（ダイヤルイン追加番号）を持つことができます。

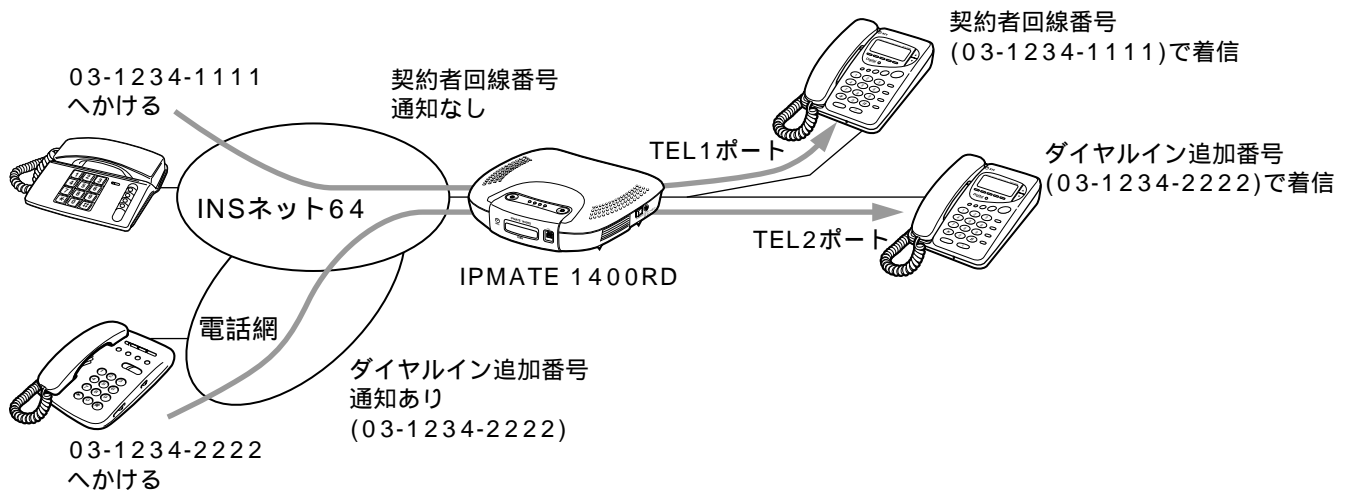
相手の方がダイヤルイン追加番号に電話をかけてきたとき、INSネット64から本商品にダイヤルイン追加番号が通知され、着信するポートを特定することができます。

また、ダイヤルインのオプションであるグローバル着信を利用すると、相手の方が契約者回線番号に電話をかけてきたとき、INSネット64から本商品に契約者回線番号が通知されず、その分だけ料金が安くなります。

本商品は、契約者回線番号が通知されないとき、どのポートに着信するかを「グローバル着信」で設定できます。（●P83）

なお、ダイヤルイングローバル着信は、アナログポートのみではなく、USBポート、RS-232Cポートに対しても設定できます。

例：グローバル着信利用を申し込み、契約者回線番号（03-1234-1111）での着信はTEL1ポートに、ダイヤルイン追加番号（03-1234-2222）での着信はTEL2ポートにする場合



## アナログポート（TEL1ポート、TEL2ポート）RS-232Cポート、USBポート、10BASE-Tポート共通

		契約者回線番号 / グローバル着信	ダイヤルイン追加番号 1
回線契約		ダイヤルインとグローバル着信を契約する	
		契約者回線番号（03-1234-1111）と追加番号（03-1234-2222）が割り当てられる	
設定	[ 電話番号 ] 画面 i・ナンバーを使用する	使用しない	
	[ 電話番号 ] 画面 契約者回線番号または i・ナンバー 情報 1 / ダイヤルイン追加番号 1 ま たは i・ナンバー情報 2	03-1234-1111	03-1234-2222
	[ 電話番号 ] 画面 アナログ着信	グローバル着信	ダイヤルイン追加番号 1 または i・ナンバー情報 2
		TEL1ポートのみ着信	TEL2ポートのみ着信
	[ アナログ ] (TEL1ポート) 画面 発信者番号通知	契約者回線番号または i・ナンバー情報 1	
	[ アナログ ] (TEL2ポート) 画面 発信者番号通知	追加番号 1 または i・ナンバー情報 2	



### お知らせ

WWWブラウザでの設定により[ 電話番号 ] 画面での電話番号の設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知（●P82）で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネットサービスが利用できない場合がありますので、電話番号を正しく設定してください。

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（●P66）

ダイヤルイン、グローバル着信について、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

i・ナンバー（●P76）を「使用する」に設定した場合は、ダイヤルイン / グローバル着信はご利用になれません。



## サブアドレス

サブアドレスを設定しておく、相手の方が電話をかけるとき、電話番号に続いてサブアドレスをダイヤルすれば、そのサブアドレスを設定したポートに着信させることができます。

本商品のサブアドレスを設定するには、契約者回線番号またはダイヤルイン追加番号、i・ナンバー情報として登録している電話番号に加えてサブアドレスを入力します。

サブアドレスは、呼び出す側もINSネット64に加入している場合のみ利用できます。(●P67、87、89)  
相手のかたから通知されたサブアドレスと本商品のサブアドレスが完全に一致しないと、着信は受け付けられません。



### ワンポイント

WWWブラウザでの設定により[アナログ](共通)画面でサブアドレスのない着信を許可するを「ON」に設定すると本商品のサブアドレスを設定していても、電話網からの着信を受けることができます。

データ通信時は、USBポート、RS-232Cポート、10BASE-Tポートでも、サブアドレスを利用できます。



### お知らせ

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式(PB)電話機を使って行うこともできます。(●P66)

## 発信者番号通知

発信者番号（契約者回線番号またはダイヤルイン追加番号、i・ナンバー情報）を相手の方に通知する機能です。

発信者番号を相手の方に通知する／通知しないの条件は、INSネット64ご契約時の内容と本商品の発信者番号通知設定および「184」、「186」のダイヤル操作により決まります。

お買い求め時、本商品の発信者番号通知の設定（[アナログ]（TEL1/2ポート）画面）は、「回線契約に従う」になっています。なお、発信者番号通知は、アナログポートのみではなく、USBポート、RS-232Cポート、10BASE-Tポートに対しても設定できます。

本商品の設定	発信者番号通知する	発信者番号通知しない	回線契約に従う
INSネット64契約			
通常通知( 通話ごと非通知 )	通知される 1	通知されない 2	通知される 1
通常非通知( 回線ごと非通知 )	通知される 1	通知されない 2	通知されない 2

- この設定において発信者番号を通知したくないときは、相手の方の電話番号の前に「184」をダイヤルすると、その通話に限り、発信者番号を通知しません。
- この設定において発信者番号を通知したいときは、相手の方の電話番号の前に「186」をダイヤルすると、その通話に限り、発信者番号を通知します。



### ワンポイント

「通常通知」または「通常非通知」を契約している場合の発信者番号通知の優先順位はINSネット64契約よりも本商品の設定（「通知する」「通知しない」）が優先し、本商品の設定よりも「184」「186」のダイヤルによる操作が優先します。

ダイヤル操作		通常発信			「184」のダイヤルによる操作			「186」のダイヤルによる操作		
本装置の設定		通知する	通知しない	回線契約に従う	通知する	通知しない	回線契約に従う	通知する	通知しない	回線契約に従う
INS ネット 64 契約	通常通知	通知 される	通知 されない	通知される	通知されない			通知される		
	通常 非通知		通知されない							



### お知らせ

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（P66）

## 各ポートを呼び分けるには

ダイヤルイン/グローバル着信、i・ナンバーを使用すると、各ポートに異なる電話番号を割り当てて、呼び分けることができます。

相手の方がINSネット64に加入している場合は、さらに、電話番号にサブアドレスを付け加えたり、通信クラスを設定しての呼び分けが可能です。

### ダイヤルインを利用して呼び分ける場合

例：03-1234-1111～5555の5つの電話番号を入手し、電話機、ファクス、パソコン3台にそれぞれ異なる電話番号を割り当てる

電話番号	TEL1	TEL2	LAN	RS-232C	USB	設定 [ 電話番号 ] 画面	
	電話機	ファクス	パソコン	パソコン	パソコン		
						i・ナンバーを使用する	使用しない
03-1234-1111		×	×	×	×	アナログ着信	TEL1ポートのみ着信
						LAN着信	着信しない
						TA着信	RS-232Cポート
						TA着信	USBポート
03-1234-2222	×		×	×	×	アナログ着信	TEL2ポートのみ着信
						LAN着信	着信しない
						TA着信	RS-232Cポート
						TA着信	USBポート
03-1234-3333	×	×		×	×	アナログ着信	着信しない
						LAN着信	着信する
						TA着信	RS-232Cポート
						TA着信	USBポート
03-1234-4444	×	×	×		×	アナログ着信	着信しない
						LAN着信	着信しない
						TA着信	RS-232Cポート
						TA着信	USBポート
03-1234-5555	×	×	×	×		アナログ着信	着信しない
						LAN着信	着信しない
						TA着信	RS-232Cポート
						TA着信	USBポート

## アナログポート（TEL1ポート、TEL2ポート）、RS-232Cポート、USBポート、10BASE-Tポート共通

i・ナンバーを利用して呼び分ける場合

例：i・ナンバー情報1～3を契約し、電話機、ファクスに異なる電話番号、パソコン3台に同じ電話番号を割り当てる

電話番号	TEL1	TEL2	LAN	RS-232C	USB	設定 [ 電話番号 ] 画面		データ着信優先度	
	電話機	ファクス	パソコン	パソコン	パソコン			着信優先度	着信切替呼び出し回数
						i・ナンバーを使用する	使用する		
i・ ナンバー 情報1						アナログ着信	TEL1ポートのみ着信		
		×	×	×	×	LAN着信	着信しない		
						TA着信	RS-232Cポート	着信しない	
						TA着信	USBポート	着信しない	
i・ ナンバー 情報2	×		×	×	×	アナログ着信	TEL2ポートのみ着信		
						LAN着信	着信しない		
						TA着信	RS-232Cポート	着信しない	
						TA着信	USBポート	着信しない	
i・ ナンバー 情報3	×	×				アナログ着信	着信しない		
						LAN着信	着信する	3	
						TA着信	RS-232Cポート	1	3
						TA着信	USBポート	2	3



### お知らせ

本商品は追加番号が最大2個（i・ナンバー情報2、3）まで設定できます。

発信者番号の設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知（P82）で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネットサービスが利用できない場合がありますので、電話番号を正しく設定してください。

i・ナンバーについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

アナログポートの各設定は本商品のTELポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（P66）

表の「データ着信優先度」は、デフォルトの設定値（TA:RS-232C 優先）の場合の優先度を示します。設定により優先度は変えられます。

## 電話やファクスを優先させるには

インターネット接続などでBチャンネル2本を使用中に、電話やファクスなどアナログポートからの発信・着信があった場合、自動的にデータ通信を切断し、アナログポートを使用できるようにします。WWWブラウザでの設定により[ 回線接続先 ] ( オプション ) 画面のアナログ発着信時の切断動作を「必ず切断する」または「マルチリンクPPP機能利用時に1本切断する」に設定します。この機能を使用するためには通信中着信通知の契約が必要です。



### ワンポイント

「マルチリンクPPP機能利用時に1本切断する」とは  
マルチリンクPPP機能とは、Bチャンネル2本を同時に使って、  
128 kbit/sで通信を行う方法です。Bチャンネルを1本切断する  
ことによって、通信速度は64 kbit/sとなりますが、デー  
タ通信そのものは継続されます。

## INSナンバー・ディスプレイ

本商品のアナログポートはナンバー・ディスプレイに対応しています。

電話をかけてきた相手の方の電話番号（発信者番号）や電話番号を通知できない理由を、本商品の液晶ディスプレイに表示したりアナログポートに接続したアナログ通信機器に通知することができます。

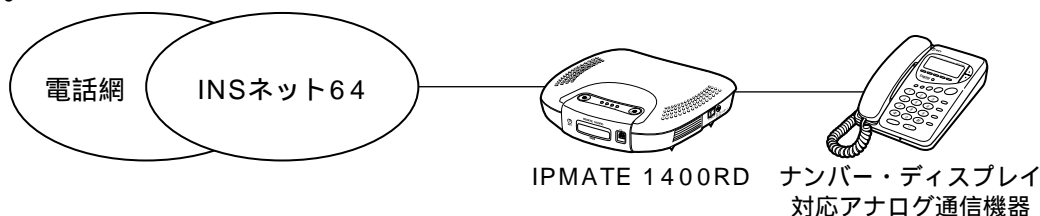
一般の電話網からの着信に対して、この機能をご利用になるためには、当社とのINSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

ただし、相手の方がINSネット64から発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、未契約でも発信者番号をアナログ通信機器に通知することができます。

INSナンバー・ディスプレイをご利用になるには、以下の条件を満たす必要があります。

- ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を本商品のアナログポートに接続する。
- WWWブラウザでの設定により [ アナログ ] (TEL1/2ポート) 画面でナンバーディスプレイを使用するを「ON」に設定する。

**アナログポートに接続したアナログ通信機器に、発信者番号を表示するしくみは次のとおりです。**



発信者番号が付加された着信があります。

本商品は、受信した発信者番号をモデム信号に変換します。

WWWブラウザでの設定により [ アナログ ] (TEL1/2ポート) 画面でナンバーディスプレイを使用する「ON」を設定したアナログポートにモデム信号を送出します（この時点では、ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器は鳴動しません）。

ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器が、モデム信号で受信した発信者番号を表示し、鳴動します。



### お知らせ

相手の方が電話番号を通知しない契約を結んでいる、または電話番号を通知しない操作をした場合などは、本商品に接続したアナログ通信機器に発信者番号は通知されません。

このとき、電話番号を通知できない理由を、本商品に接続したアナログ通信機器に通知します。

ただし、INSナンバー・ディスプレイの契約において、非通知理由「有/無」の契約を「有」にする必要があります。

電話番号を通知できない主な理由は以下のとおりです。

- 公衆電話から電話がかかってきたとき
- かけてきた相手の方が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき
- INSナンバー・ディスプレイを提供しないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため電話番号を通知できないとき

なお、アナログ通信機器のディスプレイなどにどのように表示されるかは、アナログ通信機器によって異なります。



## ワンポイント

### INSナンバー・リクエストへの対応

本商品はINSナンバー・リクエストに対応しています。INSナンバー・リクエストは、相手の方が電話番号を通知してこない場合、電話番号を通知してかけ直すようINSネットから相手の方にメッセージで応答するサービスです。

このサービスをご利用になるには、当社との契約（有料）が必要です。

相手の方が自分の電話番号を通知しないで電話をかけてきた場合、電話を受けないように設定することができます。WWWブラウザの設定により [ アナログ ] (TEL1/2ポート) 画面で発信者番号通知のない着信を許可するを「OFF」にしてください。



## お知らせ

アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。

相手の方からサブアドレスが通知された場合に、[ アナログ ] (TEL1/2ポート) 画面の中の「上記3機能を使用する際、サブアドレスを対象とする」が「ON」になっていると、本商品は相手の方の電話番号と相手の方のサブアドレスをアナログ通信機器に通知するように設定することができます。このとき電話番号とサブアドレスの区切り文字として「/」を挿入します。

例 0312345678 / 001

発信者番号 区切り文字 発サブアドレス

停電時は、本商品のTEL2ポートに接続したアナログ通信機器はご利用になれません。

各設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（P66）

## キャッチホン・ディスプレイ

本商品のアナログポートはキャッチホン・ディスプレイに対応しています。

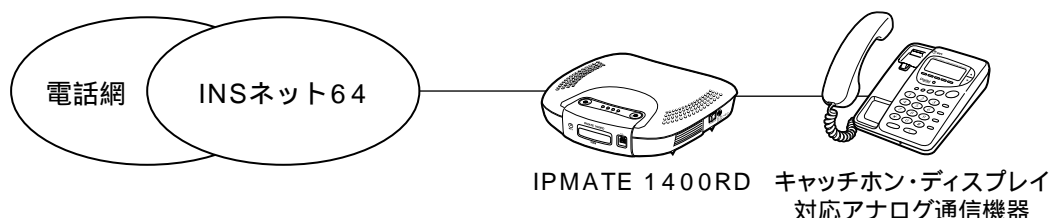
キャッチホン・ディスプレイは、外の相手の方とお話し中に別の相手の方から電話がかかってきたとき、電話をかけてきた方の電話番号（発信者番号）や電話番号を通知できない理由をアナログポートに接続したアナログ通信機器に通知し、アナログ通信機器のディスプレイに表示するサービスです。キャッチホン・ディスプレイをご利用になるためには、以下の条件を満たす必要があります。

回線契約と設定

	疑似キャッチホン（☛P69）を利用する場合	INSキャッチホン（☛P102）を利用する場合
電話機	キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機を本商品のアナログポートに接続する	
回線の契約	INSナンバー・ディスプレイ <sup>1</sup> （☛P86）を契約する（有料）	・INSナンバー・ディスプレイ <sup>1</sup> （☛P86）を契約する（有料） ・INSキャッチホン（☛P102）を契約する（有料）
[ アナログ ]（TEL1 / 2 ポート）画面 ナンバーディスプレイを使用する	「ON」を選択する	
[ アナログ ]（TEL1 / 2 ポート）画面 キャッチホン	「疑似キャッチホン」を選択する	「INSキャッチホン」を選択する
[ アナログ ]（TEL1 / 2 ポート）画面 キャッチホン・ディスプレイを使用する	「ON」を選択する	

1 相手の方がINSネット64から発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、INSナンバー・ディスプレイを未契約でも、電話番号が表示されます。

**アナログポートに接続した通話中のアナログ通信機器に、電話をかけてきた別の方の発信者番号を表示するしくみは次のとおりです。**



通話中に発信者番号が付加された着信があります（キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器では、「プップッ、プップッ…」という着信音が聞こえます）。

本商品は、受信した発信者番号をモデム信号に変換します。

キャッチホン・ディスプレイを使用できるように設定したアナログポートにモデム信号を送出します（キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器では、「ピッ」という割込音が聞こえます）。

キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器が、モデム信号で受信した発信者番号を表示します。





## お知らせ

相手の方が電話番号を通知しない契約を結んでいる、または電話番号を通知しない操作をした場合などは、本商品に接続したアナログ通信機器に発信者番号は通知されません。

このとき、電話番号を通知できない理由を、本商品に接続したアナログ通信機器に通知します。

ただし、INSナンバー・ディスプレイの契約において、非通知理由「有/無」の契約を「有」にする必要があります。

電話番号を通知できない主な理由は以下のとおりです。

- 公衆電話から電話がかかってきたとき
- かけてきた相手の方が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき
- INSナンバー・ディスプレイを提供しないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため電話番号を通知できないとき

なお、アナログ通信機器のディスプレイなどにどのように表示されるかは、アナログ通信機器によって異なります。

アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。

相手の方からサブアドレスが通知された場合に、[ アナログ ] (TEL1/2ポート) 画面の「上記3機能を使用する際、サブアドレスを対象とする」が「ON」になっていると、本商品は相手の方の電話番号と相手の方のサブアドレスをアナログ通信機器に通知するように設定することができます。このとき電話番号とサブアドレスの区切り文字として「/」を挿入します。

例 0312345678 / 001

発信者番号 区切り文字 発サブアドレス

キャッチホン・ディスプレイによる着信時には、「プップッ、プップッ...」という着信音に加えて「ピッ」という割込音が聞こえます。この割込音とお話し中の声が重なりますと電話番号などの表示ができないことがあります。また、1秒程度通話が途切れます。

停電時は、本商品のTEL2ポートに接続したアナログ通信機器はご利用になれません。

各設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式 (PB) 電話機を使って行うこともできます。  
(●P66)

## INSボイスワープ/INSボイスワープセレクト

INSボイスワープおよびINSボイスワープセレクトは、高機能な着信転送サービスです。このサービスをご利用になるときは、WWWブラウザでの設定によりINSボイスワープおよびINSボイスワープセレクトを行う電話番号を〔電話番号〕画面の電話番号に設定してください。このサービスをご利用になるには、当社との契約（有料）が必要です。



### お知らせ

各設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（☎P66）

## INSマジックボックス

INSマジックボックスは、話中時録音、INSキャッチホン、不在時転送、不在時録音が利用できるサービスです。

このサービスをご利用になるときは、INSマジックボックスをご利用になる電話番号をWWWブラウザでの設定により〔電話番号〕画面の電話番号に設定し、アナログ着信をTELポートに着信するように設定します。

さらに、着信するように設定したTELポートに対してWWWブラウザでの設定により〔アナログ〕（TEL1/2ポート）画面のキャッチホンを「INSキャッチホン」に設定してください。

このサービスをご利用になるには、当社との契約（有料）が必要です。



### お知らせ

INSマジックボックスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

各設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（☎P66）

## INSなりわけサービス

INSなりわけサービスは、契約時に登録した電話番号からの着信を識別するサービスです。あらかじめ登録した相手からの着信があったときに、次のいずれかの動作をするように設定できます。なお、あらかじめINSなりわけサービスを契約した電話番号をWWWブラウザでの設定により[電話番号]画面に登録し、アナログ着信でINSなりわけで着信させるポートを選択してください。

- 登録した相手からの着信があった場合、通常とは異なる着信音を鳴らす  
登録した相手からの着信とそれ以外の相手からの着信が、着信音で区別できます。  
WWWブラウザでの設定により[アナログ](TEL1/2ポート)画面のINSなりわけを使用するを「ON」に設定し、呼出音を「呼出音1」または「呼出音2」に設定します。さらに、INSなりわけ指定外の電話番号からの着信を許可するを「ON」に設定します。
- 登録した相手からの着信があった場合のみ着信させる  
登録した相手からの着信を受け付け、それ以外の相手からの着信を拒否します。  
WWWブラウザでの設定により[アナログ](TEL1/2ポート)画面のINSなりわけを使用するを「ON」に設定し、INSなりわけ指定外の電話番号からの着信を許可するを「OFF」に設定します。



### お知らせ

INSなりわけと疑似なりわけ(●P75)の両方を設定した場合、両方の機能を使用できます。相手の電話番号によってどちらが動作するかが決まります。

INSなりわけサービスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

アナログ通信機器によっては、通常の着信音と呼出音1、または呼出音2の着信音が同じに聞こえることがあります。

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式(PB)電話機を使って行うこともできます。(●P66)

呼出音は、「鳴らさない」を指定することもできます。この場合、呼出音は鳴りませんが、電話を受けることはできます。

## アナログポート（TEL1ポート、TEL2ポート） - 便利な機能

### 受話音量調整

受話音量を、「大」、「中」、「小」の3段階で設定できます。WWWブラウザでの設定により[アナログ](TEL1/2ポート)画面で受話音量を選択します。



#### ワンポイント

通話中に調整する場合は、 を押してください。 を押すたびに音量が切り替わります。



#### お知らせ

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（☛P66）

### 優先着信

1つの電話番号でTEL1とTEL2の両ポートに着信させたい場合、優先して着信させるポートを指定することができます。

たとえば、TEL1ポートを優先させると、TEL1ポートにつないだアナログ通信機器が空いているときは、TEL1ポートの着信音だけが鳴ります。TEL1ポートが話し中のときにはじめて、TEL2ポートの着信音が鳴ります。

ただし、TEL1ポートでキャッチホンを利用している場合は、TEL2ポートの着信音は鳴りません。優先着信を使用するには、WWWブラウザでの設定により[電話番号]画面の契約者回線番号、ダイヤルイン追加番号、i-ナンバー情報それぞれの、アナログ着信を、「TEL1ポート優先着信」または「TEL2ポート優先着信」に設定します。



#### お知らせ

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（☛P66）

### 着信拒否（発信専用）

外からの電話を受けたくない場合は、[電話番号]画面ですべての電話番号についてのアナログ着信を「着信しない」に設定すると発信専用でご利用になれます。



#### お知らせ

内線からの呼び出しは着信します。

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（☛P66）

## 発信者番号認証

発信者番号認証は、特定の相手からの電話を拒否する機能です。相手の電話番号をあらかじめ登録しておき、通知された発信者番号と一致した場合、その電話を拒否します。WWWブラウザでの設定により[アナログ](発信者番号識別)画面に相手の電話番号を登録し、着信許可設定を「拒否」にしてください。

この機能は、相手が通知する発信者番号をもとに動作します。相手が自分の電話番号を通知してこない場合、WWWブラウザでの設定により[アナログ](TEL1/2ポート)画面で発信者番号通知のない着信を許可するを「OFF」にすると、拒否することができます。



### お知らせ

発信者番号通知のない着信を許可するを「OFF」に設定した場合、次のような着信をすべて受け付けなくなりますのでご注意ください。

公衆電話から電話がかかってきたとき

かけてきた相手の方が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき

サービス圏外から電話がかかってきたとき

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式(PB)電話機を使って行うこともできます。(P66)

## 発信規制

アナログポートに接続したアナログ通信機器から外線発信をできないようにするには、WWWブラウザでの設定により[アナログ](TEL1/2ポート)画面で外線発信を許可するを「OFF」に設定します。特定の電話番号へのみ発信できないようにするには、[アナログ](発信規制)画面に電話番号を登録します。発信規制に「0」を設定すると1桁目が「0」ではじまるすべての電話番号が規制されます。



### お知らせ

110番、119番への発信は発信規制の設定にかかわらず行うことができます。

発信者番号の先頭に「184」「186」をつけてダイヤルした場合は、「184」「186」を除いた番号が発信規制の対象となります。

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式(PB)電話機を使って行うこともできます。(P66)

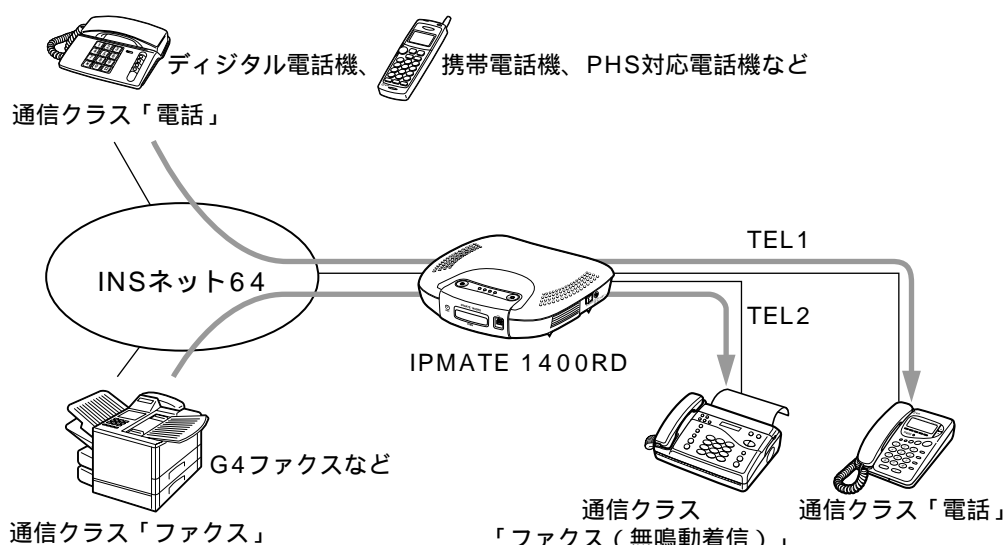
## 通信クラス設定

アナログポートに接続した通信機器の通信クラスを設定することができます。通信クラスには、「電話」、「ファクス（鳴動着信）」、「ファクス（無鳴動着信）」、「その他」があり、お買い求め時は「その他」に設定されています。

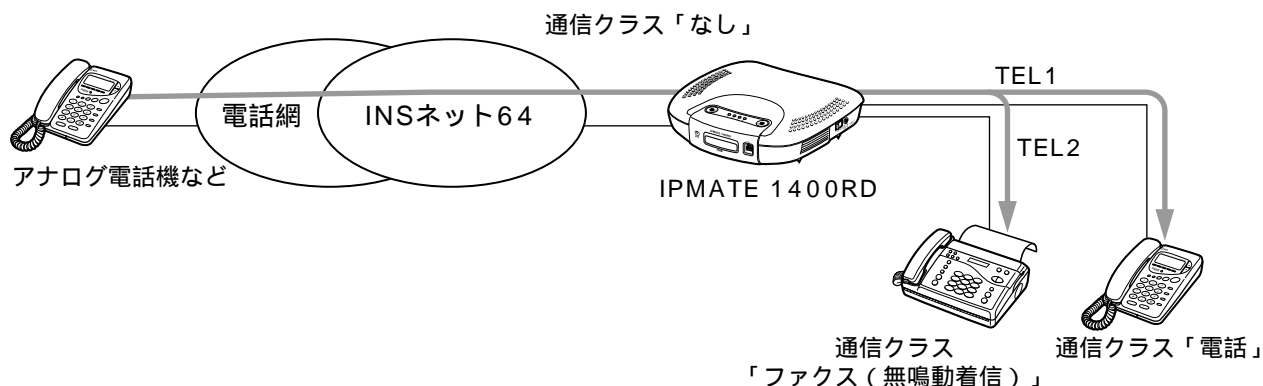
発信時は、設定した通信クラスを相手に通知します。着信時、相手から送られてきた通信クラスに一致しない場合は、着信を拒否します。通信クラスはWWWブラウザでの設定により[アナログ]（TEL1/2ポート）画面で設定できます。

なお、電話網からの着信の場合、通信クラスが通知されず、通信クラスを利用した呼び分けはできません。着信させるには通信クラスを「その他」にしてください。

### INSネット64間の通信



### 電話網からの通信



本商品に設定した通信クラスと発信側の通信クラスとの着信拒否の関係は次のとおりです。

：着信する ×：着信しない

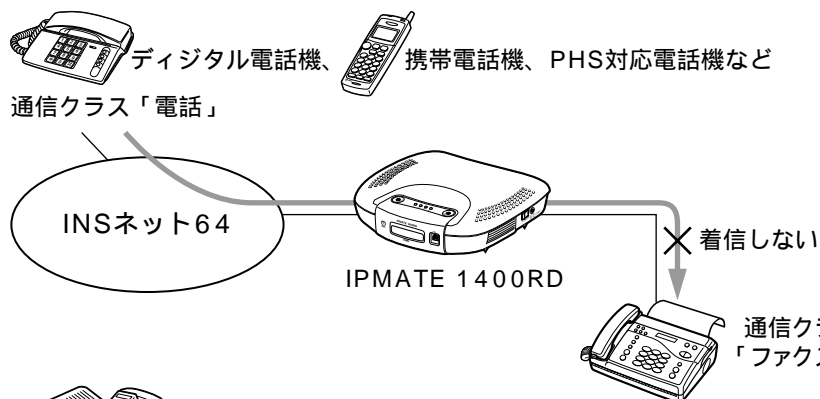
発信側	電話	ファクス	その他
本商品			
電話		×	
ファクス（鳴動着信）	×	（呼出音が鳴る）	
ファクス（無鳴動着信）	×	（呼出音が鳴らない）	
その他			



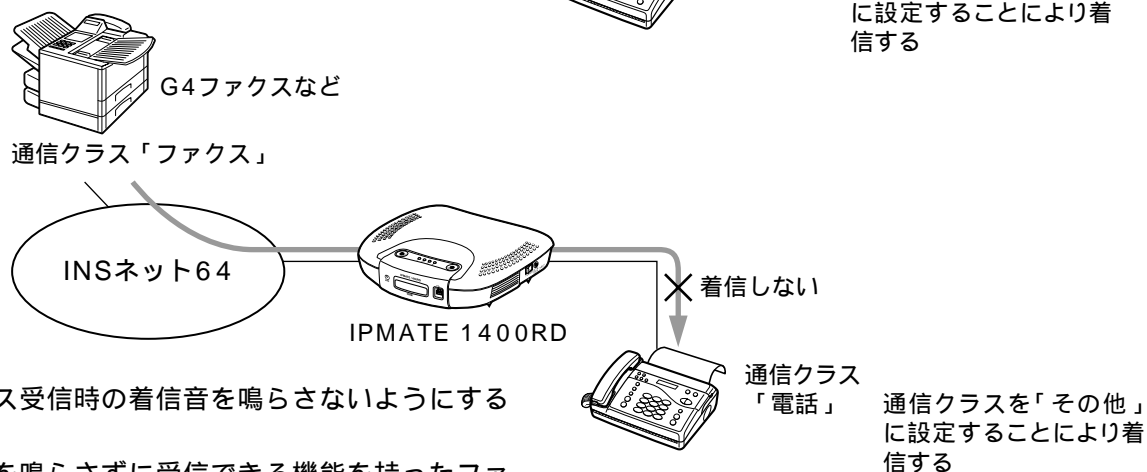
## ワンポイント

通信クラスが異なる場合に着信させるには  
設定した通信クラスと発信側の通信クラスが異なるときは着信しません。着信させる場合は、通信クラスを「その他」に設定してください。

例1



例2



ファクス受信時の着信音を鳴らさないようにするには  
着信音を鳴らさずに受信できる機能を持ったファクスをアナログポートに接続している場合、通信クラスに「ファクス（無鳴動着信）」を設定すると、相手からきた通信クラスがファクスの場合は無鳴動で、それ以外の場合は鳴動で受信します。接続するファクスの設定をFネット信号検出「あり」にしてください。または、無鳴動着信設定「あり」にしてください。



## お知らせ

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（P66）

## フッキング検出時間の設定

フッキングとは電話機のフックスイッチ（またはキャッチボタン）を押すことです。1秒以上押し続けると、電話が切れてしまうことがあります。



フッキングすると電話が切れてしまうなど、うまく動作しないときは、WWWブラウザでの設定により[アナログ](TEL1/2ポート)画面でフッキング検出(短い・普通・長い)を変更してください。



### お知らせ

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式(PB)電話機を使って行うこともできます。(P66)

## モデムダイヤルイン機能

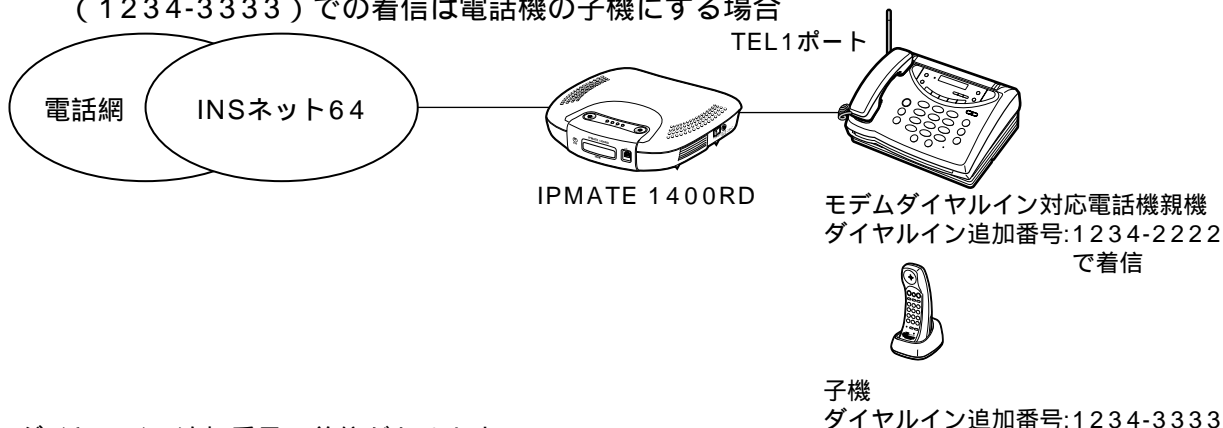
本商品のアナログポートはモデムダイヤルインに対応しています。

契約したダイヤルイン追加番号(P79)またはi・ナンバー情報(P76)に電話がかかってきたとき、本商品に接続したモデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器にダイヤルイン追加番号またはi・ナンバー情報(電話番号)を通知することができます。

この機能をご利用になるためには、当社とのダイヤルインサービスまたはi・ナンバーの契約(有料)が必要です。

### ダイヤルインサービスを利用した場合

例1: ダイヤルイン追加番号(1234-2222)での着信は電話機の親機に、ダイヤルイン追加番号(1234-3333)での着信は電話機の子機にする場合



ダイヤルイン追加番号で着信があります。

本商品は受信したダイヤルイン追加番号をモデム信号に変換します。

TEL1ポートにモデム信号を送出します(この時点では、モデムダイヤルイン対応電話機は鳴動しません)。

モデムダイヤルイン対応電話機に登録されているモデムダイヤルイン番号に応じて、該当するモデムダイヤルイン対応電話機(親機または子機)が鳴動します。

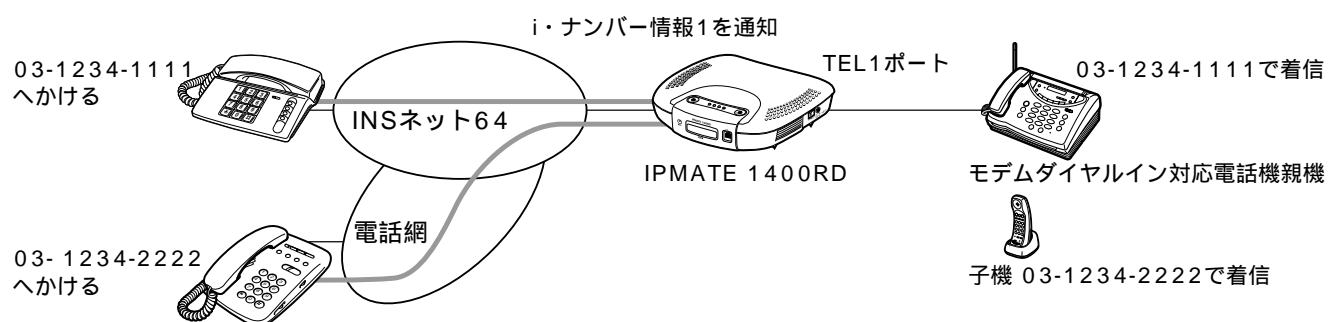


## 回線契約と設定

回線の契約		ダイヤルインサービスの追加番号（03-1234-2222と03-1234-3333）を2つ契約する
設定	[電話番号]画面 ダイヤルイン追加番号1または i・ナンバー情報2	03-1234-2222
	[電話番号]画面 ダイヤルイン追加番号2	03-1234-3333
	[電話番号]画面 アナログ着信	TEL1ポートのみ着信
	[アナログ](TEL1ポート)画面 モデムダイヤルインを使用する	ON
	[アナログ](TEL1ポート)画面 「上記3機能を使用する際、サブ アドレスを対象とする」	ON
モデムダイヤルイン対応電話機の設定		TEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、その電話機に、親機のモデムダイヤルイン番号（1234-2222）と、子機のモデムダイヤルイン番号（1234-3333）を登録する

### i・ナンバーを利用した場合

例2：契約者回線番号（03-1234-1111）での着信は電話機の親機に、追加番号（03-1234-2222）での着信は電話機の子機にする場合



# アナログポート（TEL1ポート、TEL2ポート） - 便利な機能

## 回線契約と設定

		i・ナンバー情報1	i・ナンバー情報2
回線の契約		i・ナンバーを契約する	
		03-1234-1111（契約者回線番号）が割り当てられる	03-1234-2222（追加番号）が割り当てられる
設定	[電話番号]画面 i・ナンバーを使用する	ON	
	[電話番号]画面 契約者回線番号またはi・ナンバー情報1	03-1234-1111	-
	[電話番号]画面 ダイヤルイン追加番号1またはi・ナンバー情報2	-	03-1234-2222
	[電話番号]画面 アナログ着信	TEL1ポートのみ着信	
	[アナログ](TEL1ポート)画面 モデムダイヤルインを使用する	ON	
	[アナログ](TEL1ポート)画面 「上記3機能を使用する際、サブアドレスを対象とする」	ON	
モデムダイヤルイン対応電話機の設定		TEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、その電話機に、親機のモデムダイヤルイン番号（03-1234-1111）と、子機のモデムダイヤルイン番号（03-1234-2222）を登録する	



## お知らせ

アナログ通信機器へのモデムダイヤルイン番号登録の操作方法是、ご利用になるアナログ通信機器の取扱説明書などを参照してください。

モデムダイヤルイン対応電話機の親機および子機から発信したとき、相手の方に通知する発信者番号（●P82）は、WWWブラウザでの設定により[アナログ](TEL1/2ポート)画面で設定した電話番号となります（親機、子機ともおなじ発信者番号が通知されます）。

WWWブラウザでの設定により[アナログ](TEL1/2ポート)画面でモデムダイヤルインを使用するを「ON」に設定すると、相手の方がダイヤルイン追加番号に電話をかけてきたとき、[電話番号]画面で設定されたダイヤルイン追加番号と一致したときのみ、相手の方がかけてきたダイヤルイン追加番号をモデム信号に変換して、アナログポートに通知します。

i・ナンバーを使用した場合、相手の方がi・ナンバー電話番号に電話をかけてきたときは、本商品は[電話番号]画面で設定されたi・ナンバー情報1またはi・ナンバー情報2に設定された電話番号（●P58）をモデム信号に変換してアナログポートに通知します。

ダイヤルインまたはi・ナンバーにおいて、相手の方がサブアドレスを通知して電話をかけてきた場合、本商品は、アナログ通信機器にサブアドレスを通知するように設定することができます。（●P81、87、89）[アナログ](TEL1/2ポート)画面で「上記3機能を使用する際、サブアドレスを対象とする」を「ON」に設定してください。ただし、本商品に接続したアナログ通信機器にサブアドレス受信機能がない場合は、これを「OFF」に設定してください。



### お知らせ

WWWブラウザでの設定により[電話番号]画面でi・ナンバーを使用するを「ON」に設定した場合は、契約者回線番号またはi・ナンバー情報1、および、ダイヤルイン追加番号1またはi・ナンバー情報2に電話番号を設定してください。設定しない場合、モデムダイヤルイン対応電話機が正常動作しない場合があります。

各設定は、本商品のアナログポートに接続したプッシュ式(PB)電話機を使って行うこともできます。(P66)



### お願い

着信時、INSネット64から付加されるダイヤルイン追加番号は、市内局番から通知されます。本商品は、INSネット64から付加されるダイヤルイン追加番号をモデム信号に変換してアナログポートに通知しますので、ご利用になるアナログ通信機器へのモデムダイヤルイン番号の登録は、その通信機器の取扱説明書の内容にかかわらず、市内局番から登録してください。

なお、i・ナンバーを利用の場合、アナログ通信機器へのモデムダイヤルイン番号の登録は、その通信機器の取扱説明書の内容にかかわらず、[電話番号]画面のi・ナンバー情報1、またはi・ナンバー情報2として登録した電話番号としてください。

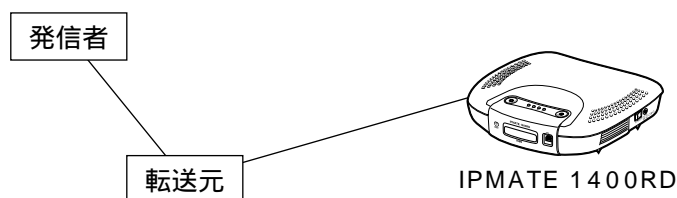
## 転送元電話番号通知

本商品は転送元電話番号通知に対応しています。

着信転送サービスにより本商品に電話が転送されてきた場合、転送元の電話番号と転送理由を、本商品の液晶ディスプレイに表示することができます。

この機能をご利用になるためには、当社との転送元電話番号受信サービスの契約（有料）が必要です。

**本商品の液晶ディスプレイに、転送されてきた電話の転送元電話番号を表示するしくみは次のとおりです。**



発信者が転送元に電話をかけます。

着信転送サービスが起動されます。

転送元電話番号が付加された着信があります。

本商品は、受信した転送元電話番号を液晶ディスプレイに表示します。



### ワンポイント

転送元電話番号とは

発信した電話が転送先へ転送される場合、発信者の電話番号を「発信者番号」、転送元の電話番号を「転送元電話番号」といいます。



### お知らせ

転送元が以下の着信転送サービスの契約をしている場合に、転送元電話番号通知をご利用できます。

- 話中時転送サービス      • マジックボックス
- ボイスワープ / ボイスワープセレクト      • INSマジックボックス
- INSボイスワープ / INSボイスワープセレクト

なお、フレックスホンによる転送元電話番号通知はご利用いただけません。

## リバースパルス送出の設定

リバースパルス送出とは、電話をかけてきた相手の方が先に電話を切った場合に、本商品のアナログポートに接続されたアナログ通信機器に対して、通話の終了を知らせる信号を送出する機能です。留守番電話等で相手が切断したと同時にメッセージの録音を終了させる場合などに有効です。リバースパルスを送出するには、WWWブラウザでの設定により [ アナログ ] ( TEL1 / 2ポート ) 画面でリバースパルスを送出するを「ON」に設定します。



### お知らせ

本設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式 ( PB ) 電話機を使って行うこともできます。( ●P66 )



### お願い

接続したアナログ通信機器がリバースパルスを認識する機能を備えていない場合は、リバースパルスを送出するは「OFF」にしておいてください。誤動作することがあります。

## フレックスホンサービスとは

本商品は、INSネット64の付加サービスであるフレックスホンサービスを利用することができます。フレックスホンサービスには次に示すサービスがあります。

- お話し中に別の相手の方とお話する（INSキャッチホン）
- 3人でお話する（三者通話）
- お話し中に外の相手の方に転送する（通信中転送）
- 外からの電話を設定した別の相手の方に直接転送する（着信転送）

フレックスホンサービスをご利用になるには、当社との契約（有料）が必要です。詳しくは、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

### お話し中に別の相手の方とお話する（INSキャッチホン）

外の相手の方とお話し中に、別の相手の方から電話がかかってきたとき、お話し中の相手の方を保留にして、別の相手の方とお話することができます。また、あとから電話をかけてきた相手の方を保留にして、もとの相手の方と再びお話しすることもできます。

INSキャッチホンは疑似キャッチホンと違い、Bチャネル1本で利用できるため、キャッチホンでお話し中でも本商品に接続した他の機器で通信することができます。

INSキャッチホンをご利用になるには当社との契約が必要です。



#### ワンポイント

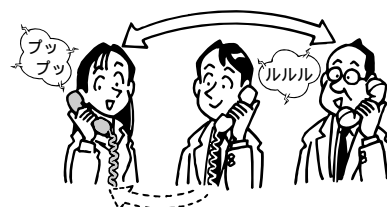
INSキャッチホンを利用するにはWWWブラウザの設定により[アナログ](TEL1/2ポート)画面でキャッチホンを「INSキャッチホン」に設定します。

フッキングとは（●P96）

お話し中に電話をかけてきた方の電話番号を確認するには

INSナンバー・ディスプレイ（●P86）とINSキャッチホンをご契約になると、お話し中に電話をかけてきた相手の方の電話番号を、キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に表示することができます。（●P88）

- 1 外の相手の方とお話し中に「プップッ、プップッ...」という着信音が聞こえます。

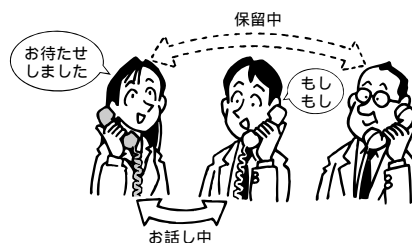


- 2 外の相手の方に待っていただくように伝え、1回フッキングします。

かけてきた相手の方に切り替わります。



### 3 かけてきた相手の方とお話してください。



### 4 前の方とお話するにはもう一度フッキングを行います。

前の相手の方に切り替わります。



#### お知らせ

INSキャッチホン中に相手の方とお話しが終わり、ハンドセットを置くと、着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方と、またお話しができます。

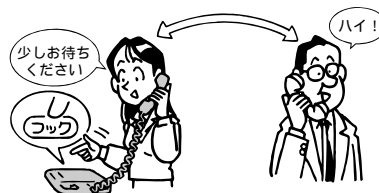
受信した通信クラスが「ファクス」の着信のときは、INSキャッチホンは利用できません。

各設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（●P66）

3人でお話する  
(三者通話：切替モード)

外の相手の方とお話し中に、お話し中の相手の方を保留にして、別の相手の方に電話をかけ、お話し中の相手の方と呼び出した相手の方を切り替えながらお話しすることができます。三者通話をご利用になるには当社との契約が必要です。



- 1 お話し中に、外の相手の方に待っていただくように伝え、1回フッキングします。



## ワンポイント

三者通話を利用するには  
WWWブラウザの設定により「アナ  
ログ」(TEL1/2ポート)画面で三者  
通話を使用するを「ON」にします。

④ ボタンをダイヤルとして使用するには

[ アナログ ] (共通) 画面のダイヤル  
識別終了ボタンを「識別しない」  
(  ボタンを押しても発信しない )  
に設定するか、「##で識別する」  
(  ボタンを2回押すと発信する )  
に設定してください。

フッキングとは (👉P96)

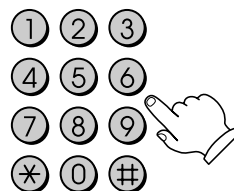
## 切替モードとは

お話し中の相手の方と保留中の相手の方を切り替えながらお話しすることです。

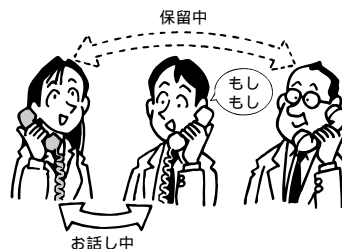
## ミキシングモードとは

3人で同時にお話しくことです。  
3人でお話したいときは、手順4  
で2回フッキングをしてください。

- 2** 別の相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押し、**(#)**ボタンを押します。



- ### 3 相手の方が出たらお話しください。





## 4 前の方とお話するにはもう一度フッキングを行います。

前の相手の方に切り替わります。

## 5 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。



### お知らせ

三者通話の料金は、それぞれ発信を行った方の通話料金となります。

三者通話（切替モード）中にハンドセットを置くと着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方とまたお話しができます。

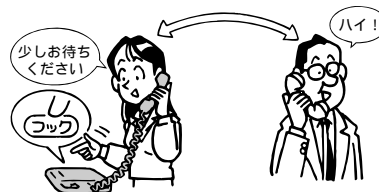
手順2で、別の相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押している途中にダイヤル桁間タイマ設定値（お買い求め時：4秒）の間隔をあけると、操作の途中でも発信してしまいます。また、ダイヤル終了後、ダイヤル桁間タイマで設定した時間が経過すると、**(H)** ボタンを押さなくてもダイヤルは発信されます。

各設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（☞P66）

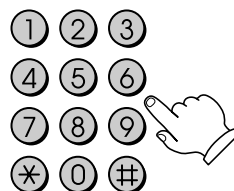
## 3人でお話する （三者通話：ミキシングモード）

外の相手の方とお話し中に、別の相手の方に電話をかけ、3人同時にお話することができます。三者通話をご利用になるには当社との契約が必要です。

- 1 お話し中に、外の相手の方に待っていただくように伝え、1回フッキングします。



- 2 別の相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押し、**(#)** ボタンを押します。



### ワンポイント

三者通話を利用するには  
WWWブラウザの設定により [ アナログ ] (TEL1/2ポート) 画面で三者通話を使用するを「ON」にします。

フッキングとは (●P96)

切替モードとは

お話し中の相手の方と保留中の相手の方を切り替えながらお話しすることです。

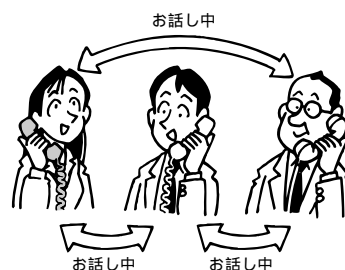
ミキシングモードとは

3人で同時にお話することです。

### 3 別の相手の方が出たら、三者通話にすることを伝え、2回フッキングします。



前の相手の方とつながり、3人でお話できるようになります。



切替モードに切り替える場合は、2回フッキングすると、前の相手の方に切り替わります。

### 4 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。



#### お知らせ

三者通話の料金は、それぞれ発信を行った方の通話料金となります。ミキシングモードでお話中に一方の相手の方が電話を切っても、もう一方の方とのお話しは継続できます。

三者通話(ミキシングモード)中にハンドセットを置くと三者通話は終了し、残りの方どうしの通話も切れます。

各設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式(PB)電話機を使って行うこともできます。(●P66)

## 通話中の電話を転送する（通信中転送）

外の相手の方とお話し中に、お話し中の相手の方を保留にして、別の相手の方に電話をかけて取りつぐことができます。通信中転送には、呼び出した相手の方が応答する前に取りつぐ応答前転送と、呼び出した相手の方が応答したあとに取りつぐ応答後転送の2種類があります。通信中転送をご利用になるには当社との契約が必要です。



### ワンポイント

通信中転送を利用するにはWWWブラウザの設定により[アナログ](TEL1/2ポート)画面でキャッチホンを「INSキャッチホン」に設定し、さらに通信中転送を使用するを「ON」にします。

フッキングとは（☛P96）

手順2で、別の相手の方がお話し中のときは  
いったんハンドセットを置くと、着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、元の相手の方とお話できます。また、ハンドセットを置くかわりに、フッキングすると元の相手の方とお話できます。

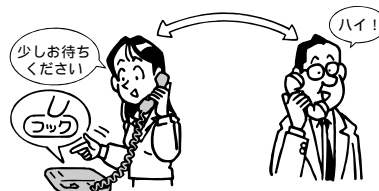
手順3で、別の相手の方とお話し中に通信中転送をやめるときは  
いったんハンドセットを置くと、着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、元の相手の方とお話できます。

転送先の方が応答する前に転送するには

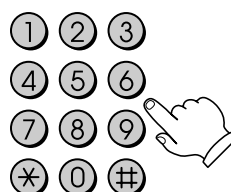
手順2で転送先に電話をかけ、「ブルルル、ブルルル...」という呼出音が聞こえている間にハンドセットを置きます。

## 1 お話し中に、外の相手の方に待っていただくように伝え、1回フッキングします。

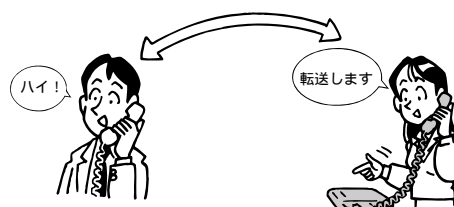
「プッププッ...」という発信音が聞こえます。



## 2 別の相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押し、Ⓜボタンを押します。



**3** 別の相手の方が出たら、転送することを伝え、1回フッキングをします。



**4** ハンドセットを置きます。



#### お知らせ

転送できるのは、着信した電話のみです。こちらから発信した電話は転送できません。

各設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（☛P66）

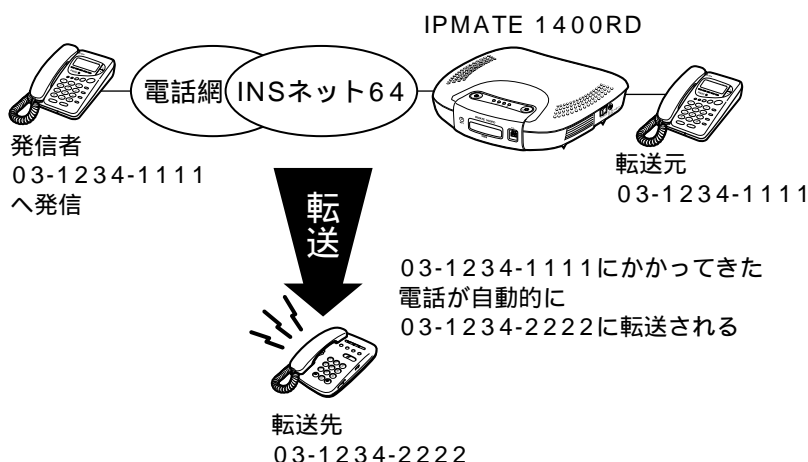
## 外からの電話を決められた相手の方に 直接取りつぐ（着信転送）

外の相手の方からの電話を、決められた別の相手の方に直接取りつぐことができます。着信転送をご利用になるには、当社との契約が必要です。

### 着信転送の設定

着信転送を利用するには、着信転送を行う電話番号を〔電話番号〕画面で登録してから、以下の設定を行います。

例 03-1234-1111にかかってきた電話を  
03-1234-2222に転送する場合



#### ワンポイント

着信転送を起動中は  
液晶ディスプレイに「チャクシン  
テンソウ チュウ」と表示されます。

転送トーキ  
INSネット64から送られる音声によるメッセージのことです。

転送トーキ、転送元トーキのメッセージ内容

- 転送トーキ（電話をかけてきた相手の方に流れます）...「ただいま電話を転送しております。そのまましばらくお待ちください。」
- 転送元トーキ（転送先の相手の方に流れます）...「電話が転送されますので、そのままお待ちください。」（トーキの内容は地域によって若干異なる場合があります。）
- 発信者番号通知により、転送元には契約者回線番号が通知されます。

1 WWWブラウザでの設定により〔アナログ〕（共通）画面でフレックスホンの着信転送を使用するを「ON」に設定します。

2 着信転送先の電話番号を入力します。

### 3 転送トーキに、トーキのありなしを次のいずれかから選択します。

- 転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報なし
- 転送トーキあり、転送元トーキなし、ユーザ情報なし
- 転送トーキなし、転送元トーキあり、ユーザ情報あり
- 転送トーキあり、転送元トーキあり、ユーザ情報あり
- 転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報あり



#### お知らせ

契約者回線番号またはi・ナンバー情報1宛、ダイヤルイン追加番号またはi・ナンバー情報2宛、ダイヤルイン追加番号2宛に、それぞれ設定します。

転送元および転送先の電話番号は最大32桁、転送元サブアドレスは最大19桁です。

転送元および転送先の電話番号を設定しておかないと、転送の設定は無効になります。

転送先としてディスプレイボケットベルの電話番号を登録することはできません。

ユーザ情報（転送元ユーザ情報通知）はご利用いただけません。転送元に着信があっても本商品のアナログポートに接続したアナログ通信機器の呼出音は鳴りません。

各設定は本商品のアナログポートに接続したプッシュ式（PB）電話機を使って行うこともできます。（▶P66）

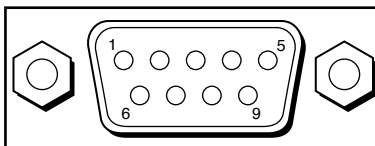
# 各ポートのインタフェース

## RS-232Cポート

本商品のRS-232Cポートにパソコン等を接続する場合は、付属品のRS-232Cケーブルを使用してください。RS-232Cポートのインタフェースは次のようになっています。

### コネクタ形状

9ピンコネクタ（オス型）



### RS-232Cポートインタフェースの信号線

ピン番号	JIS	信号方向 パソコン 1400RD	名 称	機 能
1	CD	←	キャリア検出	IPMATE 1400RDが、パソコンにデータ受信を要求していることを示します。 ON : パソコンにデータ受信を要求します OFF : パソコンにデータ受信を要求しません
2	RXD	←	受信データ	IPMATE 1400RDからパソコンへ送られるデータです。
3	TXD	→	送信データ	パソコンからIPMATE 1400RDへ送られるデータです。
4	DTR	→	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができているかどうかを示します。 ON : パソコンが、データの授受の準備ができていることを示します OFF : パソコンが、データの授受の準備ができていないことを示します
5	GND		信号用接地	相互接続回路に基準電位をあたえます。
6	DSR	←	データセットレディ	IPMATE 1400RDの動作準備ができているかどうかを示します。 ON : パソコンとデータの授受を行う準備ができていることを示します OFF : パソコンとデータの授受を行う準備ができていないことを示します
7	RTS	→	送信要求	データ送信許可を要求します。 ON : データ送信許可を要求します OFF : データ送信許可を要求しません
8	CTS	←	送信可	データ送信可能かどうかを示します。 ON : データ送信が可能です OFF : データ送信できません
9	CI	←	被呼表示	着信していることをパソコンに示します。 ON : 着信があることを示します OFF : 着信がないことを示します

### 通信仕様

同期方式	非同期
データ長	8 bit
パリティビット	なし
ストップビット	1 bit
通信速度	9.6/19.2/38.4/57.6/115.2/230.4*1 (kbit/s)
フロー制御	RS-CS ハードウェアフロー制御

\*1 : 230.4 kbit/sは、パソコンの通信ポートが対応していない場合は使用できません。

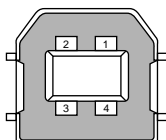


## USBポート

本商品のUSBポートにパソコン等を接続する場合は、付属品のUSBケーブルを使用してください。USBポートのインタフェースは次のようになっています。

### コネクタ形状

Bタイプ



### USBポートインタフェースの信号線

ピン番号	名称	信号方向 パソコン 1400RD	機 能
1	Vbus	—	本商品では使用しません
2	D <sup>-</sup>	↔	データ ( - )
3	D <sup>+</sup>	↔	データ ( + )
4	GND	↔	グラウンド
Shell	シールド		シールド

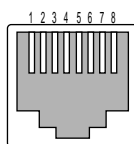
## 10BASE-Tポート

本商品の10BASE-Tポートにパソコン等を接続する場合は、付属品の10BASE-Tケーブルを使用してください。10BASE-Tポートのインタフェースは次のようになっています。

### コネクタ形状

RJ45/IS8877モジュラジャック ( 8ピン )

( RJ45/IS8877準拠 )



### 10BASE-Tポートインタフェースの信号線

ピン番号	名称	信号方向 パソコン 1400RD
1	RX ( A )	→
2	RX ( B )	→
3	TX ( A )	←
6	TX ( B )	←

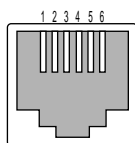
# 各ポートのインタフェース

## アナログポート（TEL1ポート、TEL2ポート）

本商品のアナログポートにアナログ通信機器を接続する場合は、以下のコネクタ形状を持つ電話機コードをお客様でご用意ください。アナログポートのインタフェースは次のようになっています。

### コネクタ形状

RJ11 モジュラジャック（6ピン）



### アナログポートインタフェースの信号線

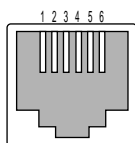
ピン番号	名称	信号方向
		アナログ通信機器 1400RD
3	L2 ( - )	←→
4	L1 ( + )	←→

## 回線接続端子

本商品をINSネット64回線用モジュラジャックに接続するときは、付属品の電話機コードを使用してください。回線接続端子のインタフェースは次のようになっています。

### コネクタ形状

RJ11 モジュラジャック（6ピン）



### 回線接続端子インタフェースの信号線

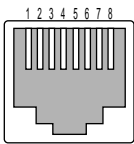
ピン番号	名称	信号方向
		回線 1400RD
3	L2 ( - )	←→
4	L1 ( + )	←→

## S/T端子

本商品のS/T端子にINSネット64用通信機器を接続する場合は、以下のコネクタ形状を持つ接続コードをお客様でご用意ください。S/T端子のインタフェースは次のようになっています。

### コネクタ形状

RJ45/IS8877モジュラジャック（8ピン）  
（RJ45/IS8877準拠）



### S/T端子インタフェースの信号線

ピン番号	名称	信号方向	
		INSネット64用通信機器	1400RD
3	T ( A )	←	
4	R ( A )	→	
5	R ( B )	→	
6	T ( B )	←	

## 自己診断後に表示するメッセージ

&lt; 表示例 &gt;

ソウチ コショウ  
10BASE-T

表示メッセージ	IPMATE 1400RDの状態
ソウチ コショウ 10BASE-T	10BASE-Tポート部分に異常があります。 当社のサービス取扱所までご連絡ください。
ソウチ コショウ ISDN	ISDN接続部分に異常があります。 当社のサービス取扱所までご連絡ください。
ソウチ コショウ RS-232C	RS-232Cポート部分に異常があります。 当社のサービス取扱所までご連絡ください。
ソウチ コショウ USB	USBポート部分に異常があります。 当社のサービス取扱所までご連絡ください。
ソウチ コショウ MACアドレスイジョウ	通信は可能ですが、本商品のMACアドレス部分に異常があります。 当社のサービス取扱所までご連絡ください。
<LOADING MODE> Please Loading Software	電源投入後、ファームウェアの起動でエラーとなり、ローディングモードで起動しました。 フラッシュROMに格納されているファームウェアに異常があります。  添付のCD-ROMの「イージーバージョンアップ」を使用して、ファームウェアのバージョンアップを行ってください。

## データ発信時に表示するエラーメッセージ

&lt; 表示例 &gt;

セツダン ビジー

メッセージは、上段に表示されます。

表示メッセージ	IPMATE 1400RDの状態
セツダン ビジー	相手ユーザが通信中のため、接続できません。
セツダン オウトウナシ	相手ユーザの応答がありません。
セツダン アイテキョヒ	相手ユーザの通信拒否です。
セツダン アキチャネルナシ	空チャネルがなく、接続できません。
セツダン アイテタンマツコ ショウ	相手端末が故障中です。
セツダン タンマツゾクセイ フイッチ	端末属性が不一致です。
セツダン チャネルリヨウフカ	接続が網より拒否されました
セツダン バンゴウアヤマリ	発信した電話番号に誤りがあります。
セツダン ソノタ #xxx	切断されました。理由コードを表示します。 理由コードについては、CD-ROM内「オンラインマニュアル」のイベントコードを参照してください。

## データ着信時に表示するエラーメッセージ

<表示例>

ヒツウチ

メッセージは、上段に表示されます。

表示メッセージ	IPMATE 1400RDの状態
ヒツウチ	発信者が発信者番号を非通知としています。
サービスキョウゴウ	サービスの提供が不可能です。
コウシュウデンワ	公衆電話からの着信です。
サービステイキョウフカ	上記以外の理由で、通知が不可能です。
チャクシンフカ キョヒセツテイ ハッシンバン ゴウ x x x x x	着信拒否の指定となっている番号からの着信です。 「x x x x x」には、発信者の電話番号を表示します。
チャクシンフカ ハッシンシャ バンゴウ フイ ツチ	発信者番号認証に失敗したため着信できませんでした。

## その他

表示メッセージ	IPMATE 1400RDの状態
チャクシン テンソウチュウ	フレックスホンの着信転送モードが有効です。 フレックスホンの着信転送モードを無効にするには、電話機による設定（●P66）または、WWWブラウザによる設定（●P55）で行ってください。
メール x x x ケン	メールサーバにメールがある場合、メール数を表示します。 「x x x ケン」には、メール数を表示します。最大999まで表示されます。
TELチャクシン x x x ケン	電話に出ることのできなかった、件数を表示します。 通常は表示されません。表示したい場合は、電話機による設定（●P66）で変更してください。 件数を0ケンにもどすには、電話機による設定（●P66）で行います。

## アナログ発信時に表示するエラーメッセージ

&lt; 表示例 &gt;

セツダン ビジー

メッセージは、上段に表示されます。

表示メッセージ	IPMATE 1400RDの状態
セツダン ビジー	相手ユーザが通信中のため、接続できません。
セツダン オウトウナシ	相手ユーザの応答がありません。
セツダン アイテキョヒ	相手ユーザの接続拒否です。
セツダン アキチャネルナシ	空チャネルがなく、接続できません。
セツダン アイテタンマツコ ショウ	相手端末が故障中です。
セツダン タンマツゾクセイ フィッチ	端末属性が不一致です。
セツダン ソノタ # x x x	その他の理由で接続できません。理由コードを表示します。 理由コードについては、CD-ROM内「オンラインマニュアル」のイベント コードを参照してください。

## アナログ着信時に表示するエラーメッセージ

&lt; 表示例 &gt;

TEL1: アイテツウチキョヒ  
TEL2: ツウチフカ

表示段が(＊)のメッセージは、上段にTEL1ポート、下段にTEL2ポートが表示されます。

表示段	表示メッセージ	IPMATE 1400RDの状態
(＊)	ヒツウチ	発信者が発信者番号を非通知としています。
(＊)	サービスキョウゴウ	サービスの提供が不可能です。
(＊)	コウシュウデンワ	公衆電話からの着信です。
(＊)	サービステイキョウフカ	上記以外の理由で、通知が不可能です。
(上) (下)	チャクシンフカ ハッシンシャバンゴウフィッチ ハッシンバンゴウ x x x x x	「発信者番号識別」の登録で、「指定した電話番号からの着信を許可する」にチェックしていない番号からの着信です。 「x x x x x」には、発信者の電話番号を表示します。 または、「TEL1/2ポート」の登録で、「発信者番号通知のない着信を許可する」にチェックしていない時の番号非通知の着信です。 「x x x x x」には、「ヒツウチ」を表示します。
(下)	x x x x x テンソウモト x x x x x リユウ: 0000	転送元電話番号通知(☛P100)を利用時に表示します。最初の「x x x x x」には、発信者の電話番号を表示します。次の「x x x x x」には、転送元の電話番号を表示します。「0000」には、転送理由を表示します。 転送理由は、次のとおりです。 ワチュウ : 話し中により転送 ムオウトウ : 指定回数呼び出し後、転送 ムジョウケン : 設定に従い無条件に転送

# 電話設定機能番号一覧

本商品のアナログポートに接続した電話機から設定できる機能の機能番号と設定内容の一覧です。

下線はお買い求め時の設定です。

設定手順 (P66)

⊛ ⊛ ⊛ ポート番号 ⊛ 機能番号 ⊛ 設定値 ⊛

ポート番号

0 : 共通

1 : TEL 1ポート

2 : TEL 2ポート

## アナログポート共通の設定 ポート番号0

ポート番号	機能番号	機能名称	設定値
0 (共通)	00	装置動作・状態確認	0:フレックスホンの着信転送 <u>しない</u> 1:フレックスホンの着信転送 <u>する</u> 2:液晶ディスプレイに表示された「メール xxxケン」の情報を削除 3:メール着信転送の動作を1回だけ行う 4:液晶ディスプレイに表示された「TELチャクシン xxxケン」の表示および削除 液晶ディスプレイに着信した順に発信者番号を表示します。【*】で次の情報を順次表示します。 1度表示した情報は削除されます。 着信履歴情報は、256件まで保存できます。
	40	契約者回線番号またはi・ナンバー情報1 アナログ着信	0:着信しない 1:TEL1ポートのみ着信 2:TEL2ポートのみ着信 3:TEL1ポート優先着信 4:TEL2ポート優先着信 5:両ポートで着信  機能番号84で設定した電話番号への着信について設定する
	41	ダイヤルイン追加番号1またはi・ナンバー情報2 アナログ着信	0:着信しない 1:TEL1ポートのみ着信 2:TEL2ポートのみ着信 3:TEL1ポート優先着信 4:TEL2ポート優先着信 5:両ポートで着信  機能番号85で設定した電話番号への着信について設定する

(次ページへ続きます)

## 電話設定機能番号一覧

(前ページの続きです)

ポート番号	機能番号	機能名称	設定値
0 (共通)	42	ダイヤルイン追加番号2または i・ナンバー情報3 アナログ着信	0:着信しない 1:TEL1ポートのみ着信 2:TEL2ポートのみ着信 3:TEL1ポート優先着信 4:TEL2ポート優先着信 5:両ポートで着信  機能番号86で設定した電話番号への着信につ いて設定する
	43-47	ダイヤルイン追加番号3~7 アナログ着信	0:着信しない 1:TEL1ポートのみ着信 2:TEL2ポートのみ着信 3:TEL1ポート優先着信 4:TEL2ポート優先着信 5:両ポートで着信  機能番号87~91で設定した電話番号への着 信について設定する
	48	グローバル着信 アナログ着信	0:着信しない 1:TEL1ポートのみ着信 2:TEL2ポートのみ着信 3:TEL1ポート優先着信 4:TEL2ポート優先着信 5:両ポートで着信  ダイヤルインのグローバル着信を契約している 場合に設定する
	52	フレックスホンの着信転送	0:しない 1:する
	53	転送トーク	設定値 転送トーク 転送元トーク ユーザ 情報 0:なし なし なし 1:あり なし なし 2:なし あり あり 3:あり あり あり 4:なし なし あり
	54	着信転送先 契約者回線番号またはi・ナンバ ー情報1宛	0~9:電話番号(最大32桁)*1(☛P123)
	55	着信転送先 ダイヤルイン追加番号1または i・ナンバー情報2宛	0~9:電話番号(最大32桁)*1(☛P123)



ポート番号	機能番号	機能名称	設定値
0 (共通)	56	着信転送先 ダイヤルイン追加番号2宛または i・ナンバー情報3宛	0～9：電話番号（最大32桁）*1（●P123）
	57	発信者番号識別 設定	<p>16個まで登録可能 （電話番号、着信許可設定、呼出音の3つの組み合わせを設定する） 本コマンドは操作手順が異なります。 *2（●P123）を参照してください。</p> <p>電話番号とサブアドレス 0～9：電話番号（最大32桁） 0～9：サブアドレス（最大19桁）</p> <p>着信許可設定 0:拒否 1:許可</p> <p>呼出音設定 0:鳴らさない 1:通常音 2:呼出音1 3:呼出音2</p> <p>（自動的に空きを検索して追加する） 【*】直前の通話の番号を登録する （TEL1,TEL2関係なく、最後に着信した番号）</p>
	58	発信者番号識別 削除	<p>すでに設定されている発信者番号識別情報（電話番号のみ）が液晶ディスプレイに表示されるので、次のボタンを用いて削除処理をする。</p> <p>【2】もどる 【8】次へ 【6】表示されている番号を削除（削除後、次に登録されている番号を表示） 【#】終了</p>
	59	発信規制 設定	<p>0～9：電話番号（最大32桁） 8個まで登録可能 （自動的に空きを検索して追加する）</p>
	60	発信規制 削除	<p>すでに設定されている発信規制番号が液晶ディスプレイに表示されるので、次のボタンを用いて削除処理をする。</p> <p>【2】もどる 【8】次へ 【6】表示されている番号を削除（削除後、次に登録されている番号を表示） 【#】終了</p>

（次ページへ続きます）

## 電話設定機能番号一覧

(前ページの続きです)

ポート番号	機能番号	機能名称	設定値
0 (共通)	64	内線電話を使用する	0:使用しない 1:使用する
	70	着番号にサブアドレスのない着信を許可する	0:着信しない 1:着信する
	74	ダイヤル桁間タイマ	02 ~ 15:ダイヤル間の時間 (秒) 4秒
	75	ダイヤル終了識別ボタン	0:識別しない 1: #で識別する 2: ##で識別する
	83	i・ナンバー	0:使用しない 1:使用する  i・ナンバーを使用する場合、電話番号は機能番号84~86で設定してください。
	84	契約者番回線番号または i・ナンバー情報1	0~9:電話番号 (最大32桁)*1 0~9:サブアドレス (最大19桁) (P123)
	85	ダイヤルイン追加番号1または i・ナンバー情報2	0~9:電話番号 (最大32桁)*1 0~9:サブアドレス (最大19桁) (P123)
	86	ダイヤルイン追加番号2または i・ナンバー情報3	0~9:電話番号 (最大32桁)*1 0~9:サブアドレス (最大19桁) (P123)
	87-91	ダイヤルイン追加番号3~7の電話番号	0~9:電話番号 (最大32桁)*1 0~9:サブアドレス (最大19桁) (P123)
	94	液晶ディスプレイへの電話着情報履歴表示の設定	「TELチャクシン x x x ケン」を 0:表示しない 1:表示する  本設定は、機能番号「99」の再起動処理を実行後、設定されます。
	95	日時	YY*MM*DD*hh*mm YY:年 (西暦 下2桁) MM:月 DD:日 hh:時 0~23 mm:分
	96	LAN側IPアドレス	機能番号を入力すると、液晶ディスプレイに設定値を表示します。 【#】表示のみで終了 値を入力した後に入力するとエラーとなります。 xxx*xxx*xxx*xxx x:0~9 本設定は、機能番号「99」の再起動処理を実行後、設定されます。

ポート番号	機能番号	機能名称	設定値
	97	サブネットマスク	機能番号を入力すると、液晶ディスプレイに設定値を表示します。 xx：マスク幅 本設定は、機能番号「99」の再起動処理を実行後、設定されます。
	98	リセット処理	99：お買い求め時の設定に戻し、再起動する。
	99	再起動処理	99：本商品を再起動させる

\*1：電話番号（最大32桁）とサブアドレス（最大19桁）は、あわせて最大51桁まで入力できます。

サブアドレスなしの場合の入力方法

例 03-1234-5678の場合

① ③ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ \* \*

サブアドレスありの場合の入力方法

例 03-1234-5678、サブアドレス0001の場合

① ③ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ \* ① ① ① ① \*

\*2：発信者番号識別設定は次の順番で入力します。

機能番号 \* 電話番号 \* 着信許可設定 \* 呼出音 #

サブアドレスありの電話番号を設定する場合

例 電話番号03-1234-5678、サブアドレス0001の場合

⑤ ⑦ \* ① ③ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ \* ① ① ① ① \* ①  
\* ① #

直前の通話の番号を登録する場合（他の設定は省略）

⑤ ⑦ \* \* \*

着信許可設定と呼出音は省略可能です。その場合は、初期値が設定されます。

## 電話設定機能番号一覧

## ポートごとの設定 ポート番号1または2

ポート番号	機能番号	機能名称	設定値
1 (TEL1 ポート) または 2 (TEL2 ポート)	01	通信クラス	0:その他 1:TEL 2:FAX ( 鳴動 ) 3:FAX ( 無鳴動 )
	02	キャッチホン	0:使用しない 1:疑似キャッチホン 2:INSキャッチホン
	05	INSなりわけを使用する	0:しない 1:する
	06	INSなりわけ指定外の電話番号からの着信動作	0:拒否 1:許可
	07	INSなりわけ呼出音	0:鳴らさない 1:通常音 2:呼出音1 3:呼出音2
	08	フッキング検出	0:短い ( 100 ~ 1000 ms ) 1:普通 ( 100 ~ 1500 ms ) 2:長い ( 100 ~ 2000 ms )
	10	INSナンバー・ディスプレイを使用する	0:しない 1:する
	12	モデムダイヤルインを使用する	0:使用しない 1:使用する
	13	三者通話を使用する	0:使用しない 1:使用する
	17	受話音量	0:小 1:中 2:大

ポート番号	機能番号	機能名称	設定値
1 (TEL1 ポート) または 2 (TEL2 ポート)	19	モデムダイヤルイン / 転送元電話番号通知 / INSナンバー・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ機能利用時の、サブアドレスを対象とする	0:対象としない 1:対象とする
	20	発信者番号通知のない着信を許可する	0:許可しない 1:許可する
	21	発信者番号通知	0:しない 1:回線契約に従う 2:契約者回線番号または i・ナンバー1 3:ダイヤルイン追加番号1または i・ナンバー2 4:ダイヤルイン追加番号2または i・ナンバー3 5:ダイヤルイン追加番号3 6:ダイヤルイン追加番号4 7:ダイヤルイン追加番号5 8:ダイヤルイン追加番号6 9:ダイヤルイン追加番号7
	22	外線発信を許可する	0:規制しない 1:外線発信規制
	25	キャッチホン・ディスプレイを使用する	0:しない 1:する
	27	リバースパルスを送出する	0:しない 1:する
	28	通信中転送を利用する	0:しない 1:する



### お知らせ

発信者番号の設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知（●P82）で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネットサービスが利用できない場合がありますので、電話番号を正しく設定してください。

i・ナンバーについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

# TELNET設定一覧

本商品の10BASE-Tポートまたは簡易LAN接続している端末から利用できる機能の一覧です。

また、よく使用するコマンドについては、使用例を挙げて説明しています。

## コマンド一覧

	表示	機能	備考
表示	arp	ARPテーブルの表示	
	routetable	ルーティングテーブルの表示	
	statistic	統計情報の表示	
	staticroutetable	スタティックルートテーブルの表示	
	event	イベントログの表示	
	eventtotal	発生イベントの合計表示	
	charge	接続ログの表示	
	config	設定情報の表示	
	help	コマンドリストの表示	
	now	現在時刻の表示	
	temporary	設定中の構成情報表示	
	version	バージョン表示	
設定	password	パスワードの設定	
	lqr	LQRパケットの出力設定	使用例 (●P127)
	telhistory	電話の着信履歴情報表示設定	使用例 (●P128)
	default	初期設定に戻す	
	startup	簡易設定	WWWブラウザのQuick設定と同様実行
設定	snoop	パケットトレース	使用例 (●P129)
	boot	再起動	設定項目を書き込み再起動
	chargeclear	接続先ログ情報のクリア	
	datetime	日付、時刻設定	
	ping	pingの実行	
	reboot	IPMATE再起動	
	save	現時点の設定項目の保存	

## コマンドの使用方法

端末上で、TELNETを起動します。

Windowsの場合、スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、本商品のIPアドレス（初期値：192.168.1.1）を指定し、接続します。

（入力例） C:¥windows¥telnet.exe \_192.168.1.1

ログイン名「admin」、および、設定したパスワードでログインします。

\* パスワードが設定されていない場合は、ログインすることはできません。WWWブラウザによる設定（●P55）でパスワードを設定してください。

```
IPMATE(IPMATE) System Console
Login:admin
Password:*****
```

初期画面が表示されます。

```
*-----*
|          IPMATE 1400RD          |
|      < Dialup Router >         |
|          V01.10                 |
|-----*
IPMATE>
```

「V x x . x x」は、ファームウェアのバージョンを表します。

「IPMATE>」プロンプトが表示されたら、コマンドが入力できます。

## コマンドの使用例

lqrコマンド

LQRパケットの送出を指定します。

IPMATE 1400RDは、通常、LQRパケットを送出しない設定となっています。

LQRパケットを送出したい場合は、このコマンドを使用して設定します。

### • 表示する

```
IPMATE> lqr

現在LQRなし
IPMATE>
```

（次ページへ続きます）

(前ページの続きです)

- 設定する

コマンド入力後、bootコマンドを入力し、IPMATE 1400RDを再起動します。

LQRパケットを送出する場合

```
IPMATE> lqr on
```

LQRありに設定しました

```
IPMATE>boot
```

LQRパケットを送出しない場合

```
IPMATE> lqr off
```

LQRなしに設定しました

```
IPMATE>boot
```



## お知らせ

LQR (Link Quality Report) とは、「PPPリンク品質報告」といい、ネットワーク問題の解決のために、RFC1989で規定されている「PPPリンク品質監視：LQM (Link Quality Monitoring)」に使用されています。

装置間の「PPPリンク品質報告：LQR」の交換をするために、LQRパケットが定期的に送信されます。ただし、LQRパケットが送信されるのは、LQR使用の要求がネゴシエーションで成功した場合です。

本商品は、LQR使用を「要求する／しない」を設定できるようになっています。初期値は、LQR使用を「要求しない」です。

## telhistoryコマンド

電話の着信履歴情報を、液晶ディスプレイに表示するかどうかを設定します。

IPMATE 1400RDは、通常、電話の着信履歴情報を表示する設定となっています。

- 表示する (TEL着信表示設定「なし」時)

```
IPMATE> telhistory
```

現在TEL着信表示なし

```
IPMATE>
```

- 表示する (TEL着信表示設定「あり」時)

```
IPMATE> telhistory
```

現在TEL着信表示あり

```
IPMATE>
```



- 設定する

コマンド入力後、bootコマンドを入力し、IPMATE 1400RDを再起動します。  
着信履歴情報を表示する場合（TELチャクシン x x x ケン）

```
IPMATE> telhistory on

TEL着信表示ありに設定しました
IPMATE>boot
```

着信履歴情報を表示しない場合（TELチャクシン x x x ケン）

```
IPMATE> telhistory off

TEL着信表示なしに設定しました
IPMATE>boot
```

#### snoopコマンド

パケットのトレースを行います。

コマンドを入力する前に、TELNETでログを採取する設定にすると、表示情報をファイル採取することができます。

パケットトレース終了後は、ログ採取を停止してください。

Windowsの場合、TELNETの画面で、[ ターミナル ] - [ ログの開始 ] を選択すると、ログを採取します。  
また、[ ターミナル ] - [ ログの停止 ] を選択すると、ログの採取を停止します。

- 設定する

PPPパケットのトレースを開始する場合

```
IPMATE> snoop ppp
  トレースをスタートしますか？
(on/off/dump/dtl/all/[Protocol])
Protocol/Mode:PPP
Trace start...
```

トレースを終了する場合

```
[No.13] 00:0030.02 UART1 Tx
192.168.1.1->192.168.1.251 TCP
SPORT=80 DPORT=1163 RST
WND=0 CHKSUM=ED9F

IPMATE>snoop off
  トレースをスタートしますか
(on/off/dump/dtl/all/[Protocol])->
Protocol/Mode: off
Trace stopped.
```

# 設定記入シート

保守のための資料として、設定内容を記入し大切に保管してください。下線はお買い求め時の設定です。

## Quick設定 (ISDN)

IPアドレス	[ . . . ] ( <u>192.168.1.1</u> )
/マスク	[ ( . . . ) ] ( <u>24 ( 255.255.255.0 )</u> )
DHCPサーバ機能	DHCPサーバ機能を使用する      OFF <u>ON</u>
	提供IPアドレス [ . . . ] ~ [ . . . ] ( <u>192.168.1.2 ~ 192.168.1.250</u> )
回線接続先名	[ ] ( <u>DefaultName</u> )
接続先電話番号	[ ]
ユーザID	[ ]
認証パスワード	[ ]
DNSサーバアドレス	[ . . . ]
NAT	アドレス変換を使用する      OFF <u>ON</u>
	グローバルアドレス
	IPアドレス [ . . . ]
	アドレス個数 [ ] 個
	アドレス割り当て時間 [ ] 秒 ( <u>180</u> )

## Quick設定（専用線）

IPアドレス	[ . . . ] ( <u>192.168.1.1</u> )
/ マスク	[ ( . . . ) ] ( <u>24 ( 255.255.255.0 )</u> )
DHCPサーバ機能	DHCPサーバ機能を使用する      OFF <u>ON</u>
	提供IPアドレス [ . . . ] ~ [ . . . ] ( <u>192.168.1.2 ~ 192.168.1.250</u> )
回線接続先名	[ (DefaultName) ]
回線速度	<u>64</u> kbit/s      128 kbit/s
DNSサーバアドレス	[ . . . ]
NAT	アドレス変換を使用する      OFF <u>ON</u>
	グローバルアドレス
	IPアドレス [ . . . ]
	アドレス個数 [ ] 個
	アドレス割り当て時間 [ ] 秒 ( 180 )



## お知らせ

ここでのシートは、WWWブラウザによる [ Quick設定 ] で設定可能な内容と [ Custom設定 ] で設定可能な内容の代表的なものを示しています。これ以外の項目のシートは、CD-ROM内の『オンラインヘルプ』を参照してください。

## Custom設定 (ISDN)

## 電話番号

データ着信優先度	着信優先	TA:RS-232Cポート	TA:USBポート	LAN
	着信切替呼出し回数 [            ] 回 (3)			
i・ナンバーを使用する	<u>OFF</u> ON			
契約者回線番号またはi・ナンバー1		[            ] * [            ]		
	データポート着信	LAN着信	OFF <u>ON</u>	
		TA着信RS-232C	OFF <u>ON</u>	
		TA着信USB	OFF <u>ON</u>	
	アナログ着信	着信しない		
		TEL1ポート優先着信		
		<u>TEL1ポートのみ着信</u>		
		TEL2ポート優先着信		
		TEL2ポートのみ着信		
		両ポートで着信		
グローバル着信	データポート着信	LAN着信	OFF <u>ON</u>	
		TA着信RS-232C	OFF <u>ON</u>	
		TA着信USB	OFF <u>ON</u>	
	アナログ着信	着信しない		
		TEL1ポート優先着信		
		TEL1ポートのみ着信		
		TEL2ポート優先着信		
		TEL2ポートのみ着信		
		<u>両ポートで着信</u>		
ダイヤルイン追加番号1またはi・ナンバー2		[            ] * [            ]		
	データポート着信	LAN着信	OFF <u>ON</u>	
		TA着信RS-232C	OFF <u>ON</u>	
		TA着信USB	OFF <u>ON</u>	
	アナログ着信	着信しない		
		TEL1ポート優先着信		
		TEL1ポートのみ着信		
		TEL2ポート優先着信		
		<u>TEL2ポートのみ着信</u>		
		両ポートで着信		

(次ページへ続きます)

## 設定記入シート

(前ページの続きです)

ダイヤルイン追加番号2またはi・ナンバー3	[	*	[
データポート着信	LAN着信	OFF	<u>ON</u>
	TA着信RS-232C	OFF	<u>ON</u>
	TA着信USB	OFF	<u>ON</u>
アナログ着信	着信しない		
	TEL1ポート優先着信		
	TEL1ポートのみ着信		
	TEL2ポート優先着信		
	TEL2ポートのみ着信		
	<u>両ポートで着信</u>		
ダイヤルイン追加番号3	[	*	[
データポート着信	LAN着信	OFF	<u>ON</u>
	TA着信RS-232C	OFF	<u>ON</u>
	TA着信USB	OFF	<u>ON</u>
アナログ着信	着信しない		
	TEL1ポート優先着信		
	TEL1ポートのみ着信		
	TEL2ポート優先着信		
	TEL2ポートのみ着信		
	<u>両ポートで着信</u>		
ダイヤルイン追加番号4	[	*	[
データポート着信	LAN着信	OFF	<u>ON</u>
	TA着信RS-232C	OFF	<u>ON</u>
	TA着信USB	OFF	<u>ON</u>
アナログ着信	着信しない		
	TEL1ポート優先着信		
	TEL1ポートのみ着信		
	TEL2ポート優先着信		
	TEL2ポートのみ着信		
	<u>両ポートで着信</u>		

ダイヤルイン追加番号5	[	*	[
データポート着信	LAN着信	OFF	<u>ON</u>
	TA着信RS-232C	OFF	<u>ON</u>
	TA着信USB	OFF	<u>ON</u>
アナログ着信	着信しない		
	TEL1ポート優先着信		
	TEL1ポートのみ着信		
	TEL2ポート優先着信		
	TEL2ポートのみ着信		
	<u>両ポートで着信</u>		
ダイヤルイン追加番号6	[	*	[
データポート着信	LAN着信	OFF	<u>ON</u>
	TA着信RS-232C	OFF	<u>ON</u>
	TA着信USB	OFF	<u>ON</u>
アナログ着信	着信しない		
	TEL1ポート優先着信		
	TEL1ポートのみ着信		
	TEL2ポート優先着信		
	TEL2ポートのみ着信		
	<u>両ポートで着信</u>		
ダイヤルイン追加番号7	[	*	[
データポート着信	LAN着信	OFF	<u>ON</u>
	TA着信RS-232C	OFF	<u>ON</u>
	TA着信USB	OFF	<u>ON</u>
アナログ着信	着信しない		
	TEL1ポート優先着信		
	TEL1ポートのみ着信		
	TEL2ポート優先着信		
	TEL2ポートのみ着信		
	<u>両ポートで着信</u>		

## 設定記入シート

シリアルポート  
共通

TA	サブアドレス区切り文字	#	*	/
	エコーバック	<u>エコーバックあり</u>	エコーバックなし	

## 簡易LAN接続

RS-232C用IPアドレス	[ . . ]	( <u>192.168.1.251</u> )
USB用IPアドレス	[ . . ]	( <u>192.168.1.252</u> )
回線番号	[ ]	( <u>9999</u> )

## RS-232C

ポート制御	通信速度	<u>自動</u>	9.6 kbit/s	19.2 kbit/s	38.4 kbit/s
			57.6 kbit/s	115.2 kbit/s	230.4 kbit/s
	フロー制御	なし		<u>RS/CS</u>	
	ER信号OFF時の動作	何もしない		エスケープモードへ移行する	
		<u>通信を切断する</u>			
	CD信号制御	常にON		<u>回線接続中のみON</u>	
	DR信号制御	<u>常にON</u>		CD信号と同じ動作をする	
	ER信号制御	常にONとみなす		<u>パソコンのER信号を監視する</u>	
	自動着信呼出し回数	[ ]	回 ( <u>0</u> )		
マルチリンクPPP	<u>使用しない</u>	使用する : BAP/BACPなし		使用する : BAP/BACPあり	
機能認証	ユーザID	[ ]			
	認証パスワード	[ ]			
チャンネル追加条件	しきい値	[ ]	% ( <u>80</u> )	測定時間	[ ] 秒 ( <u>30</u> )
チャンネル切断条件	しきい値	[ ]	% ( <u>30</u> )	測定時間	[ ] 秒 ( <u>60</u> )
アナログ発着信時の切断動作	<u>切断しない</u>	マルチリンクPPP機能使用時に1本切断する		必ず切断する	

## USB

ポート制御	自動着信呼出し回数	[ ]	回 ( <u>0</u> )		
マルチリンクPPP	<u>使用しない</u>	使用する : BAP/BACPなし		使用する : BAP/BACPあり	
機能認証	ユーザID	[ ]			
	認証パスワード	[ ]			
チャンネル追加条件	しきい値	[ ]	% ( <u>80</u> )	測定時間	[ ] 秒 ( <u>30</u> )
チャンネル切断条件	しきい値	[ ]	% ( <u>30</u> )	測定時間	[ ] 秒 ( <u>60</u> )
アナログ発着信時の切断動作	<u>切断しない</u>	マルチリンクPPP機能使用時に1本切断する		必ず切断する	

内線電話を使用する	OFF	<u>ON</u>		
ダイヤル識別	ダイヤル終了識別ボタン	なし	#	# #
	ダイヤル桁間タイマ	[      ]	秒( <u>4</u> )	
フレックスホンの着信転送を使用する	<u>OFF</u>	ON		
転送トーキ	<u>転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報なし</u>			
	転送トーキあり、転送元トーキなし、ユーザ情報なし			
	転送トーキなし、転送元トーキあり、ユーザ情報あり			
	転送トーキあり、転送元トーキあり、ユーザ情報あり			
	転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報あり			
着信転送先	契約者回線番号または i ・ナンバー 1 宛[                                  ]			
	ダイヤルイン追加番号 1 または i ・ナンバー 2 宛[                                  ]			
	ダイヤルイン追加番号 2 または i ・ナンバー 3 宛[                                  ]			
着信認証	着番号にサブアドレスのない着信を許可する	OFF	<u>ON</u>	

NO	発信規制番号（32桁まで）
1	[ ]
2	[ ]
3	[ ]
4	[ ]
5	[ ]
6	[ ]
7	[ ]
8	[ ]

NO	電話番号（ 32桁 * 19桁）		指定番号からの着信を 許可する	呼出音
1	[                      ] *	[                      ]	<u>OFF</u> ON	[                      ]
2	[                      ] *	[                      ]	<u>OFF</u> ON	[                      ]
3	[                      ] *	[                      ]	<u>OFF</u> ON	[                      ]
4	[                      ] *	[                      ]	<u>OFF</u> ON	[                      ]
5	[                      ] *	[                      ]	<u>OFF</u> ON	[                      ]
6	[                      ] *	[                      ]	<u>OFF</u> ON	[                      ]

(次ページへ続きます)

## 設定記入シート

(前ページの続きです)

7	[	]	*	[	]	<u>OFF</u>	ON	[	]
8	[	]	*	[	]	<u>OFF</u>	ON	[	]
9	[	]	*	[	]	<u>OFF</u>	ON	[	]
10	[	]	*	[	]	<u>OFF</u>	ON	[	]
11	[	]	*	[	]	<u>OFF</u>	ON	[	]
12	[	]	*	[	]	<u>OFF</u>	ON	[	]
13	[	]	*	[	]	<u>OFF</u>	ON	[	]
14	[	]	*	[	]	<u>OFF</u>	ON	[	]
15	[	]	*	[	]	<u>OFF</u>	ON	[	]
16	[	]	*	[	]	<u>OFF</u>	ON	[	]

\*「呼出音」は、[ 鳴らさない / 通常音 / 呼出音1 / 呼出音2 ] から選択。

## TEL 1 ポート

着信認証	発信者番号通知のない着信を許可する	OFF	<u>ON</u>
発信	外線発信を許可する	OFF	<u>ON</u>
	発信者番号通知	通知しない	
		<u>回線契約に従う</u>	
		契約者回線番号または i・ナンバー 1 を通知する	
		ダイヤルイン追加番号1または i・ナンバー2を通知する	
		ダイヤルイン追加番号2または i・ナンバー3を通知する	
		ダイヤルイン追加番号3を通知する	
		ダイヤルイン追加番号4を通知する	
		ダイヤルイン追加番号5を通知する	
		ダイヤルイン追加番号6を通知する	
		ダイヤルイン追加番号7を通知する	
受話音量	小	<u>中</u>	大
通信クラス	<u>その他</u>	電話	FAX ( 鳴動 )      FAX ( 無鳴動 )
フッキング検出	短い	<u>普通</u>	長い
フレックスホン	キャッチホン	<u>使用しない</u>	INSキャッチホン      疑似キャッチホン
	三者通話を使用する	<u>OFF</u>	ON
	通信中転送を使用する	<u>OFF</u>	ON
INSなりわけ	INSなりわけを使用する	<u>OFF</u>	ON
	呼出音	鳴らさない <u>通常音</u>	呼出音1      呼出音2
	INSなりわけ指定外の電話番号からの着信を許可する	<u>OFF</u>	ON



オプション	モデムダイヤルインを使用する	<u>OFF</u>	ON
	ナンバー・ディスプレイを使用する	<u>OFF</u>	ON
	キャッチホン・ディスプレイを使用する	<u>OFF</u>	ON
	上記3機能を使用する際、サブアドレスを対象とする	<u>OFF</u>	ON
	リバースパルスを送出する	<u>OFF</u>	ON

## TEL2ポート

着信認証	発信者番号通知のない着信を許可する	OFF	<u>ON</u>
発信	外線発信を許可する	OFF	<u>ON</u>
	発信者番号通知	通知しない <u>回線契約に従う</u> 契約者回線番号または i・ナンバー 1 を通知する ダイヤルイン追加番号 1 または i・ナンバー 2 を通知する ダイヤルイン追加番号 2 または i・ナンバー 3 を通知する ダイヤルイン追加番号 3 を通知する ダイヤルイン追加番号 4 を通知する ダイヤルイン追加番号 5 を通知する ダイヤルイン追加番号 6 を通知する ダイヤルイン追加番号 7 を通知する	
受話音量	小	<u>中</u>	大
通信クラス	<u>その他</u>	電話	FAX ( 鳴動 )      FAX ( 無鳴動 )
フッキング検出	短い	<u>普通</u>	長い
フレックスホン	キャッチホン	<u>使用しない</u>	INSキャッチホン      疑似キャッチホン
	三者通話を使用する	<u>OFF</u>	ON
	通信中転送を使用する	<u>OFF</u>	ON
INSなりわけ	INSなりわけを使用する	<u>OFF</u>	ON
	呼出音	鳴らさない <u>通常音</u>	呼出音 1      呼出音 2
	INSなりわけ指定外の電話番号からの着信を許可する	<u>OFF</u>	ON
オプション	モデムダイヤルインを使用する	<u>OFF</u>	ON
	ナンバー・ディスプレイを使用する	<u>OFF</u>	ON
	キャッチホン・ディスプレイを使用する	<u>OFF</u>	ON
	上記3機能を使用する際、サブアドレスを対象とする	<u>OFF</u>	ON
	リバースパルスを送出する	<u>OFF</u>	ON

Custom設定（専用線）  
シリアルポート  
共通

サブアドレス区切り文字	#	*	/
エコーバック	<u>エコーバックあり</u>	エコーバックなし	

簡易LAN接続

RS-232C用IPアドレス [	.	.	.	](192.168.1.251)
USB用IPアドレス [	.	.	.	](192.168.1.252)
回線番号 [				](9999)

RS-232C

ポート制御	通信速度	<u>自動</u>	9.6 kbit/s	19.2 kbit/s	38.4 kbit/s
			57.6 kbit/s	115.2 kbit/s	230.4 kbit/s
	フロー制御	なし	<u>RS / CS</u>		
	ER信号OFF時の動作	何もしない	エスケープモードへ移行する		
			<u>通信を切断する</u>		
	ER信号制御	常にONとみなす	<u>パソコンのER信号を監視する</u>		

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	接続方法が間違っている	正しく接続してください	●P25
	電源アダプタがコンセントから抜けている	電源アダプタを正しく差し込んでください	●P25
本体の液晶ディスプレイに「Layer1 Down」メッセージが表示され、発信、着信ができない	回線接続端子とINSネット64回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	●P25
	極性が反転している	電源スイッチを「OFF」にし、極性切替スイッチを反対側に切り替え、もう一度電源スイッチを「ON」にしてください	●P31
アナログ通信機器の発信、着信ができない	アナログ通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	●P25
	回線接続端子とINSネット64回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	●P25
	停電中のため	故障ではありません 停電中でも動作するように乾電池が入っていれば、TEL1ポートに接続した機器で発信、着信ができるようになります	●P24
アナログ通信機器の着信ができない	[電話番号]画面の各電話番号のアナログ着信が「着信しない」になっている	「両ポートで着信」もしくは「TEL1/2ポートのみ着信」または「TEL1/2ポート優先着信」に設定してください	
	[アナログ](共通)画面の着番号にサブアドレスのない着信を許可するが「OFF」になっている [アナログ](TEL1/2ポート)画面の発信者番号通知のない着信を許可するが「OFF」になっている	サブアドレスなし着信を許可するを「ON」に設定してください 発信者番号通知のない着信を許可するを「ON」に設定してください	
アナログポートに接続したファクスの着信応答ができない	[アナログ](TEL1/2ポート)画面のファクスを接続したアナログポートの通信クラスの設定が「ファクス」で、発信側が携帯電話機、PHS対応電話機、デジタル電話機などから発信した	携帯電話機、PHS対応電話機、デジタル電話機などからの通信クラスは「電話」となり、着信しません ファクスを接続したアナログポートの通信クラスを「その他」に設定してください	●P94、95

(次ページへ続きます)

## 故障かな？と思ったら

(前ページの続きです)

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
INSネット64用通信機器の発信、着信ができない	S/T端子にINSネット64用通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P25、28
	終端抵抗が正しく設定されていない	終端抵抗を正しく設定してください	☛P28、29
	INSネット64用通信機器に電源が接続されていない	S/T端子に接続するINSネット64用通信機器は、必ずAC100V、またはバッテリーで動作させてご使用ください	—
RS-232Cポートに接続したパソコンがインターネットにつながらない	本商品とパソコンの端末速度が合っていない	[シリアルポート](RS-232C)画面で通信速度を正しく設定してください	
着信時内線着信音が鳴り、応答するとモデム音が聞こえる	ナンバー・ディスプレイ未対応の電話機が接続されている状態で、[アナログ](TEL1/2ポート)画面のナンバー・ディスプレイを使用するが「ON」に設定されている	ナンバー・ディスプレイを使用するを「OFF」に設定してください またはナンバー・ディスプレイに対応した電話機を接続してください	☛P86
	モデムダイヤルイン未対応の電話機が接続されている状態で、[アナログ](TEL1/2ポート)画面のモデムダイヤルインを使用するが「ON」に設定されている	モデムダイヤルインを使用するを「OFF」に設定してください またはモデムダイヤルインに対応した電話機を接続してください	☛P96、97
パソコン内蔵のモデムが使えない	パソコンの回線接続端子に電話回線を接続していない	パソコンの回線接続端子と本商品のTEL1またはTEL2ポートを接続してください	—

### 本商品の機能について

Q.自己診断機能はありますか。

A.あります。本商品に電源が供給されると自己診断が自動的に行われます。(●P31)

Q.自己診断時に異常が検出された場合、どのように対処したらいいですか。

A.「ソウチ コショウ」などのエラーメッセージが表示されたときは、INSネット64回線が接続されているか確認してください。また、本商品の電源を「OFF」「ON」にしてください。それでも解決しない場合は、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

Q.液晶ディスプレイのバックライトが点灯するのは、どのようなときですか？

A.次のような場合にバックライトが点灯します。

- 電話機のハンドセットをあげたとき
- 電話が着信したとき
- データの発信、または着信があったとき
- シリアルポート(RS-232C、USB)での通信時

電話での通話や、データ通信が続いている間は、バックライトは点灯したままとなります。

点灯後は、電話での通話やデータ通信が約1分間ない場合に、消灯します。

Q.本商品の日時が初期値に戻ってしまいました。

A.本商品は、電源をOFFにして30分以上経過すると、日時の設定が初期値に戻ってしまいます。再度設定してください。(●P60、64)

### 課金について

Q.接続料金の上限を超えてしまいました。接続を続けたいのですがどうすればいいでしょうか。

A.一時的にカウントをリセットする方法と、課金上限を変更する方法があります。

カウントをリセットする方法

WWWブラウザでの設定によりメンテナンス - [ 手動発信・切断 ] をクリックしてください。

「接続先制限情報」で、接続先NOを選択し、[ 表示 ] をクリックします。

表示された画面で、「課金上限」のクリアボタンをクリックしてください。これにより、課金上限の設定値は変わりませんが、カウントが「0」になるため、再び設定値の金額まで接続を続けることができます。

課金上限を変更する方法

課金上限を増やすことができるほか、課金上限を「0」にして制限されなくなるよう指定できます。課金を気にされない方は、「0」にしてください。

WWWブラウザでの設定によりCustom (ISDN) - [ 回線接続先情報 ] 接続先No ( 接続制限 ) 画面にて、「課金上限」の設定値を入力してください。この設定は、再起動(●P59～61)を行うことで有効になります。

詳細については、CD-ROM内「オンラインマニュアル」を参照してください。

Q.課金上限で切断するように設定していましたが、設定値を超えた請求がありました。

A.コールバック時などに、網からの料金通知がない場合があります。このため、本商品での課金計算と、実際の請求額とが異なる場合があります。

また、本商品の電源をOFFにすると、課金情報は消えてしまいます。電源ONから再度カウントを始めるため、課金上限に達しないことがありますので、ご了承ください。

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

Q.パソコンの電源をONにすると、インターネットプロバイダへ接続してしまうのですが。

A.WWWブラウザやメールなどが、自動起動するようになっていませんか。

WWWブラウザの初期表示ページが外部ネットワークの場合、インターネットプロバイダへ接続してしまいます。

また、メールサーバが外部ネットワークの場合、同様にインターネットプロバイダへ接続してしまいます。

### 接続について

Q.TEL1、TEL2ポートにはどのような機器が接続できますか。

A.アナログ電話機(PB)、ナンバー・ディスプレイ/キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器、G3ファクス等が接続できます。

Q.RS-232Cポートへはどのようなパソコンが接続できますか。

A.付属品のRS-232Cケーブル、市販のD-SUB25ピン変換コネクタ、市販のMac変換ケーブルで、PC98シリーズ、AT互換機、Macintoshのいずれにも対応できます。

Q.USBポートへはどのようなパソコンが接続できますか。

A.付属品のUSBケーブルを使い、USBポートを持ったパソコンで、USBポートをサポートしているOSをインストールしたパソコンに対応できます。

Q.Windows®95でUSBポートを使用できますか。

A.使用できません。Windows®98からのサポートとなります。

Q.USBポートが動作しないのですが。

A.端末により動作しない場合もあります。この場合は、RS-232Cあるいは10BASE-Tポートをご使用ください。

### 停電時について

Q.DSUは停電時に機能しますか。

A.停電になると内蔵したアルカリ乾電池により機能します。乾電池を入れていなければ機能しません。

Q.乾電池には何を使ってもいいのですか。

A.公称電圧1.5Vのアルカリ単3乾電池に限ります。電圧の低い1.2Vのニカド電池等や、長時間の使用に耐えないマンガン電池は使用しないでください。

Q.停電時に使用できる機能は何ですか。

A.TEL1ポートに接続されたアナログ通信機器およびS/T端子に接続されたINSネット64用通信機器の発着信を可能とします。また、停電時にTEL2ポートで通話中だった場合、その電話は継続できます。

なおアナログポート間の内線通話や内線転送はできません。

Q.停電になって乾電池駆動に切り替わった後、何時間の動作ができますか。

A.アナログ通信機器の場合、新品の乾電池で25 前後で約2時間の通話ができます。

## 電話機能について

Q.フッキングとは何ですか。

A.電話機のフックスイッチを押すことです。フックスイッチを押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。フッキングの検出時間を設定により変更することができます。（●P96）



Q.疑似キャッチホンとフレックスホンサービスのINSキャッチホンはどこが異なるのですか。

A.疑似キャッチホンの場合は、本商品が2つのBチャンネルを使用してキャッチホンを実現するのに対して、フレックスホンサービスのINSキャッチホンは、1つのBチャンネルで提供されます。したがって、疑似キャッチホンの場合、当社への申し込み、付加料金は不要です。

Q.内線通話ができないのですが。

A.次の点を確認してください。

- ・本商品の電源は入っていますか。
- ・内線で呼び出す相手のアナログ通信機器が使用中ではありませんか。
- ・[アナログ]（共通）画面の内線電話を使用するが「OFF」ではありませんか。

Q.電話の不在時着信件数の表示を消去することはできますか。

A.アナログポートに接続した電話機を使用してできます。電話機での設定手順（●P66、119）において、ポート番号0、機能番号00、設定値4（電話の着信履歴情報表示および削除）を指定してください。

Q.TEL2ポートを使用しないので、着信を止めたいのですが。

A.各電話番号ごと、およびグローバル着信で、「TEL2ポートで着信しない」を設定します。電話設定機能番号（P119）で、設定できます。

## 設定その他について

Q.電話番号を設定せずにダイヤルイン追加番号の着信があった場合はどうなりますか。

A.お買い求め時の設定でご使用の場合は、着信します。

Q.サブアドレス機能を使用する場合に、契約時の指定が必要ですか。

A.必要ありません。サブアドレス機能は本商品の設定だけで使用できます。

Q.ダイヤルインサービスは利用できますか。

A.TEL1、TEL2ポート、RS-232Cポート、USBポート、10BASE-Tポート、それぞれに設定して利用できます。

Q.インターネット接続中に、アナログ通信機器は使用できますか。

A.Bチャンネルが空いていれば使用できます。128KマルチリンクPPPで接続時にはBチャンネル2本を使用するので、アナログ通信機器は使用できません。

アナログ通信機器を使用したい場合は、アナログ着信時の切断動作を設定してください。（●P85）

Q.IPMATE 1400RDのバージョンアップはできますか。

A.CD-ROM内のイージーバージョンアップユーティリティを使用してできます。バージョンアップの際のソフトウェアをファームウェアといいます。CD-ROM内の「オンラインマニュアル」をご覧ください。

（次ページへ続きます）

(前ページの続きです)

Q.設定画面を表示できません。

A.WWWブラウザで、「LANを使って接続する」、および、「Proxyサーバを使用しない」という設定になっているか、確認してください。

また、接続する端末のIPアドレスは正しいか確認してください(「本商品に接続する前の準備<パソコンでの操作>」を参照)。

DHCP機能を利用して自動設定する場合は、次の方法で確認できます。正しい値でない場合は、端末を再起動してください。

Windows<sup>®</sup>95 / Windows<sup>®</sup>98の場合

スタートメニューで[プログラム] - [MS-DOSプロンプト]を選択します。

表示された画面で、「winipcfg」と入力し、[Enter]キーを押します。

「IP設定」画面が表示されます。ここで、使用しているEtheアダプタを選択し、IPアドレスを確認してください。

表示されたIPアドレスが別ネットワークアドレスの場合は、[開放]をクリックすると、回線側へ接続してしまうことがあります。ご注意ください。

Windows<sup>®</sup>2000の場合

スタートメニューで[プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]を選択します。

表示された画面で、「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

IPアドレスが表示されますので、確認してください。

表示されたIPアドレスが別ネットワークアドレスの場合は、[開放]をクリックすると、回線側へ接続してしまうことがあります。ご注意ください。

Q.通信が自動的に切断され、接続ができなくなりました。なぜでしょうか。また、どのようにすれば接続できるようになりますか。

A.最大接続時間の上限を超えてしまい、自動的に切断されたことが考えられます。

本商品は異常な課金を防ぐため、お買い求め時に最大接続時間が1週間で30時間までの設定になっています。

土曜日の0:00になると累計時間はリセットされ、接続できるようになります。

それより前に接続できるようにするためには、一時的にカウントをリセットする方法と、最大接続時間を変更する方法があります。

カウントをリセットする方法

WWWブラウザでの設定によりメンテナンス - [手動発信・切断]をクリックしてください。

「接続制限情報」で、接続先Noを選択し、[表示]をクリックします。

表示された画面で、「最大接続時間」の「1週間」のクリアボタンをクリックしてください。

これにより、最大接続時間の設定値は変わりませんが、カウントが「0」になるため、再び設定値の時間まで接続を続けることができます。

最大接続時間を変更する方法

最大接続時間を増やすことができるほか、最大接続時間を「0」にして制限されなくなるよう指定できます。課金を気にされない方は、「0」にしてください。

WWWブラウザでの設定によりCustom (ISDN) - [回線接続先情報] 接続先No (接続制限) 画面にて、「最大接続時間」の「1週間の合計値」の設定値を入力してください。この設定は、再起動(☛P59~61)を行うことで有効になります。

詳細については、CD-ROM内「オンラインマニュアル」を参照してください。



Q.設定が終了し、再起動後にホームページが表示できないのですが。

A.ProxyDNS機能、DHCPサーバ機能の使用状態によって、異なります。

ProxyDNS機能とDHCPサーバ機能を使用している場合

本商品にて、DHCP機能で広報するアドレスとして、DNSサーバアドレスにLAN側IPアドレスを指定します。その後、接続する端末で、IPアドレスを自動登録に設定されていることを確認し、再起動します。

- 本商品の設定

WWWブラウザ設定によりCustom (ISDN) - [ LAN ] (IPアドレス) 画面にて、「広報するアドレス DNSアドレス」にLAN側IPアドレスを入力します。SAVEを行うことで、値が反映されます。

- 端末の設定 (「本商品に接続する前の準備 < パソコンでの操作 > 」を参照)

「TCP/IP」の設定で、「IPアドレスを自動取得にする」を選択してください。設定後、端末を再起動します。

ProxyDNS機能を使用し、DHCPサーバ機能を使用しない場合

接続する端末で、DNSサーバアドレスを設定し、再起動します。

- 端末の設定 (「本商品に接続する前の準備 < パソコンでの操作 > 」を参照)

「TCP/IP」の設定で、DNSを使用する設定とします。DNSサーバアドレスとして、本商品のLAN側IPアドレスを入力します。設定後、端末を再起動します。

ProxyDNS機能を使用せず、DHCPサーバ機能を使用する場合

本商品にて、DHCP機能で広報するアドレスとして、DNSサーバアドレスにインターネットプロバイダで指定されたDNSアドレスを指定します。その後、接続する端末で、IPアドレスを自動登録に設定されていることを確認し、再起動します。

- 本商品の設定

WWWブラウザ設定によりCustom (ISDN) - [ LAN ] (IPアドレス) 画面にて、「広報するアドレス DNSアドレス」にインターネットプロバイダで指定されたDNSアドレスを入力します。SAVEを行うことで、値が反映されます。

- 端末の設定 (「本商品に接続する前の準備 < パソコンでの操作 > 」を参照)

「TCP/IP」の設定で、「IPアドレスを自動取得にする」を選択してください。設定後、端末を再起動します。

ProxyDNS機能、DHCPサーバ機能を使用しない場合

本商品にて、DHCP機能を使用しない設定となっていることを確認します。

接続する端末で、インターネットプロバイダで指定されたDNSアドレスを設定し、再起動します。

- 本商品の設定

WWWブラウザ設定によりCustom (ISDN) - [ LAN ] (IPアドレス) 画面にて、「広報するアドレス DNSアドレス」にインターネットプロバイダで指定されたDNSアドレスを入力します。SAVEを行うことで、値が反映されます。

- 端末の設定 (「本商品に接続する前の準備 < パソコンでの操作 > 」を参照)

「TCP/IP」の設定で、DNSを使用する設定とします。DNSサーバアドレスとして、本商品のインターネットプロバイダで指定されたDNSアドレスを入力します。設定後、端末を再起動します。

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

Q. 接続先からのPPP/CBCPコールバック要求に対してコールバック応答できません。

A. コールバック要求を送出する接続先を、[ デフォルト着信接続先 ] として指定してください。

デフォルト着信の指定をするには

Custom (ISDN) - [ 回線着信・接続 ] (着信認証) 画面にて、「デフォルト着信接続先」で選択した接続先を設定します。

[ 回線接続先情報 ] 設定した接続先のNo (オプション) 画面にて、「コールバック」を「応答する」、「方式」を「PPP」または「CBCP」であることを確認します。

Q. インターネットを切断しても回線が切れません。

A. 無通信監視タイマを短くしてみてください。

無通信監視タイマを短くするには

Custom (ISDN) - [ 回線接続先 ] 接続先No (接続制限) 画面にて、「無通信監視タイマ」の値を変更します。

または、RIPを受信している可能性があります。回線側のRIPを「受信しない」に設定してください。

RIPを受信しないようにするには

Custom (ISDN) - [ 回線接続先 ] 接続先No (ルーティング) 画面にて、「RIP動作 受信する」のチェックをはずします。

詳細については、CD-ROM内「オンラインマニュアル」を参照してください。

Q.シリアルポートに接続した端末から簡易LAN機能を使用していますが、ファイル共有ができません。

A.同一ネットワークにある端末とファイル共有する場合と、リモート接続している端末とファイル共有する場合があります。

同一ネットワークにある端末とのファイル共有

TCP/IPプロトコルのインストール(「本商品を接続する前の準備<パソコンでの設定>」を参照)

シリアルポートに接続した端末に、ダイヤルアップ設定、PPP設定を正しく設定してください。また、各端末に、TCP/IPプロトコルをインストールします。

複数のプロトコルがインストールされている場合は、「TCP/IP」を標準プロトコルに設定します。

IPアドレスとホスト名の対応づけ

各端末で、接続先のIPアドレスとホスト名を対応づけます。

(例) LAN側端末にシリアルポート側端末(192.168.1.251)を設定する場合

c:¥windows¥hostsおよび c:¥windows¥lmhostsのファイルに以下を追記  
192.168.1.251 remote

(例) シリアル側端末にLAN側端末(192.168.1.2 / 192.168.1.3 / 192.168.1.4)を設定する場合

c:¥windows¥hostsおよび c:¥windows¥lmhostsのファイルに以下を追記  
192.168.1.2 lan1  
192.168.1.3 lan2  
192.168.1.4 lan3

設定後、リモート端末の検索方法は、次のとおりです。

- 1.スタートメニューから[検索] - [ほかのコンピュータ]を選択
- 2.検索するコンピュータ名を入力 (例)lan1
- 3.対象の端末が見つければクリックして共有リソースにアクセス

リモート接続している端末とのファイル共有

「簡易ファイアウォール」で、「NetBIOS」を透過するように設定します。

WWWブラウザでの設定によりCustom (ISDN) - [フィルタ情報] (簡易ファイアウォール)画面にて、接続先の「NetBIOS」で「透過する」を選択します。

Q.DNSサーバアドレスを自動取得にした場合、アドレスを確認する方法はありますか。

A.イベントログで確認できます。

WWWブラウザの初期画面で、「イベントログ」をクリックします。表示されたメニューで「イベントログ」をクリックすると、イベントログ画面が表示されます。

Q.アクセスサーバの割当てIPアドレスは、どのような値を入れれば良いですか。

A.本商品のIP アドレスを設定すると、アクセスサーバの割当てIPアドレス、簡易LANの割当てIPアドレス、DHCPサーバ機能の提供IPアドレスは、自動計算されて設定されます。

これらのアドレスは、本商品のIPアドレスと同じネットワークとなるような値を入れてください。算出方法については、CD-ROM内「オンラインマニュアル」を参照してください。

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

Q.どのような順で、ルート情報を確認するのでしょうか。

A.Proxy DNS機能の使用状態によって、異なります。それぞれ、次の順でルート情報を確認します。

ProxyDNS機能を使用している場合

送信元IPアドレスルート情報 (Custom(ISDN)-[ルート情報] (送信元アドレス) 画面で設定した情報)

TCP/UDPポート番号ルート情報 (Custom(ISDN)-[ルート情報] (ポート番号) 画面で設定した情報)

ドメインルート情報 (Custom(ISDN)-[ルート情報] (ドメイン) 画面で設定した情報)

スタティックルート情報 (Custom(ISDN)-[ルート情報] (スタティック) 画面で設定した情報)

ダイナミックルート情報 (RIP)

デフォルトルート

ProxyDNS機能を使用していない場合

送信元IPアドレスルート情報 (Custom(ISDN)-[ルート情報] (送信元アドレス) 画面で設定した情報)

TCP/UDPポート番号ルート情報 (Custom(ISDN)-[ルート情報] (ポート番号) 画面で設定した情報)

スタティックルート情報 (Custom(ISDN)-[ルート情報] (スタティック) 画面で設定した情報)

ダイナミックルート情報 (RIP)

デフォルトルート

Q.10BASE-Tに接続するパソコンからの通信に対し、強制切断する時間を設定することはできますか。

A.できません。1週間または1か月の合計で、接続を制限することは可能です。接続の制限は、通信時間または課金によって行うことができます。

Custom(ISDN) - [回線接続先情報] 接続先No (接続制限) 画面で設定します。

Q.RS - 232CポートとUSBポートにパソコンを接続し、データの着信を行っています。USBポートに優先的に着信したいのですが、どうすればいいですか。

A.データの着信優先度を設定します。

Custom(ISDN)-[電話番号]画面にて、「データ優先度」の「着信優先」を変更します。

ここで、「TA: USBポート」を選択すると「USBポート RS-232Cポート LAN」の順で着信します。また、「TA: RS-232C ポート」を選択すると「RS-232Cポート USBポート LAN」の順で、「LAN」を選択すると「LANのみ」で着信します。

Q.デフォルトルートが登録されません。

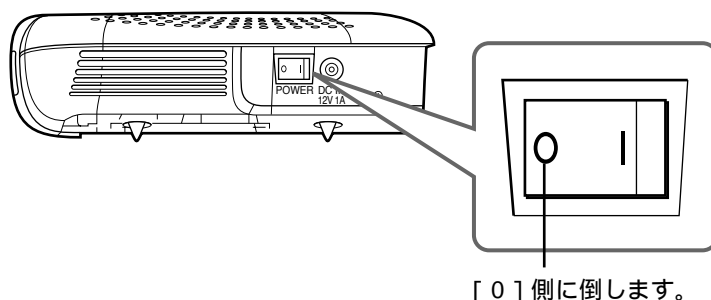
A.回線側にIPアドレスを指定していると、WWWブラウザでの設定によるCustom(ISDN) - [回線接続先情報] 接続先No (ルーティング) 画面にて「デフォルトルートとする」にチェックしても、登録されません。

この場合は、Custom(ISDN) - [ルート情報] (スタティックルート) 画面にて設定してください。

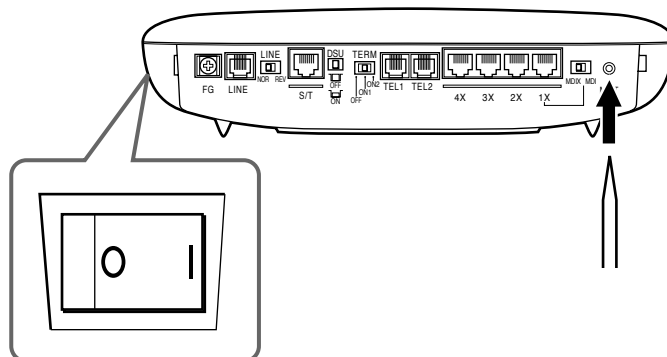
# お買い求め時の設定に戻すには

本商品をお買い求め時の設定（初期値）に戻すことができます。本商品のIPアドレスもお買い求め時の設定に戻ります。

- 1 本商品右側面の電源スイッチを「OFF」にします。



- 2 本商品背面のリセット／イニシャルスイッチを、先の細い棒などで押しながら、右側面の電源スイッチを「ON」にします。



LANランプが緑色で点滅を繰り返し始めたら、リセット／イニシャルスイッチをはなしてください。起動後、自動的にお買い求め時の設定に戻ります。



## お知らせ

設定した情報やイベントログ、接続ログ、本商品の液晶ディスプレイに表示される電話の着信履歴などの情報は、本操作により消去されます。



## お願い

ファームウェアが消去される場合がありますので、ファームウェア更新中に右記の操作を行わないでください。

## 数字

10BASE-Tケーブル……………16,26,30  
 10BASE-Tポート……………17,26,30  
 10BASE-Tポートインタフェース……………113  
 184……………82  
 186……………82  
 3人で通話する……………71,104,106

## アルファベット

ATコマンド……………54  
 CD-ROM……………54  
 Custom設定 (ISDN)……………58,131  
 Custom設定 (専用線)……………62,138  
 DHCPサーバ……………33,34,35,38  
 DSU切替スイッチ……………17,28,29,30  
 ERランプ……………17,19  
 FG端子……………17,27  
 HUBの接続……………30  
 i・ナンバー……………76,84  
 i・ナンバー情報……………76  
 INSキャッチホン……………102  
 INSなりわけサービス……………91  
 INSナンバー・ディスプレイ……………86  
 INSナンバー・リクエスト……………87  
 INSネット64……………15  
 INSネット64の接続……………27  
 INSネット64用通信機器の接続……………28  
 INSボイスワープ……………90  
 INSボイスワープセレクト……………90  
 INSマジックボックス……………90  
 ISDNサービス……………15  
 LAN  
     LANどうしを接続する  
     ……………39,40,41,42,50,51,52,53

シリアルポート接続のパソコンを

    LANに参加させる……………44

離れた場所のパソコンをLANに

    参加させる……………45

LANランプ……………17,19  
 MP……………15  
 OCNエコノミー……………15  
 OCNダイヤルアクセス……………15  
 POWERランプ……………17,19  
 Q&A……………141  
 Quick設定 (ISDN)……………55,130  
 Quick設定 (専用線)……………55,130  
 RS-232Cケーブル……………16,26,30  
 RS-232Cポート……………18,26,30,142  
 RS-232Cポートインタフェース……………112  
 S/T端子……………17,25,28,30  
 S/T端子インタフェース……………115  
 TEL1ポート……………17,25,142  
 TEL2ポート……………17,25,142  
 USBケーブル……………16,26,30  
 USBポート……………17,26,30,142  
 USBポートインタフェース……………113  
 WWWブラウザ……………54  
 WWWブラウザでの設定……………55,144

## 五十音

## 【ア行】

アースの接続……………27  
 アクセスサーバ……………45  
 アクセスポイント……………15  
 アナログポート……………17,25,67  
 アナログポートインタフェース……………114  
 インターネット  
     LAN型ダイヤルアップ接続する……………36,37  
     OCNエコノミーで接続する……………48,49

端末型ダイヤルアップ接続する	33
インターネットサービス	15
液晶ディスプレイ	17
液晶ディスプレイ表示	20,141

## 【力行】

回線接続端子	17,25
回線接続端子インタフェース	114
課金上限	141
各種回線加入契約	15
疑似キャッチホン	69,143
疑似三者通話	
切替モード	71
疑似なりわけ	75
キャッチホン	69,88,102,143
キャッチホン・ディスプレイ	88
極性切替スイッチ	17,31
グローバルアドレス	36,37
グローバル着信	79,83
契約者回線番号	79
故障かな?と思ったら	139

## 【サ行】

サブアドレス	67,81,87,143
三者通話	71,104
切替モード	71,104
ミキシングモード	106
自己診断	31,141
終端抵抗切替スイッチ	17,28
受話音量調整	92
仕様	153
ストレート/クロス切替スイッチ	17,30
接続	25,142
HUBの接続	30
INSネット64の接続	27
INSネット64用通信機器の接続	28

アースの接続	27
接続上の注意	27
接続の手順	25
外付けDSU接続	30
電源との接続	27
電話・ファクスの接続	27
設定記入シート	130
設定方法	54
ATコマンドによる方法	54
TELNETコマンドを入力する方法	54
WWWブラウザによる方法	54,144
電話機による方法	54
専用線サービス	15
外付けDSU接続	30

## 【タ行】

ダイヤルイン	79,83
ダイヤルインサービス	96,143
ダイヤルイン追加番号	79
ダイヤル桁間タイマ	67
着信	68
アナログ通信機器に電話番号を	
通知する	82
異なる着信音を鳴らす	75,91
特定の相手のみ着信させる	91,93
ポートごとに呼び分ける	83
優先ポートを指定する	92
着信音	75,91
着信拒否	92
着信専用	68,93
着信転送	110
設定する	110
着信転送サービス	90
転送元の電話番号を通知する	100
通信クラス	94
通信クラスを設定する	94
通信中転送	108

## 通話中

電話を受ける..... 69, 102

別の相手に転送する..... 108

停電..... 24, 142

## 電源

電源を入れる..... 31

電源アダプタ..... 16, 25

電源アダプタコード差込口..... 18, 25

電源スイッチ..... 18, 31

電源との接続..... 27

転送元電話番号通知..... 100

電池カバー..... 18, 24

電話・ファクスの接続..... 27

電話機コード..... 16, 25

電話機を利用して設定する..... 54, 66, 119

電話設定機能番号..... 119

電話やファクスを優先させる..... 85

電話を受ける..... 68

電話をかける..... 67

電話を取りつくぐ..... 74, 108, 110

同期..... 15

## 【ナ行】

## 内線

内線通話..... 73, 143

内線転送..... 74

日時の設定..... 57

## 【ハ行】

バージョンアップ..... 143

パスワード..... 55

発信..... 67

発信規制..... 93

発信者番号..... 86, 88, 93

通知する..... 67, 82

発信者番号通知..... 82

発信者番号認証..... 93

発信専用..... 67, 92

非通知理由..... 86, 89

品名紙..... 18

フッキング..... 70, 96, 143

フッキング検出時間を設定する..... 96

フレックスホンサービス..... 102

プロバイダ..... 15

ポートの呼び分け..... 83

保守サービスのご案内..... 154

## 【マ行】

モデム信号..... 86, 88, 96

モデムダイヤルイン機能..... 96

## 【ヤ行】

ユーザ名..... 55

## 優先

アナログを優先させる..... 85

優先着信..... 92

## 【ラ行】

リセット/イニシャルスイッチ..... 17, 149

リバースパルス送出しの設定..... 101

利用形態..... 32

ログイン画面..... 55



ISDN インタフェース	適用回線	INSネット64 (ISDN基本インタフェース) 高速デジタル専用線 (Iインタフェース)
	回線速度	64 kbit/s, 128 kbit/s
	U点	1ポート (RJ-11, 6ピンモジュラジャック) DSU切り離し、極性反転可能
	S/T点	1ポート (RJ-45, 8ピンモジュラジャック) バス接続可、終端抵抗切替可能
LAN インタフェース	ポート数	4ポート (RJ-45) うち1ポートはスイッチによりストレート / クロス切替可能
	規格	IEEE802.3 (10BASE-T) 8ピンモジュラジャック
	通信速度	10 Mbit/s
USB インタフェース	ポート数	1ポート (タイプB)
	規格	USB仕様 1.0準拠
	通信速度	12 Mbit/s
	接続手順	ATコマンド
RS-232C インタフェース	ポート数	1ポート (D-SUB9ピンコネクタ (オス型))
	通信速度	非同期 9.6/19.2 (38.4/57.6/115.2/230.4) kbit/s ( ) 内はV.28規格外
	接続手順	ATコマンド
	フロー制御	RS/CS
アナログ インタフェース	電氣的仕様	2線式アナログインタフェース
	ポート数	2ポート (RJ-11 6ピンモジュラージャック)
	給電電圧	約-48 V (無負荷時) 極性反転機能あり
	発信手順	PB (押しボタンダイヤル)
	ブランチ接続	動作保証対象外
表示・操作機能	LED	POWER、ER、LAN1～4
	LCD	16桁×2行、バックライト付き
	スイッチ	DSU切替スイッチ、極性反転スイッチ、終端抵抗切替スイッチ、リセット/イニシャルスイッチ、ストレート/クロススイッチ
停電時動作	停電時動作機能	TEL1ポート、S/T点給電
	使用電池	単3アルカリ電池8本
	連続通話可能時間	約2時間 (TEL1ポートのみ動作時)
外形寸法	272 mm (幅) × 215.7 mm (奥行) × 64 mm (高さ)	
本体重量	約1kg (電池含まず)	
電源	AC100 V ± 10 V (50/60 ± 1 Hz) <sup>1</sup> 外付け電源アダプタ方式	
消費電力	12 W以下	
発熱量	12 J/s	
動作温度	0～40	
動作湿度	20～85 % (但し結露しないこと)	

<sup>1</sup> 本商品に使用可能な電源アダプタは、▽ 91-58201 (定格入力: AC100 V 50/60 Hz 20 VA 出力: DC12 V 1.0 A) です。

# 保守サービスのご案内

## 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

## 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

## 保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

## 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

## お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

## その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： ☎ 0120-109217 トークニイナ

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

## 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。


# MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>  
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： 0120 - 109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2000 NTTEAST・NTTWEST



本2086-2(2000.8)  
IPMATE 1400RDトリセツ